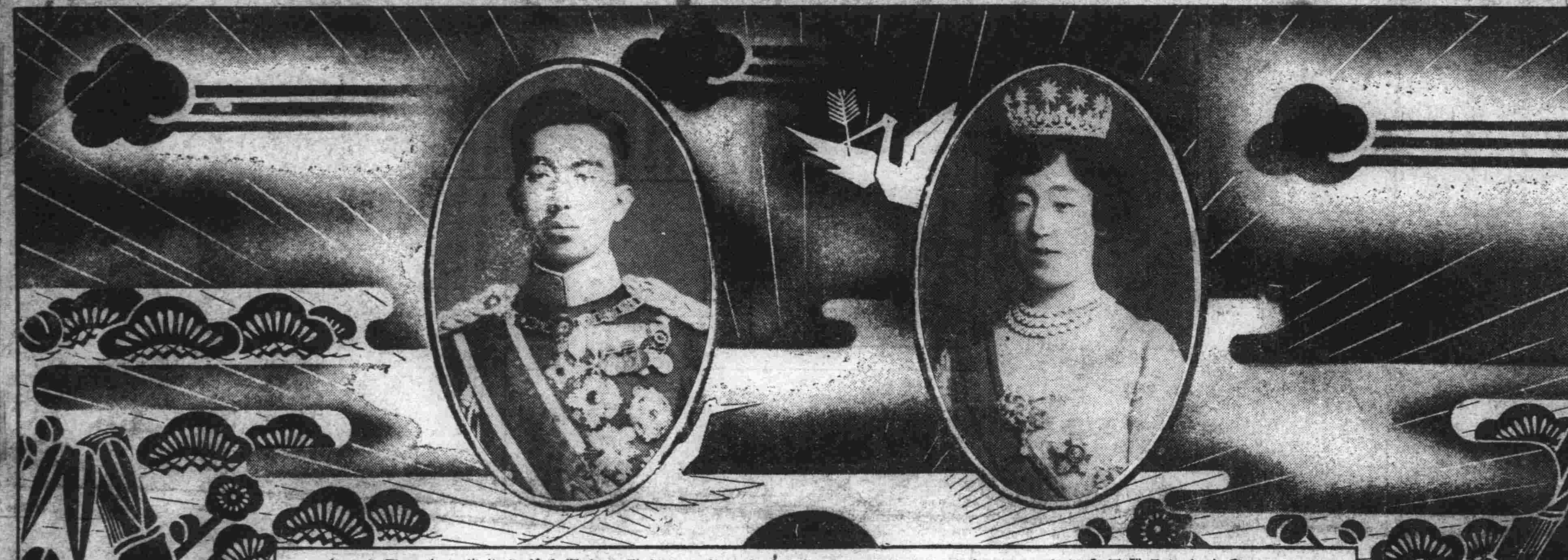
（第三種郵便物認可）

新京日日新聞

朝刊 本紙二十頁

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三二〇〇



年頭の辭

皇紀二千五百九十七年、昭和聖代第十二年の新春はめぐり來つた。はるかに東方を拜し竹の園生の彌榮えますことに民草をあげて慶祝し奉る。日本と不可分の關係に立つ滿洲國は蘭花の薫りも高く康德四年を迎へる。建國以來の步み健かにこゝに建設の第二期に進み入ることは祝福に堪えぬ。

いはゆる一九三五、三六年の危機は東洋に關する限りその固い守りを以つて任ずる日本の儼然たる態度維持によつて平和が全面的に保たれて來た。だが世界の諸國が東洋に向けてゐる觸手はなほ策動を續けてゐる。そして各國ブロック化の傾向は强く、それぞれに軍備の充實に力を注いでゐる。國際聯盟の無力化は周知の如くでありその後案出された平和工作も充分でない。中華民國の如き何れにゆくべきかに昏迷してゐる。これらの情勢は日滿兩國に新體制の整備を要求するものである。

この國に於ける新しい體制の整備は各方面から推し進められやうとしてゐる。新しい産業五ヶ年計畫は最も大きくこれをしるしづけるものであり、この國家の全機構、全資源、全國民を打つて一丸とする全體主義の立場からの經營が豫定されてゐるのである。この間に立つて特に滿洲國に住むすべての日本人に特別な使命が課せられてゐることをおもはざるを得ない。躍進日本の前線に立つ大業がこの國の第二期建設の過程に礎石を置き全構築の根基となつて行かねばならぬのである。年頭に於いてこの覺悟を確把し各人の本務に砥勵したいと思ふ

彌や榮えます 竹の園生

津々浦々瑞祥に包まる

昭和聖春第十二年は、大らかなる黎明とゝもに、いつに變らぬ濃みどりうるはしい大內山をはじめ全國津々浦々、全版圖をこよなくめでたき瑞祥に包んで訪れた

天皇陛下には天資いよいよ御英邁、御仁德一入高くわたらせられ一億民草御敬慕申しあぐるうちに寶算御三十七、御婦道の御龜鑑と仰ぎ奉る皇后陛下には御年三十五、また先帝御追慕のうちに御過しの大宮御所なる皇太后陛下には御年五十四の春を夫々迎へさせ給ふたのである

三陛下の御慈愛のもとに若竹の如くすくすく御成育遊ばされる皇太子殿下には、早くも御數へ年五つの春であらせられる、日嗣の皇子にはいよいよ御健やかにて、昨春來赤坂離宮御苑內に設らへ申上げた東宮假御所も昨年末には既に竣成、陽春時期を選ばれ御兩親陛下の御膝下からこゝに御移り遊ばされて、やがては大統をつがせらるべき御教育をうけさせられるのである、

第二皇子義宮正仁親王様、第一皇女照宮様、第三皇女孝宮様、御四皇女順宮様、それぞれ御發育御順調、皇太子殿下御中心の宮中御團欒のさま年毎に御賑やかに拜され、竹の園生の御榮えまことにめでたき限りであらせられる

この春は、順宮様にも御學齡にて女子學習院に御通學遊ばされることゝて、吳竹寮から照宮、孝宮、順宮の三內親王様が御打ち揃はれて、御可愛いランドセルをお肩に、御通學遊ばされるので御兩親陛下の御滿悅今からさこそと拜察されて畏き極みである

□

三陛下ならびに親王、內親王様方の御近狀を承るに、御日常の御生活極めて御簡素、御平易にわたらせられ御節約のうちにも御仁慈溢れる數々の御沙汰あり、御幼少の親王様方の御平常の如き、恰もわが國中流社會の子弟と同じき御容子と承るに至つてはたゞ恐懼に堪えない次第である

天皇陛下

の御近狀を承るに、陛下には玉體いよいよ御健やかにわたらせられ、天機殊のほか麗はしく御迎春遊された御事である、國家は擧げて非常時、難局の際一億赤子は、御年若く允文允武の天皇陛下の御統治を拜するは、まことに幸福これに過ぐるものはないと申すべきであらう

陛下には毎日午前九時半には宮中表御座所たる御學問所に出御遊ばされ、こゝにて御晝餐の御時を除くほかは、午後六時までは、政務、軍務をみそなはせられて御寸暇を拜せぬ御多忙が連日續き側近奉仕の人々は、いつもながら陛下の御精勵の程に、玉體を損はせ給はぬやうにと御祈念申しあげてゐるとのことであるが、殊に昨春の二・二六事件以來東都は久しく戒嚴令下にあり、陛下の御軫念の程は拜するだに畏く、寺內陸相は、當時の侍從武官長本庄繁大將から「陛下は終日御軍服にて御就寢遊ばされるまでこれを脫がせられず御寬ぎの御暇を拜しませぬ……」と傳承して陛下の國家非常時の際における御叡慮の程を偲び奉りて感泣し、これを全軍に傳へて皇軍の精忠の感を深めさせたのである、そして陛下には、戒嚴令が撤去されるまで議會開院式と陸軍士官學校卒業式とに行幸遊ばされたのみで、御孝心を盡させ給ふため大宮御所に御母皇太后陛下御訪問の御事さへも缺かせ給ふたのである

陛下の御日常は御日課の如きものに割然と御規格され、御學問の如きも、從來の如き憲法、皇室令なども既に御修得遊ばされて、目下は毎週火曜日清水澄博士から「行政」について御聽取、木曜日午前外務省囑託松田道一氏から刻々に變遷する外交事情を詳細に御聽取遊ばされ、さらに越へて翌金曜日は、陸軍からは參謀次長、海軍からは軍令部次長を召されて軍事學を御聽取遊ばされ、常に國家御統治と國軍御統帥の上に絶へざる御研磨を積ませられてゐるのである、この御日課の後は週日午後一時乃至二時間御愛馬に御鞭打たせ給ふて、吹上御苑で雨の日もなほ御乘馬の御運動遊ばされその他ゴルフに興じ給ふを常とさせられるこれらの御事は勿論御愛好遊ばされての御事ではあるが、また御親ら玉體の御鍛錬の思召しから、むしろ御强行遊ばされるとの御事である

以上の御日程のほかに、外國から歸朝の文武顯官、實業家、學者らを召されて木曜日の午後をお茶の會として諸外國の文化施設や政治、經濟、社會の各情勢を御聽取、また水曜日には樞密院本會議に臨御、條約案やその他重大案件の諮詢を遊ばされる、彼の滿洲事變以來、御政務、御軍務頓に御繁多を加へさせられたるに、二・二六事件以來はわけても御親裁事項多きを極め國務大臣の參內奏上も相次ぎ陛下には御食事中も出御遊ばされ、拜謁賜はる御有様であらせられる

從來首相は毎週一回、政務を奏上する久しい慣例であつたが、昨春の二・二六事件以來は「毎週二回以上奏上するやうに」との御沙汰を拜した程で、從つて、陛下が親任式、親授式、國務大臣、外國交際官、來朝外國人、赴任歸朝の文武官の拜謁、謁見を賜はる數は實に夥しく、毎月百件近く一日數度も御軍服を種々なる賜謁資格者によつて御着替へ遊ばされたりすることは稀れでなく、むしろ屢々拜すると承るからいかに御多忙であらせられるかが拜察されるのである

□

さて陛下にはかくも御多忙のうちを敬神崇祖の思召しから大祭小祭の御祭典は勿論、各種の御祭典は必ず御親祭遊ばされて缺かし給はず一大演習などの前後に行はせ給ふ地方行幸におかせられても、態々鳳輦をその他の神社に向けさせられ、玉串を獻ぜられて御親拜遊ばされるのが常であらせられる、祭神が生前臣下であつた神社にもかゝる篤き御尊崇の御思召しを表はし給ふのである、伊勢神宮、先帝御四代の山陵に寄せ給ふ御思召のさま、熱田神宮に向けられ給ふ大御心、寒夜を徹しての御拜の御事など、まことに御敬虔な御態度、御日常であらせらる

また大演習御統裁行幸につけ歲末、歲首、寒暑につけ、陛下には必ず御母皇太后陛下を大宮御所に御訪問、御孝養をつくさせ給ふ、御仁慈の表れとしては、陸海軍病院は侍從武官を御差遣、傷病の將士をその病床に訪はせ給ふ、酷寒の北滿、北支、鮮滿國境警備に當る皇軍部隊の勞苦をも親しく侍從武官をして視察せしめられ、御慰問の聖旨令旨を傳へさせられて、異境の重大任務のさまを偲ばせ給ふことも屢々であらせられるのである

皇室の御繁榮とゝもに、御經費も年々歲々嵩むばかりであるが、しかも陛下には御節約遊ばされて、娛樂一つ御嗜み遊されず、極めて御質素、御靴下の如きも皇后陛下御手づから御編み遊ばされたものを召され、その御日常のさまこの一事を拜しても充分覗ひ奉ることが出來るのであるが、皇室の御經費嵩むにかゝわらせられず、これが御增額を許し給はず、年々全國で種々の慘害相つぐ際における御救恤各種公私社會事業らに對する御補助御奬勵金も毎年多くなるばかりと承る

□

陛下にはまた御軍務に御熱心であらせられる、昨秋は北海道石狩の野に錦旗を進め給ひ前後十九日の間折悪しく冷雨續くうちを野外にて陸軍特別大演習御統裁、東北健兒の威武を親しくみそなはせられまた全道九十ヶ所に侍從を御差遣、三十一ヶ所に御巡幸、地方民情と拓殖開發狀況を具さに御巡覽、東京還御の後は一旬の後再び怒濤狂ふ大洋上に御召艦比叡を進め給ふて、二ヶ月前より猛訓練を行つてゐたわが無敵艦隊の大演習を御統裁、同二十九日には和泉灘で第四十七回目の觀艦式を御擧行、艨艟の揚る威容をみそなはせられたのである、陛下にはその都度將士の上に有難き御下問や御言葉を賜り、また在鄉軍人會にも勅語を賜はり、國家に盡す任務の重大さを深く感銘せしめられた

陛下は國際親善の上にも大御心をそゝがせられ、各國元首との間には常に御交誼を重ねさせられ、殊に來る五月十二日ロンドンで擧行される英新帝ジョージ六世陛下の戴冠式の御盛儀にはわざわざ皇弟秩父少佐宮殿下を御差遣遊ばされ、殿下には陛下の御信書と御贈進物を捧せられて妃殿下御同伴、今春御鹿島立ち遊ばされる御豫定にて英國の戴冠式に御名代宮御差遣は御二十六年振りであると拜承する

□

皇后陛下

には御政務御多端な天皇陛下の御身邊に何くれとなく御介添へ遊ばされ御內助極めて御多忙のうちを皇太子殿下、義宮正仁親王殿下、順宮內親王様方の御養育に御心を盡くさせ給ふ、日本赤十字社、愛國婦人會、濟生會などの總會をはじめ奉り、女子教育御振興のためには女子學習院にも行啓、親しく近代教育の狀況や、照宮様、孝宮様の御勉學振りなど御覽遊ばされ在滿將士の傷病者には繃帶を、活躍中の皇軍將士には防寒用の眞綿を賜り、また內地外地の災害には天皇陛下御共々御救恤の御內帑金を下賜あらせられるなど御仁慈の程、いつもながら恐懼に堪へない次第である

□

皇太后陛下

には大宮御所にて御靜かに、しかも御つゝましく御過ごし遊ばされてゐる、陛下には御一生の御事業として、最も社會から忌み嫌はれてゐる癩病御根絶の思召しをもつて、さきに多額の賜金の御沙汰ありこれがため我が全國の癩豫防と根絶の治績よく擧つてゐるのもこれ陛下の御仁慈の賜ものと關係者ならびに罹病者一同感激してゐる

青森縣では癩療養所に收容された二青年が、全快徴兵檢査に合格する有様で、陛下にはこの趣を聞し召されて殊の外御滿足遊ばされたと承はる

癩關係については何くれとなく御心をそゝがせられ、昨春五月草津の國立療養所と身延深敬病院には記念樹として大宮御所の楓を御下賜また昨秋十一月十日には、同じ思召しで朝鮮大邱癩療養院、釜山癩病院、麗水愛養園、臺灣癩豫防協會及び樂生園など朝鮮臺灣の諸團體に同様賜金遊ばされ內地の私設癩療養所にもまた賜金があつた、そのうち譯は癩豫防協會へとして內務大臣に一萬圓、群馬聖バルナバ院へ四千圓、靜岡神山復生病院に三千圓、熊本回春園、同待勞園、山梨身延深敬病院、東京慰廢園に各二千五百圓、總計二萬七千圓であらせられ御日常御節約遊ばされての賜金と承るだに畏き極みである

□

陛下にはこの外東京女高師に行啓遊ばされたり、將士御慰問を仰せ出されたり、常に民草の上に思ひを寄せさせ給ふ、宮城野の萩に寄せ給ふ御詩情、先帝御追慕のあまり先帝御在住の際御用愛の沼津御用邸に行啓遊ばされては、先帝御愛好の軍歌で御在生時を偲びせ給ふのである、陛下には皇太子殿下、義宮様並に內親王様方の御成人を殊の外お待ち兼ねてゐらせられるが、一昨年親王家を御創立遊ばされた三笠宮殿下の御身邊には溫き御母性愛を傾けさせられ目下親しく三笠宮殿下の御配偶を御選定中と承る、今年こそは、久しき御懸案たる伊勢神宮、畝傍山陵、桃山御陵御參拜を果させらるべく種々御準備中と承る

迎春の辭

滿洲國國務總理大臣 張景惠

我が滿洲帝國も本年三月をもつて滿五歲の齡を迎へることゝなつた、治安第一主義をもつて邁進せる當事者五年の努力漸く報ひられ、治安工作略々完成の域に達し、此の間國家百般の施設は着々整備充實せられ、他方一昨年以來二年に亘る農作の豐收は疲憊の恢復と相俟ち全國民の八割以上を占むるわが農民を著しく潤ほし、滿洲國はこゝに內容外觀とも牢固たる建國の基礎を確立せるものである

顧れば昨年七月には實に第二の建國とも稱すべき治外法權撤廢問題も盟邦日本帝國の絶大なる好意により、すでに一部實現せられ、わが官民は本年を期しその全廢を實現し、獨立國家たるの面目完成の意氣に燃えつゝあるものである

國內民族の和協團結はわが國情上最緊要事に屬するものにして、昨夏協和會の擴大强化により全國にわたり協和精神彌漫たるは慶賀に堪えざるところである

わが國運の異常なる發展は正に世界の驚異にして、昨年四月には滿獨間に通商協定成立し、最近さらにイタリー政府もわが國を正式承認し、滿洲國としては一途道義國家完成の建國精神を堅持し、もつて物質文明の桎梏に惱み行詰まれる世界政局に一新局面を與へんとするものであ、スペインをはじめ歐洲各國が赤化に攪亂せられ、隣邦中華民國亦永年赤匪の跳梁に全國民疲弊の極にある實情に鑑み、客秋成立せる日滿防共協定に滿腔の贊意を表するものであり日滿不可分關係はますますその必要を强調らせれるものである

周公は督を政むる五年にして最も報はれたりと傳ふ、わが建國も五年にしてその基礎全く成り、上皇帝陛下聖德彌高く聖康益々勝れ下官民一致欣々として洋々たる國運の進展に邁進しつゝあるとき、新春の喜び一入深きを覺ゆるものである

輝く十二年の元旦 宮中の御盛儀

神嘉殿に四方拜の御儀

【東京國通】昭和聖代十二年の春は輝しく明けた、大御代の光のどけく大內山の翠に映えて彌芽出度き元旦、天皇陛下には禁苑まだほの暗き午前五時三十分既に御淨身遊ばされ、黃櫨染御袍の御束帶も神々しく御笏を御手に三條掌典長の御先導にて神嘉殿の南庭に降り立たせられ四方拜の御儀を行はせられ、ついで午前六時陛下には賢所大前、皇靈殿、神殿に御拜遊ばされた後午前七時半鳳凰間に出御、晴の御膳に着かせらる、午前十時には御正裝に大勳位菊花章頸飾輝やかしく皇后陛下と御同列にて鳳凰間に出御秩父宮同妃、高松宮同妃、三笠宮各殿下を始め各皇族方に御對面、拜賀を受けさせられた後正殿に出御、廣田首相以下顯官等に賜謁拜賀を受けさせられた、なほ十一時勅任官等有資格者の拜賀あり午後一時半には白國大使バツソンピエール男を始め各國使臣同夫人等の拜賀を受けさせられるが二日も有資格者に對し拜賀仰付けられる

□

また大宮御所に在はす皇太后陛下には此の朝午前九時より午後四時まで廣田首相始め文武百官の伺候參賀を受けさせられる

年頭所感

關東軍司令官 植田謙吉

一陽來復茲に皇紀二千五百九十七年康德四年の新春を迎へ日滿兩國皇室の御繁榮を拜し日滿兩國民彌榮え其不可分關係益々密に、東洋平和の基礎愈々固く、皇威愈々大陸に八紘一宇大理想の顯現を仰ぐは眞に同慶に堪へざる次第である

諺に一年の計は元旦にありと卽ち萬物悉く新なる年頭に際し、靜かに過去を省み、更に世界の狀勢を大觀して、思を遠く東亞百年の大計に馳せ、以て以て各人行爲の針路を明にするは、現代國民にとりては極めて緊要なる事項であると信ずる

然るに世界の現狀を大觀するに列國民及列國は、世界大戰の慘害にも拘らず、依然として物質主義及利己主義の弊を脫せずして、人類の共存共榮を思はず、爲に個人間及國家間の闘爭常時絶ゆる時なく、加ふるに最近歐洲に於ては人民戰線と國民戰線との對立抗爭愈々激化して、一觸卽發の狀を呈し、東洋に於てはコミンテルンの赤化工作熾烈にして滿洲國及日本內地にも亦其影響を受けつゝあり、然るに南京政權及之が亞流者は、支那本土、滿洲並に日本を相手とし[illegible]に於ける苦杯の原因を顧みて毫も反省せず、罪を徒らに帝國に嫁し對內的には其大業の福祉を肯んぜずして益々舊套依然たる利己的、搾取的政策を踏襲し、又對外的には傳統的以夷制夷遠交近攻政策を採用して國際信義を失ひ、就中最近に於ては東洋民族滅亡の導火線たる容共政策に轉じ以て東亞安定の護りたる日滿兩國を曲解し排斥し、爲に東洋禍亂の根元を爲しつゝあるは、人類福祉の爲將又支那民族向上發展の爲惜みても餘りある所である

今や世界は、個人主義物質主義文明の風靡久しく、弱肉强食人類相剋の風潮依然として時流を統べ爲に現代文明は既に晚鐘を告げつゝあるは周知の事實である

卽ち從來列强が纏退したるが如く未開乃至半開の國を侵略して、之より植民地的搾取を行ふが如きは、獨り人道に反するのみならず、遂には侵略國被侵略國共に經濟的破滅に陷るは列强の嘗めたる苦々しき經驗であつて、日本は斷じて斯くの如き非道義的愚策を模倣するものではない

惟ふに我が大和民族は遠き國の昔に於て神武天皇が「八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲サム」と宣言遊ばされし如く、其崇固なる傳統的精神に基き、異民族に對しても何等區別なく四海同胞共存共榮の情を以て之を迎へ、之を同化するの本質を有し、加ふるに其性情に厚く、正直にして正義と武勇とを好愛する優秀民族であることは、獨善的獨斷に非ずして世界の認むる所であり又東洋文化は勿論、明治維新以後に於ては夙さに西洋文化を吸收消化し、以て東西兩洋文明を融合體得して居るのであるから、現代に於ける世界の惡風潮を是正し、人類の向上救濟に出馬するには最も相應はしき存在であると謂ふべきである

斯くて皇道光被の第一階梯たる滿洲國に對し、日本は日淸日露乃至今次の滿洲事變に於て人的物的の莫大なる犧牲を拂ひ、殊に日露戰爭に於ては國運を賭して滿洲を露國の爪牙より奪回獨立せしめ又今次事變に於ては民衆を軍閥搾取の手より離脫して國民大衆の福祉を基根とする皇道理想國家を建設せしめ、且日滿不可分共存共榮の精神を以て日本國民上下一致あらゆる人的財的援助を爲し、而も滿洲國に對し寸毫と雖も領土的野心乃至搾取的企圖を有せざるは事實の立證する所である

又北支に對しても日本は謂ふまでもなく皇道精神に基き和親と共存共榮的經濟提携とを欲し、多年軍閥の專制と搾取とに苦しめる民衆を救濟して東洋民族の福祉を圖り、東洋平和の基礎を益々鞏固ならしむることを希ふの外全く他意はないのであつて、國民政府の欺瞞宣傳に誤られ、排日を事とし民衆を自滅の淵に陷れつゝある支那民衆の再思三考を要望する次第である

滿洲國は建國以前迄皇道の慈雨に浴し、極めて安らかに極めて迅速に發育し、有形無形の建國工作着々として成り、宇內に於ける理想國家としての國礎日に固く、治安大いに改まり財政經濟の進展常化見るべきものあり、萬民皇道國家を謳歌しあるは眞に欣快に堪へざる所である

然しながら、滿洲國は今尚建國の道程にあり其理想國家としての實を十二分に發揮すると共に、宇內に對する皇道宣布の前驅たる使命を全ふせんが爲には、對內的にも對外的にも今後の努力に俟つべきもの尚夥しとせぬ、卽ち內には治安の徹底的確立、國民精神の統一向上、教育の普及振興、財政經濟の確立、殖産興業の發達等あり、外には蘇聯の赤化工作其他の對滿策謀の警戒、就中支那の誤れる排日思想の一掃等があり、而して之を完成せんが爲には日滿兩國民が克く世界の情勢と、皇道の使命とを理解體得し、自己の使命に基く堅確なる決心と不退轉の勇氣とを以て之に當らねばならぬことは謂ふ迄もない

茲に日滿兩國民が心機一轉の機を捉へ一致團結小異を捨てゝ大道に就き、皇道宣布の聖業に希ひ、以て滿洲國の完成を促進邁進せられんことを切に希ひ、以て年頭の辭とする次第である

迎年所懷

駐滿海軍部司令官 日比野正治

皇紀二千五百九十七年昭和十二年の新春を迎へ東天下燦然たる旭光を拜し聖壽の萬歲を壽ぎ奉り國運の隆昌を祈り併せて所懷の一端を[illegible]ふ顧るは啻に休戚の[illegible]る

滿洲國は建國以來茲に六年の齡を重ねて國礎漸々堅く躍進的發展を遂げつゝあるは誠に慶賀にたえない所であつて日滿兩國の不可分關係も亦益々緊密の度を加へつゝあるは兩國の共存共榮と東洋平和維持の基礎をなすものなるを確信して兩國將來の多幸を祈つて已まないものである

翻つて日滿を繞る四圍の情勢を觀るに蘇米等の軍備充實隣邦支那の不安定局面上を彷徨する歐洲等容易ならぬ情勢にある、日滿兩國民は東洋平和維持の大乘的信念に立脚して更に一層の努力を要するは勿論にして帝國海軍としてはこの情勢に對處する爲其使命に立脚して西太平洋の平和を確保し得る實力を保持せねばならぬ

本年新春より帝國は完全に海軍軍縮條約の桎梏を離脫し自由の立場に於て必要とする海軍軍備を整備し得ることとなり我が海上國防の基礎は愈々鞏固となつた理であるが、無條約下に於ける眞に有効なる新軍備の完成は吾等海軍人は素より懸つて我が國民今後の雙肩にあるものと謂はざるを得ない、昭和十二年新春を迎ふるに當りて充分以上の點を認識し之に對する不斷の覺悟を堅持しなければならぬ、斯くてこそ一段と日滿兩國の基礎を磐石の泰きに置き東洋の安定勢力としての日本に一層の光輝あらしむる所以であると信ずる

國務院總務廳長 星野直樹

建國第六年の新春を迎ふるに當り滿洲國の前途は益々光明に燃え稜剛たる正氣に滿ちてゐることは眞に慶賀に堪へないところである、外は友邦日本との情誼いよいよその深きを加へさきに治外法權撤廢の一部實現を見、內は日滿兩軍の獻身的努力は治安の確立を來たし、法制經濟その他百般の施設充實完備の度を進め過去五年間堅實不拔の努力は漸くこゝに集大成を見て將に百尺竿頭一步を進めんとする時機に達したるものといふべきである、抑も滿洲國の建國は王道精神の顯現であり同時に東洋平和確立の契機となるべきものである、吾人が營々として五族と協和し經綸を恐んで刻苦奮鬪しつゝあるは誠にこの大使命を遂行せんとするにあゝ、內に烈々たる建國の精神と雄大なる理想を抱き外に前人未踏の聖業建設に精勵するは實に男子の本懷これに過ぎるものはないのである、國外の情勢は混沌として亂麻の如きものあるもさらに友邦日本は獨逸と防共協定を締結して斷乎たる決意を中外に宣明し、吾人をしていよいよ建國の精神浸揚に勇躍たらしめるものあり、吾人の不退轉の意氣と崇高なる協和的精神はよくこの難局に處していよいよ牢固たるものを痛感するものである

謹賀新年
新京日日新聞社
社員一同

各種重要法案山積
活潑な論戰豫想さる
税制、電力、義務教育、外交、行革等
解散をも辭せぬ政府

【東京國通】今議會は卅億圓餘の厖大豫算を抱へ込んで税制整理案、電力國家管理案、義務教育延長案等の外、對支對ソを中心とする外交問題行政機構改革問題等の

幾多

の重要國際問題が山積してゐるので、政黨方面では滿洲事變以來の信用失墜回復の意を含めて全線的な反撃の姿勢を構へてをり、かつてみない活氣ある議會が展開されるものと豫想される、わけても今回の税制整理案は劃期的なものだけに議論が集中されるものとみられる、たゞ問題となるのは税制整理案の行過ぎ訂正は直ちに増税額の減少となりこれは必然的に豫定以上の公債増發となつて現はれるので政府としては修正に應ずるにしても或る限度を守つて限られた餘力でこれを賄ふより外なくこの限度を越へるやうな大規模の修正は如何にしても應ずることは出來ないとの方針を認めてゐる、すなはち注目すべきは政情の臆測に關し廣田首相および内閣首腦部の間では政黨が餘りにも高徑修正を迫る場合にはその是非を國民に問ふ意見で斷乎議會を解散しやうとの決意を秘めてゐる

事實

である、しかして實際問題として見るとき直ちに今議會が解散氣構へと見るわけにはゆかないが政府が或る程度まで解散の用意をもつてゐるといふ事實は今後議會戰にあたり幾多の影響をおよぼすであらう

聖上陛下
本年秋伊勢神宮御親拜

【東京國通】皇祖天照大神の鎭り給ふ伊勢神宮參拜の國民は年と共にいよいよ多くなつてゐるが畏くも天皇陛下におかせられては敬神崇祖のいとも有難き御思召から、本年秋伊勢神宮に行幸、親しく御拜遊ばされるやに拜承する、陛下神宮御拜の御事は昭和三年曠古の大典の御砌り御親拜遊ばされて以來の御事である

正金對英建値引下で
對外爲替暴落
商内は先安見越て繁忙

【東京卅日發國通】ニユーヨークで正金對英建値一志二片を引下げるとの噂が飛び圓賣旺盛を極めて卅日入電は米日一擧に廿四仙暴落の廿八弗卅三仙を報じ、英日又十六分の一安の一志一片八分の七、米英クロス又八分の五安の三弗九十仙卅二分の卅一を報じて内地市場は氣配り更に軟化し對米、對英ともに一磅方暴落し、相場は本年の最底安値を示現した即ち對米は賣手今月は廿八弗十六分の五來月同四分の一に、二、三月同十六分の三、買手は今月廿八弗八分の三、來月同十六分十五、三月同四分の一であつた、又對英は賣手今月一志一片卅二分の廿七、來月同十六分の十三、二、三、四月同卅二分の廿五買手は今月一志一片八分の七來月同卅二分の廿七、二月同十六分の十三、しかし棉花輸入ビルも買氣は引續き旺盛、輸出ビルもこの相場底落に狩り出されて商内は先安見越しから繁忙であつた

半休廢止陳情

全滿商工會議所聯合會ではさる二十一日理事會の決議により一月一日から實施される在滿銀行國の改正營業時間中土曜日半休廢止方を三十日大藏省、財政部、各銀行當局にそれ〴〵文書をもつて陳情するところあつた

牛……蒙古にて

この子にして この親あり
賴もしき銃後の護り

小林部隊本部發表＝討匪戰に或は斃れ或は傷く者の生ずる度に將兵はこれ等貴重な犧牲者に對する哀悼の念やみがたいものあるが、更にこれ等家族の人々が野良仕事の最中に或は一日の仕事を了へて一家團欒の夕餉に向つた時或は又隙間洩る風に夜業の手を休めて遙かに想ひを『赤い夕陽の滿洲』に馳せてどうか無事で御奉公してゐて吳れよと祈らぬことゝてなきに突然戰地よりの悲報を手にし繰返し繰返し讀まるゝ時の情景を想ひ起す時、誠に斷腸の思ひに堪えないのである

□

故加藤一等兵は向仲部隊の一員として勇躍出動するや數次の戰闘に參加し、屢々武勳を樹てたが、刁　附近の戰闘の際には同部隊第一小隊第一分隊に屬し同分隊前面の高地を占領し、死物狂ひに我方に猛射を浴せる匪賊二十數名に猛擊を加へ、戰闘將にたけなはなりし時同一等兵は敵の先頭に在つて我を猛射中の匪賊を發見するや一發の下に射殺し更に匪賊の銃火を冒して勇躍突入し、拳銃亂射中の匪賊の連長（中隊長）を一擊の下に刺殺したゝめ、白兵相搏つ亂闘の中に味方は勇氣愈々百倍し該方面の匪賊を潰滅させた次で同一等兵の屬する分隊は匪賊主力の右側を包圍し之を攻擊するため前進するとき、同一等兵は率先先頭に立ち將に高地頂上に達しやうとする一刹那一彈は頭部に命中し、天皇陛下萬歲を高唱しながら其場に昏倒した

□

右戰闘に名譽の戰死を遂げた加藤幸雄君は福島縣信夫郡の出身で、この壯烈な戰死の報に接した嚴父加藤彌太郎氏から次の樣な手紙を部隊に寄せて來た

幸雄は渡滿に際し既に死を覺悟して出征致候、榮譽赫々たる戰死は男兒の本懷に有之六親眷族の本望と誇らしく存居候、たゞその戰死に當り女々しき態度無かりしやを懸念致居候（中略）家内一同益々格勤精勵し以て邦家のため盡瘁致可く聊かも落膽致すことなく老の身に鞭打ち居候（中略）後に殘りし三兒の内一人は航空操縦手として霞ケ浦にあり、幸雄戰死の報に對し折返し『ラクタンムヨウ、ワレコソニアリ』との電報に意を强ふ致居る次第に有之幼き二兒も何れ國家の干城として送り出す所存に有之候

□

又、淺井上等兵は母一人子一人で他に賴るべき親戚とてもあまり澤山無い家庭に育ち、村でも評判の親孝行者であつたが、入營後もいたつて實直溫厚で上下の信賴を集めてゐた、討匪戰には度々出動して數々の武功をたてたが、昨年秋松山討伐隊に編入されて依蘭縣下に出動し、十二月二日六百にあまる謝文東の大匪團に遭遇するや討伐隊は卅余名の寡兵をもつて敢然としてこれを攻擊し交戰實に七時間の後さしもの敵匪に多大の損害を與へて潰走させたのであるが、此戰闘において淺井上等兵は頭部を貫通せられて壯烈なる戰死を遂げた、向仲部隊から同君戰死の報を受けた鹿兒島縣肝付郡の母親からは折返し次の樣な手紙が屆いたが一讀涙なきを得ない

此の度我子の戰死に對し御同情ある御取計ひに預りますことに有難う存じます、一人の息子に先立たれた私は一時は途方に暮れもしましたが思へばこれも皆御國のためであり、あの子も立派に御國のためになつてくれたかと思へば人樣に對して肩身の廣い樣な氣が致します、これから先は石にかぢりついても私一人で立派にやつて行きます、これが可愛いゝわが子に對するせめてもの母のつとめであると思ひます

□

戰死者の遺族の人々から一家の名譽この上もないといつて來られ盛大なる町村葬や郷黨の絶大なる同情をうけ靖國神社合祀の榮譽など生前における教育擔當者に對する謝辭等を記した健氣な通信に接する時は誠に崇高といはうか悲壯といはうか一種云ふ可かざる感に打たれて自ら眼頭が熱くなることを覺える、しかして樂土建設の爲奮闘を續けてゐる將兵一同は任務のためには何時でも喜んで斃るゝ覺悟を一層深くする

吾々は故加藤一等兵および淺井上等兵の當時の勇戰奮闘の狀を想起して英靈永へに安らかならん事を祈る、吾々部隊將兵は思出深い現場に新しい墓標を立て靜かにその冥福を祈つたが、まことに『此親にして此子あり』この堅い銃後の護りこそ將兵が安んじて其任務に就かせる一源泉ではあるまいか

たゞわれ等はこれ等遺族の人々に幸多かれと祈ると共に、郷黨閭裡の人々がこれ等遺族の上に永久に變らぬ同情を寄せることを希つてやまぬ次第である

年頭所懷
關東局總長　武部六藏

乾坤一轉して萬象悉く淸新謹みて聖壽の無窮を壽ぎ奉ると共に國運隆々として萬民歡喜緊張の裡に多幸なる昭和十二年の新春を迎へますことは洵に慶祝に堪へない次第であります、殊に友邦滿洲帝國は建國以來すでに六星霜着々としてその健全なる發揚を遂げつゝあるのみならず治外法權の一部撤廢により日滿兩國一體不可分の關係いよいよ鞏化し滿洲國の國運はますます興隆躍進の途を辿りつゝある狀況に接し得ますことは私の欣快に堪へない所でありまして、わが國不動の國是は年と共に榮光を加ふるの感を深くするのであります、顧みまするに昭和十一年はわが國にとり内外共に實に多難でありまして内には未曾有の不祥事件あり外には所謂一九三六年といふ國際的危機に直面致しましたが國民の健全なる常識と確固不動の國民的信念に基き、内國家を泰山の安きに置き、外防共協定等を初め世界平和に貢獻し擧國一致克くその難局を切拔けて來たのであります翻つて現下日本の國際的地位と其情勢とを考へますと一層事態の重要性を痛感せしめられるのであります、即ち今年は歐洲政局不安の增大、北支問題、對支、對蘇交渉擧げ來れば幾多の重要問題が國家の前途に山積して居りまして時局の重大性に拍車を加へて居りますことは今更事新しく贅言を費すまでもなくすでに朝野を擧げての一大關心事であるのであります

およそ斯る對外的難局は一面において異常なる躍進力をもつて發展する興隆國家としては洵に避け難き事象であり試錬でありましてこの事はまた國家の前途に一大光明を約束するものでありますからして國民は過去三千年來培つて來た大和民族の本領を發揮し内外の事態と動向を靜觀し毅然たる氣魄と確固不拔の信念をもつて擧國一致難局の打開に邁進しなければならぬと思ふのであります

殊に滿洲の地にある私共としては昨年わが關東局施政三十年の記念日を迎へましたので本年はその過去三十年における對滿經營の光輝ある歷史と業績の上に立つて更始一新ますます施政の適正を期する第一年であると共に當面の最も重大問題である對滿洲國策の遂行に關し今後一層精神的にも物質的にも一體不可分の緊密關係を擴充鞏化して行かねばならぬ重大なる責務を擔つてゐるのであります、すなはち曩に治外法權の一部が撤廢せられわが對滿國策が着々として具現せられつゝある事はすでに周知の事實でありますがこれが全面的撤廢移讓の完成は日本民族の全滿的發展の上からも、東亞全局の安定の上からも焦眉の急務をなして居るのでありますから在滿各機關は素より官民一致協力眞に『大義を宇内に顯揚』せんとする御聖旨を奉體し、この歷史的鴻業の達成に獻身努力すべきであると思ふ次第であります

新春に當り聊か所懷を述べて年頭の辭と致します

鮮銀、正隆、滿銀閉鎖
滿洲興業銀行開店
國内金融機關の統制强化實現

滿洲國内に於ける金融機關の統制强化を企圖する日滿兩國政府の方針によりさる五日創立をみた滿洲興業銀行は朝鮮銀行在滿支店、正隆銀行、滿洲銀行を夫々合同買收し、その業務引繼も昭和十一年十二月卅一日限りをもつて無事終了、一月一日を期して花々しく開店された、なほ過去二十五年乃至十五年に亘つて市民の金融機關として絶大の信用を博し馴染の深かつた鮮銀支店、滿銀本、支店、正隆本、支店ともに昭和十一年十二月卅一日限りその看板を名殘り惜しくも興銀支店に塗りかへ或は永久に降ろしてしまつた

年頭所感
内閣總理大臣　廣田弘毅

光輝ある昭和十二年の新春を迎へ、昭代の榮光漲る裡に謹みて聖壽の萬歲を壽ぎ奉り皇國臣民の感激をこゝに新たに致す次第であります

畏くも皇室の御繁榮彌々加はらせられることは一億國民を擧げてこの上もなく有難き國運隆昌の瑞祥として恭悦申上げるところであります

歲華の革まるとゝもに私共はいよいよ淸新の意氣をもつて國運進展のため、淬勵の誠を致さねばなりません

今日の時局の重大なことは今さら申すまでもなくこれを昨昭和十一年中における内外の諸情勢に顧みましても洵に思ひ半に過ぎるものがあります

惟ふにかくの如く時勢が多事多端を極め急激なる變轉をとげつゝあることは一面國家の興隆發展の過程に外ならぬのでありましてそこに幾多の難關、障碍があらうとも斷じてこれに耐へ克くこれが打開の方途を愆らざるときは洋々たる前途が拓けるものと信ずるのであります

しかして斯樣な場合に當つては須らく國民齊しく思ひを萬邦無比のわが國體の本義に致し一系無窮の皇運を扶翼し奉るため、悉く赤誠を捧げもつて擧國一體の美を濟すことこそ凡ての根本であると存じます

今やわが國は世界の雄邦としてますます重きをなし東亞の安定力たる地位を確立しつゝあることは衷心欣榮とするところであります

また盟邦滿洲國がその國礎いよいよ鞏く國運發展の著しきものあるは眞に同慶の至りでありまして、兩國不可分の關係をますます强化しつゝ東亞全局の安定を圖り、進んで世界の平和、人類の福祉に貢獻するはわが國不動の國是であります

しかるに現下各國の國情ならびに國際政局は複雜多岐を極め不安を增大しつゝありまして就中それのコミンテルンの意圖と活動とは最大の注意を必要とする情勢にあります

その根本精神においてわが國體と絶對に相容れざるは勿論人類文化の本旨に反しその運動は各國の安寧福祉を害するこれより甚しきはなしと申さねばなりません

近時その策動漸く繁くしかも直接の目標をわが國ならびに獨逸國等に向け來つたについては到底これを默視するを許さず、依つて日獨防共協定の締結措置を見るに至つたのであります、右は偏へに世界を攪亂せんとする共産主義の脅威に備へるものでありまして、志を同じうする諸國と國際的協力の實を擧げんとする趣意に外ならぬのであります、假令爲にせんとする臆說等あるとするも世界の大勢に着眼し、わが國の使命に鑑み内外の安定に資せんとするわが眞意と公明なる態度とは共に善く諒解せらるゝところなるを期待致すのであります

隣邦中華民國における今日の事態はわが國の重大なる關心をもつてその推移を注視するところであります、本來同國と善隣の誼を致さんことはわが國上下の夙に希求するところであつて、これがために必要なる努力を繼續し來つてをりますが、同國が克く時局の收拾を見、速かに善意を表明し來らんことを望んでやみません

國内における諸般の安定向上のため施設すべき事項は洵に多いのでありますが、就中最も急要とする各種案件はすでにこれを決し、議會提出の準備を進めつゝありますが、朝野協議、その實現に努め所期の成果を擧げんことを庶幾致す次第であります

年頭に當つてわが國本の彌々確固不動にして國勢展々として進み何ものも能くこれを阻むなきを信じ欣快に堪へません

しかして稀に觀る重大な時局に際し、いよいよ擧國振張俱に相率ゐて堅忍不拔の努力を拂つてこれに善處し、國運の前途に輝かしき新生面を拓かんことを翹望致すものであります

旅行中に付年始の御挨拶を缺禮仕候
合資會社阿川組　宇野常吉

喪中に付き年賀の御挨拶御遠慮申上候
新京三笠町三丁目　赤木常磐

喪中に付年始缺禮仕候
日本橋通り片山齒科醫院　片山秀樹

喪中に付年始缺禮仕候
東一條通り金城靴店　永田定治郎

喪中に付年始缺禮仕候
祝町　靑井正一

喪中に付年頭御挨拶を御遠慮仕り候
川原久一郎

春はダンスから★
賀正
1日　新年オメデトウダンス會
・全ダンサーホワイトドレスで出席
・五時より七時まで晝間七時より夜間
・特別餘興
スペインの太陽……皆川タミエ
春のタップダンス……ジョーヂ谷
2日　踊れ踊れ初春の一夜
・四時より七時まで晝間七時より夜間
・特別餘興
マンハッタン小夜曲……皆川タミエ
ボレロ……紅惠子　ジョーヂ谷
3日　一九三七年歡喜のナイト
・三時より七時まで日曜十セントダンス會
・七時より夜間
・特別餘興
ニグロタップスネークダンス……ジョーヂ谷
燃ゆる情熱……皆川タミエ　淺井幸治
4日　舞姫は招く愛のダンス會
・七時より夜間營業
・今宵こそ落着いて踊つて頂きませう
5日　ハッピー・ドリーム・ナイト
・三時より七時まで晝間七時より夜間
・新年宴會のお歸りには是非お忘れなくモンテ……へ

ダンスホール・モンテカルロ

お屠蘇　お煮〆つき
正月御祝　ぞうに　調進
御一人前金五十錢
名物　十五屋
祝町靑陽ビル　電(3)六八〇七　四三二三番

〝お、今鳴る鐘はこ〟悲喜劇交々〝時差撤廢〟

蕎麥屋が慌てた二十三時の大晦日

長針一轉！希望の新春へ

一年一度の總決算でたゞでさへ慌しい大晦日が、去年は二十三時間、午後の十一時で除夜の鐘なのだから廻はりきれないのは蕎麥屋さんばかりではない、九時、十時と時の進むにつれて忙しい氣分は一層拍車がかけられる、

時差撤廢の大立物は何と言つてもラヂオだ、十時五十三分いよ〳〵時差撤廢記念放送が開始される、十一時になりましたら皆さん時計の針を十二時まで一時間お進め下さい―漫談が終了していよ〳〵十一時の打鐘、螢の光に送られて昭和十一年もこれで全く完了、官廳會社の電氣時計も、各家庭の置時計も、重役の懷中時計も、サラリーマンの腕時計も、ダンサーのも、藝者のも全滿一齊に一週轉！名殘り惜しくも悲しくもはやこれで希望に滿ちた新春だ、寢ないで待つてゐた子供達はこれでお正月とばかり歡聲を擧げる、素晴らしい時差撤廢は何の障碍もなく效果的に終了した

輝く國都の新春　朗らかに開く！

けふ元旦國都の諸行事

乾坤一轉多事多難の十一年は暮れて希望に輝く昭和十二年は朗らかに明けた、建國第六年を祝福する國都の祝賀式典の諸行事は午前零時新京神社に於ける平安祈願祭によつて開始された、時計の針が廿三時を指すと新京神社の境內には篝々と庭燎が焚かれ凍つく寒氣をついて參拜の市民は次から次へと拜殿を埋める定刻植村神官以下各神職は衣冠束帶に威儀を正して幣殿に出で中臣三度を奏し天地四方を拜する嚴かな安全祈願祭が執り行はれた、そこゝで「明けましてお目出度うござゐます」「新年お目出度う」の挨拶が交はされるなどまことに和やかな風景である、ついで午前九時からは元旦祭が執行され市內祝賀行事は左の如く行はれる

新京神社の祭典

昭和十二年元旦、新京神社には大晦日からひき續き參拜者のうつ拍手の響が神木にこだまし午前零時二十分からは平安祈願祭が擧げられ植村神官は五名の神官を從へて神殿に進み修祓、獻饌、（この間神樂）祝詞奏上はラヂオを通じて全滿に放送され玉串奉奠、撤饌（この間奏樂）同五十分儀式を終へ一同退下した、晴衣の婦女子、大禮服の軍人等々元旦を壽ぐ市民は曉をついて參道拜殿に溢れた

平安祈願祭　一日午前零時廿分（神官のみで）修祓、開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉（約三十分）

歲旦祭　一日午前九時から修祓、開扉、獻饌、祝詞奏上、玉串奉奠、撤饌、閉扉（約四十分）

關東軍

關東軍司令部の新年祝賀式は元旦午前九時十五分から軍司令部馬場に於て全員列席の下に行はれるが、式は板垣參謀長全員代表して植田軍司令官に祝辭言上ありたる後軍司令官の發聲にて天皇陛下萬歲（三唱）終つて講堂に於ける御眞影奉拜式に移り終つて祝宴が催される

關東局

關東局の新年祝賀式は關東軍に合同して擧行され、午前十時半から祝賀宴を開催する

大使館

大使館並に領事館では午前十時半全員正裝參事館々邸に參集拜賀式並に祝賀式を擧行、終つて中野總領事代理侍立十一時半迄一般の拜賀を行つた

新京署祝賀式

新京署では領警署と合同午前九時二十分全員正裝で講堂に集合猪苗代署長の登壇を待つて木內警務主任一同を代表して年賀の挨拶を述べ署長の挨拶あつて祝賀式を終へ神酒で萬歲を壽ぎ一同揃つて領事館の拜賀式に參列した

各學校拜賀式

新年を迎へた在京各中等、初等學校の生徒兒童たちいづれも着飾つて門松に國旗で飾られた學校にそれ〴〵登校し流石に一つづゝ年を重ねた喜びを滿面に浮べてお友達、先生に會ふ毎に意勢のよい朗かなこえでお目出度う〳〵とお祝ひを交し

▲中學校、錦ケ丘高女は午前十時から▲商業學校は午前十時半から▲敷島高女は午前十一時からそれ〴〵拜賀式▲各初等學校は午前十時から國旗掲揚式同三十分からそれ〴〵拜賀式が擧行された

新京事務局

滿鐵新京事務局の新年拜賀式は一日午前八時三十分から事務局三階大會議室に於て擧行される、定刻在京三千社員集合山口事務局長の祝辭があり一同冷酒を酌んで乾盃萬歲を唱和して解散の豫定である、なほ理事公館に於ては午前九時から武部理事、山口局長が在京各機關代表の賀辭をうけ設宴する

新京驛

新京驛の拜賀式は午前九時から構內運轉所教育室で稻川驛長、小谷、上野、加治屋各主任以下四百餘名の非番驛員が整列、遙かに東天を拜し冷酒を汲みて聖壽を祝し稻川驛長の初頭の辭が述べられた

郵便局拜賀式

新京中央郵便局の新年拜賀式は一日午前十時から本局樓上局長室にて擧行、木下局長以下各課長局員市內各局所長參列本田課長局員を代表して局長に對し賀詞を述べ終つて食堂にて祝賀宴を開き解散する

監房でも遙拜式

犯した罪を悔悟しつゝ新たなる氣持で償ひながら監房で越年する人々は領刑所で男百十七人女四人、新京署で男十五人女三人であるが大晦日には林檎、元日には雜煮の御馳走で各々室で東に向ひ遙拜し御聖恩を謝し新年を迎へた、なほ二日三日も雜煮で祝はれる

中銀互禮會

中央銀行に於ける新年互禮會は午前十時半より本行にて擧行田中總裁以下各重役社員參列、田中總裁の訓辭があつて後、萬歲を三唱、新年を壽いだ

電業、電々拜賀式

電業公司及電々會社では午前十時より夫々同社講堂に於て拜賀式を擧行した

滿洲國關係

總務廳▲新年祝賀式、午前八時から一同講堂に集合整列國旗に對し敬禮、國務總理大臣挨拶、一同敬禮式を終る▲祝賀式後食堂で互禮會、國務總理大臣發聲で滿洲帝國萬歲三唱、閉會

集れ國旗の下

今朝國恩感謝國旗掲揚式

新京教化聯盟主催國恩感謝國旗掲揚式は一日午前八時から新京神社に於て擧行されるが當日は滿洲國總務廳長星野直樹氏の講話もあり全市民の參加を望んでゐる

丑年生れの姐さん達

新京花街の姐さん達のうちアブラの乘りきつたところの二十五歲を丑年に因んで御紹介する、向つて右上から

▲靜香のメ勝―式地八重子（神戶）▲すみれの千代龍―田中その子（山梨縣）▲都席の竹姬―吉田きく（福井縣）▲千草の鹿ノ子―三浦フジエ（長崎縣）▲永樂の京千―敷野三代子（東京市）▲永樂の勝見―坂倉あさ子（東京市）中央上から▲吾妻の天龍―前田ハルヱ（佐賀縣）▲大吉の滿洲勇―石黑シゲ子（愛媛縣）▲大吉の文彌―法村ミドリ（宮崎縣）▲永樂の喜代香―中住タカエ（神戶市）▲やよいの笑香―山田ハル（東京市）▲扇席の照若―菊田千代子（廣島縣）向つて左上より▲やよいの光彌―西牧ふさ（栃木縣）やよいの一彌―一柳きみ（愛知縣）

宮中新年典禮

滿洲國宮中に於ける新年典禮は次の如く執り行はれる

▲元旦　朝賀　午前十時二十分、在京文官簡任及待遇以上、在京武官少將及待遇以上、在京勳一位

▲二日　賜宴　正午、在京文官簡任及待遇以上、在京武官少將及待遇以上、在京勳一位

▲三日　朝賀並に賜酒　午前十時三十分、第一班在京文官薦任官、在京武官校尉官及待遇及在京勳二位並勳三位　正午、第二班在京文官薦任官、在京武官校尉官及待遇　參賀、午後二時至四時、在京勳四位以下

新年互禮會

正午より公會堂で開催

新春を壽ぐ恆例『新年互禮會』は一月一日正午新京記念公會堂で擧行される、當日の次第は日滿官民千餘名參集滿洲國軍樂隊の指導にて一同國歌君が代を奉唱ついで滿洲國々歌を齊唱、中野總領事代理の祝辭があつて張滿洲國々務總理の發聲にて大日本帝國萬歲滿洲帝國萬歲を唱和して閉宴の豫定である

湧で湯に浸つて心身も新に！

電々の朱乙行き喜々と出發

北鮮の幽境朱乙溫泉の景勝を採り併せて溫泉情緒に浸り乍ら丑年の元旦を迎へようとする電々會社の電々型受信機發賣當籤者招待朱乙溫泉探勝は過般本社特派員等の紹介により、ラジオ受信機購入當籤者及び擴く一般から好評嘖々たるものがあつたが一行は三十日愈よ電々係社員の案內で目的地に出發した、この日一行五十餘名は匆忙とした歲末氣分の中に處女地見聞の喜びに相好をくづし乍ら驛頭に集合異彩の情景を描きつゝ粛々として列車に搭乘、行届いたサービスに滿足して打興じ乍ら午後十時十分發列車で目的地朱乙溫泉へと向つたが、一行は三十一日朱乙溫泉に到着後一年の垢をいで湯に落して越年、三日間滯在し英氣を養つて五日新京歸着の豫定である

（寫眞は一行出發の光景）

頑張れ新京商業軍

氷上遠征の途に

今朝八時日光向け勇躍出發

一月十日日光で開催される全日本中等學校氷上競技大會に滿洲を代表して出場する新京商業學校ホッケーチーム前田主將以下十名、スピード大川主將以下四名は中島、山住兩教諭引率の下に一日午前八時の〃ひかり〃で朝鮮經由渡日十六日頃歸校の豫定である

承德觀光協會　懸賞募集

承德觀光協會では今回觀光承德を大いに宣傳するため左の問題を一般に懸賞募集することゝなつた

一、承德觀光協會マーク圖案（一等二十圓、二等十圓、三等五圓）

二、承德觀光記念スタンプ圖案（一等十五圓、二等十圓、三等五圓）

三、承德觀光標語（一等十圓、二等五圓、三等三圓）

なほ應募規定は官製ハガキに一枚一件、一月二十日限り、承德日本居留民會內、同協會宛のこと

ヂャピー氏一月末退院

日本人の人格に感謝

【東京卅日發國通】日佛スピード飛行ゴール寸前にして挫折したアンドレ・ヂャピー氏はその後福岡の九大病院に後藤外科で專心加療、漸次全快に向ひつゝあるが、左大腿骨の骨折部も全く癒着し、明春一月早々には退院出來る模様で、退院後は後藤博士の勸告に從ひ一月末まで別府溫泉に滯在、入浴加療することに決したとのことである、なほ同氏が最近佛大使館附武官ブリユー・イエール少佐に宛てた手紙によると後藤博士以下九大病院側の國境を越えた手厚い治療に痛く感激、日本人の人格の高いのに驚嘆してゐた

あす（二日）

▲ミス・ワカナ一行公演、午後五時、公會堂

▲桃中軒如雲一行公演、午後七時、西廣場滿鐵俱樂部

偶語

多事多難であつた一九三六年も滿洲では二十三時間で終り新に一九三七年を迎へた▼乾坤一轉廻り來たこの新なる年とは如何なるものであるかを考察するとき▼我々は一九三六年の危機以上に切迫した危機の到來を痛感させられる▼すなわち歐洲に於ける黑赤の色素鬪爭はいよ〳〵深刻となり完全に全歐を二分せんとする勢にあり▼極東に對するコミンテルンの浸略戰は益々急にして遂には支那動亂の因となりその止るところを知らず▼ひるがへつて我國情如何を檢討するに多年醞釀されてゐた不安は二、二六事件となつて破裂した▲そのあと始末の重大責任をもつて起つた政府は內に國民の總意なく獨善秘密外交は悉く失敗に歸し▲政府が頭初に振り出した肅軍、綱紀肅正もついに空しく空手形に終つて了つた▼然し其の責任の一切が政府にありとするは酷であつて其の一端は國民の責任でもあるのである▼東西に亘る外の不安危機は彌々擴大せんとする秋これに對するものは國民總動員擧國一致の精神でなくてはならぬ▼殊に帝國生命線の第一線に起つ在滿邦人の責任はいよ〳〵重大である▲元旦に酌む冷酒には大きな骨が入つてゐるのだ心して飲んで貰ひたい

中古カメラ　賣買
乾寫眞機店
新京銀座二丁目　電話③二三九〇

米と酒
灘の生一本　品質本位　酒のデパート　西村洋行
創業明治四十年新京唯一
電話③二一〇二

新年の御慶芽出度申納候
（和歌）人の世に樂多し然れ共酒無しにして何の樂しみ（歌人若山牧水）
（狂歌）世の中に酒といふものなかりせば何に左の手をつかうべき（萬載狂歌集）
（俳句）梅が香や酒の通ひの新しき
（川柳）門松にすがる禮者は機嫌すぎ
（都々逸）酒も飲まんせ一合や二合神酒あがらぬ神がない

撈年萬喜
滿洲行政學會

恭賀新年
新京　秋林洋行
日本橋通り十七　電話（三）五三〇二番

謹賀新年
明けましてお芽出度う存じ上げます昨年中は開店早々より絶大なる御贔負賜り一同感激厚く御禮申上げます本年もどうかして御得意樣に御滿足願へます樣店主店員共に元氣で精一杯働かして頂きます
元旦

KURISHIN
栗新　新京銀座（吉野町）　電話三・六八二〇番
◎初賣二日　◎景品進呈
松の內營業（七日マデ）午後三時まで
尚お急ぎの節は新京驛構內賣店を御利用願ひます

おめでとう
割烹　新京
富士町二丁目新京ホテル隣
電話(三)二六〇一　六二一六番

妖魔往來

（續上映上演）　桃川燕二演　内山鉦太郎畫

一四四

「只今の樣子で見ると晴人は此家に住んで居ろに違ひない深入りするなとは平井の叔父上の戒め、何しろ居る所が突止められたのは大きに便宜小野先生に逢つても土産の種はある」

と數馬に於ては其儘宿屋へ引返しましたが、是れ全く八郎お志津でございますか如何に、是は後の御物語りとして是より甲斐の國へ名たゝる猿橋の橋上彼の關宿の大藏、駒場の安五郎、宇都宮八郎の出會の件を言上仕ります、前席に於ては宇都宮八郎が數馬に繩を與へ、江戶から甲府の柳町に向かつた、大阪屋熊吉の繩を引掛て大手を擴げて

「此繩貰つた」

と呼んだ時、駒場の安五郎刀をら抜き、眞先に飛出したる[illegible]

「ソレ繩を良せ繩を横道へ入れろ」

と指圖をする、陸尺共面喰らつて居る奴を女衒の大阪屋熊吉

「ヨイショコラ〳〵」

と繩の片棒を擔いだから、陸尺共も心得て跡棒をかつぎ、既に横道へ切れんといたします、八郎氣が氣ではありません、

「人を殺めるは我等の本意ではないが、お志津をなくしては何かせん、觀念しろ」

ズバリッ……拔討に安五郎目掛けた、刀は業物腕は宜し物の見事に安五郎臍大から唐竹割に切り下げられた、安五郎大膽强さうだつたがそれは八郎が刀を拔かぬ以前の事、ウムともスーとも云はずに打倒れましたのは天命の然らしむる所、八郎それには目も呉れずバラ〳〵バラと繩を追掛けました、

じて置きました、其時八郎大音を上げて

「此繩の内には宇都宮にて誘拐した田原屋の娘お志津が居る筈、速かに娘を我等に引渡せばよし、もしや兎や角云ふ時は、刀に掛けても取戻すぞ、何うだ〳〵」

と刀にそりを打たせて呼ばはる駒場の安五郎爺として

「何を吐かしやアがる、三一め汝等は瀬繩夜盜の類だな、二本差がこわくて田樂が食へるけえ、人の仕事の邪魔をする汝等から先へ片附けるぞ」

と短刀を揮つて斬込んで來た

「エ、猪口才千萬な腕立てをして、飛んで火に入る夏の虫とは汝等の事だ覺悟をしろ……」

とは云つたが八郎まだ刀を抜かない、飛ツ向魔と打込んで來る腕をヒラリ體を躱して空を打たせ又もや飛込んで來る奴を一足退つて刀をよける、其腕は腕に覺えの安五郎、八郎でございます、安五郎引き得に打たる、安五ない、其隙を見た陣宿の大藏

こりやア堪まらぬと是も短刀を抜き掛けたが、拔かせも果ず振り掛つてバラリンズーン……大藏の首は中天に飛んでベツカコーまさか其んな事はありますまい大阪屋熊吉二人が殺されたのを見て魂魄も身に添はず

「ワアーッ、人殺し〳〵」

と云ふと擔いで居た繩を突然其處へ放り出した、陸尺なら同じ放り出すにも其處は手加減があつたかも知れませんが熊吉はそんな事は無茶だ力任せに前棒を投げたから堪まりません、繩の中の[illegible]共に横ツ倒しに倒れる、何う云ふ繩會でありましたか繩の中からゴロ〳〵と轉がり出たのはお志津、嬢樣の目[illegible]何千丈とも分らぬ崖より

「アッと云ふ間もあらばこそもんどり打つて落込みました、八郎この有樣を見て狂氣の如く、件の繩綱を[illegible]付けたがモウ及びません

「チエッ殘念、連止めた崖が惡かつたか」

と谷の底を睨んで暫くは芒然として居た。

賀正

新春初發の三大巨彈

大河内傳次郎　黑川彌太郎

高勢實　鳥羽陽之助　市川百々之助　横山運平

怪盗白頭巾　前篇

泥棒雲霧仁左衞門一味の愛嬌ある純情な物語！

原作　梶原金八
監督　山中貞雄

米國一の美人女優　ヘレン・ガーヘーゲー主演

助演　ヘレン・マツク　ランドルフ・スコツト
監督　アーヴィング・ピチエル　エルシー・ホデルン

洞窟の女王

OKR日本版

シベリヤ氷原の奧地・永劫の焰の燃え熾るところ、洞窟の女王と英國青年との五百年の戀の復活！壯大・怪奇・妖美冒險のスペクタクル！

純文藝傑作映畫

人生劇場

小杉勇　親子二役　大熱演

山本禮三郎・村田知榮子・黑田記代助演

映畫が創めて人間の肉と骨とを描いた純文學的映畫！幾度觀る滋味滾々として盡きず。

原作　尾崎士郎
監督　内田吐夢

40セン

31日より公開

朝日座

開館十時　三日・二日・元日　朝日通大馬路角　電話二・三〇九五・三〇九六

謹賀新年

皇紀二五九七年

南滿洲鐵道株式會社

- 大熊醫科器械店 新京支店
- 日本コレス株式會社 新京支店
- 合名會社 大松號 出張所
- 今井組支店 新京興安通一〇 電話二・三二九八番
- 株式會社 間組出張所
- 興安タクシー
- 多田工務店 新京支店
- 新京特別市 日人理髪業組合
- 天理教滿洲傳道廳 廳長 植田五郎 主事一同
- 産婆 花岡
- 多以良書房
- 興亞印刷局 新京支店
- 北滿金鑛株式會社 新京出張所
- 御料理仕出し 三咲屋
- 興安食堂 電話二一七七九番
- 喫茶と酒場 サロン リズム
- 甘黨 右膳 電話二一一三三一番
- 撞球場 興安倶樂部
- 淺井小兒科 新京崇智路六一六 電話二一一六〇五番
- 產婦人科 田島醫院 新京興安大路九一四 電話二一二六〇七番
- 村屋齒科醫院 新京興安大路盛滿ビル 電話二一一七六五番
- 松屋齒科醫院 新京興安大路二一六 電話二一一四四六番
- 萩原齒科醫院 新京北安路六二二 電話二一二三七番
- 呼吸器 胃腸病科 レントゲン科 三谷醫院 新京崇智路一〇八 電話二一一四八六九番
- 國道局 直木倫太郎 孔世培 鈴木兵一郎 阪田昌亮 本間徳雄 原口忠次郎
- 株式會社 高島屋 新京出張所 新京豐樂路六一〇番地 電話二一一八八五番 本支店 大阪、東京、京都 出張所 大連、奉天、哈爾濱、京城、台北
- 三菱商事株式會社 新京出張所
- 東蒙貿易股份有限公司 新京特別市興安大路 支店チチハル東頭道街
- 東亞興業株式會社 新京出張所
- 藤川表具店 新京安達街一〇八番 電話二一一四二九番
- 萩澤組 新京出張所 新京興安大路五〇六號 電話二一一五六三番
- 家具のデパート 日高洋行 新京興安大路二〇六 電話二一一二一四八番
- 仁善堂藥房 新京興安大路三一三 電話二一三七三八番
- あじあ藥局 新京興安路六〇六 電話二一一六四四三番

新京日日新聞 (其の一)

日滿一徳一心を 御祈念遊さる
三千萬民衆に範を垂れさせ給ふ

畏し皇帝陛下

滿洲國宮廷のお正月は申すも畏きことながら公式の御儀式を別としては一般の御想像申上げる以上に御質素な、御靜かな御正月であらせられる

□　□

滿洲國皇帝陛下には毎日早朝御先祖ならびに日滿兩國のため御祈念を遊ばされるが、新年には特に大晦日より元日早朝にかけて齋戒沐浴、御心をこめさせられて滿洲國々民の福祉、日本皇室の彌榮、日本國民の幸福を御祈念遊ばされる、これすなはち日滿一徳一心の御淸神を躬をもつて三千萬民衆に範示あらせ給ふものであつて、眞に畏れ多き極みである

□　□

元旦には午前十時より滿洲國各部大臣はじめ簡任官以上の朝賀ならびに植田軍司令官大使はじめ内外顯官の朝賀を受けさせられ、二日には簡任官および同待遇以上の者に對する賜饗あり、三日には午前十時より同十一時まで薦任官以上の朝賀を受けさせられ、御酒を賜る、皇帝陛下にはかくの如く眞に寸暇もあらせられぬ御多忙の中にお正月をお迎へ遊ばされるのであるが、夜間などお暇の折には御近親者を召され、いろいろ有難き御言葉を賜り、種々な御遊戯に打ち興ぜられる、その御近親との御融和の御樣子は眞に涙ぐましきまでに御麗しい御有樣であると洩れ承る

□　□

御近親の御相手は義理の御叔父君に當らせられる存耆氏、鄭孝胥氏令孫、鄭廣元氏、同氏夫人御妹二格々姫、皇后の御弟潤良侍衛官等の方々であるが、いろいろ打とけた御物語の間にはコリントゲーム、戯詩等に興ぜられる、戯詩といふのは一人の方がある文字を書かれると次の方が又ある文字をならべられ、次第に起承轉結の上の文字が出來れば其下に各自順々に文字を重ねられかうして七言絶句等を作られる御遊びであるが、まことに古風な御床しい御遊びである、このほかにも宮内府の活動寫眞班に命ぜられて、御訪日記念その他の活動寫眞を上映せしめられ御近親の方々と御睦しく御覽遊ばされたり、あるひは雪の宮廷の御庭で御近親の方々をカメラにお收めになり、御自ら引伸しをあそばされるが、かうした御遊びのうちにも陛下の御近親の方々への御厚情のほどが窺はれる

□　□

御質素に御和かな宮廷府のお正月こそ眞に三千萬民衆のお正月の範たるべきものである

滿洲國皇室の彌榮 陛下の御日常

駐滿大使館參事官 滿洲國宮內府行走 林出賢次郎謹記

滿洲國建國第六年の春を迎ふるに當つて、謹んで滿洲國御皇室の御繁榮についていさゝか所感を謹述することは、私の眞に光榮とするところであります、滿洲國皇帝陛下には聖躬愈々御健勝にわたらせられ、第卅一年の御春を御迎へ遊ばされ、皇后陛下にも極めて御機嫌麗はしく第卅年の御春を御迎へ遊ばされたことはまことに慶賀に堪へない次第であります

御近親の方々

について申しますれば、昨年春日本留學を終へさせられ御歸國の上滿洲國の軍務に服せられた皇弟溥傑氏および皇后陛下の御弟潤麒氏の御兩人は更に軍學の奥義を究むるため昨秋再び日本に留學せられ、溥傑氏は步兵學校、潤麒氏は騎兵學校にそれぞれ御入學の上目下きはめて御健康に學業實科に御勉勵の御樣子であります

□

第三皇妹

即ち潤麒氏夫人は昨春潤麒氏御歸國の際にも引續き日本に留まられ、御子樣の御養育および御自身の御研學にいそしまれて居られたやうでありますが、昨秋潤麒氏の再渡日に當り、千葉の田舍に御住居を移され、靜かなる日本の田舍の風景をこの上なく喜ばれ、常に御兄陛下に對するこまごまの御消息にて陛下を御喜ばせ遊ばされてゐるように洩れ承つてをります

第二皇妹

鄭廣元氏夫人は御夫君とゝもに宮內府近く居住せられ、絶えず宮內府に出入し皇帝、皇后兩陛下の御話御相手を遊ばされる御樣子であります、鄭氏は昨秋約一ヶ月半にわたり日本視察に赴かれましたが、ほのかに承りますと鄭氏御夫妻は今年陽春櫻花の候日本に留學せられるとのことであります

第四皇妹

は昨年日本留學より歸來せる趙中尉と結婚せられ、夫君の任地齊々哈爾に赴かれてをりましたが、昨秋多少健康を害せられましたが、間もなく御全快になりまして結婚の御挨拶旁々昨晩秋天津に御父君醇親王をお訪ねになつたと承つてをります

第五皇妹

には引續き宮內府内にて陛下御親しく御指導のもとに、きはめて御健康に御勉强中で、二十の春を御迎へになりましたが、承りますれば近き將來に御慶事があるとの事であります、陛下の御父君醇親王は天津に御居住なされてをりますが、第二皇弟溥任氏は御父君の許において御勉學中で今年十九の春を御迎へになりました、かくの如く兩陛下はじめ御近親の方々はいづれも極めて御健康に、新しき春を迎へ遊ばされたことは、眞に慶賀に堪へないところであります、昨年溥傑、潤麒兩氏御歸國中は常に宮中に出入し

兩陛下を

中心に樂しき御團欒を遊ばされましたが、兩氏再御渡日後は自然陛下にもおかせられても幾分お淋しきように拜せられますが、陛下御自身は讀書研學の時間が增したと仰せられ、あまり御氣にとめられない御樣子であります

陛下の御弟妹に對する極めて厚き御愛情、御弟妹方の陛下に對する深い御親しみは實に御麗はしいものでありまして其一例を申しますれば、昨冬溥傑、潤麒兩氏および潤麒氏夫人御三氏聯合にて純日本式黒檀製卷煙草セットを御贈進になられるや陛下は從來御使用の御書齋テーブル上の煙草セットを片付けさせその新セットを御使用になり如何にも御滿足氣にそのセットを軍司令官閣下に御披露遊ばされたときの光景の如きは御兄弟親愛の情の溢れるものあるを窺ふことが出來て眞に麗しいことであります

皇帝陛下

には常々日滿親善の徹底を念とせられて居られますが、昨年中は三笠宮殿下を始め奉り竹田宮、閑院宮若宮殿下の御來滿遊ばさるゝあり、陛下には非常なる御喜びにて御歡待遊ばされましたが、殿下方との御會見、御會談は御傍で拜するさへ涙ぐまるゝ程の御親密さであつて御話の中には必ず御訪日の際における日本皇室の御歡待、日本朝野官民の熱誠な歡迎を感謝し居るとの御言葉あり、各地における山川風物の御思出に無限の御興趣を御感じ遊ばされる御樣子にて、訪日のことを今も昨日のやうな心持がすとお洩しになり、かく親しく宮殿下を滿洲にお迎へ申上ぐることは日滿兩國親善のため眞に慶賀すべきところであつて、日滿兩國の皇室は全く一體となつて兩國親善の根本をなしをるものなれば、これを兩國民に徹底せしめることが肝要で、この意味において日本より歸るや否やたゞちに回鑾訓民詔書を煥發あらせられたる旨を御話になり、また日滿不可分の關係は全く天意によるものなることを強く御話し遊ばされたように存じてをります、またあるとき陛下のお洩しになつた回鑾詔書に關するお言葉の中に次のやうな意味のことがあつたやうに憶えてをります

かの詔書は眞に自分の誠心誠意の發露であつてあの詔書の中にある日本天皇陛下と精神一體の如しといふのは日本天皇陛下の大御心をもつて自分の心とするといふ意味であつて、これこそ眞の不可分關係である、この意味を滿洲國の官民に徹底せしめねばならぬ、また日本の官民にも知つて貰はねばならぬ、今後はかの詔書の意味を國民に徹底せしむるため最善の努力をすることが大切である、國民上下心を一にし一心一體となり國內の治安を維持し、國民をして安居樂業の域に達せしめねばならぬ、また日滿不可分親善關係の徹底を基根として東洋諸國の親善を實現し、かくて東洋平和の實を擧げ、これを西洋各國におよぼし世界平和のために貢獻し、もつて世界人類の福祉增進をはからねばならぬ、この大目的達成のためにはまづ目前のなすべき功を積まねばならぬ、これは必ず實現し得べきものとの信念の上に日々の業を勵まねばならぬ

かく仰せられて茶碗を二つならべられ

この一方の茶碗の水が淸く他の方の水が土を混じてにごつてゐるとする、この二つの茶碗の水は一見異なるやうであるがこれを異なれる水とみるのは誤つてゐる一方のにごりをすまし土を去れば兩方同樣の淸水となる、水に相違はないのである、これを人と人、國と國との關係に思ひおよぼせば人々も國々もその環境によつて異つてはゐるが互に相通ずるものがあるのであるこの相通ずるものに想到して相親善するの途を講ずれば必ず親善の實を擧げ得る途を見出すことが出來ると思ふ、これは一つの理想にすぎぬやうではあるがこれに向つて努力することが必要であり、また自分の願ひでもある

と仰せられました

陛下には

常々國民の上に大慈大悲の心をもつて臨ませられてをられますが、特に日滿軍の上に御心を注がせられてをられますことは眞に有難き極みであります、その一例を申上げますれば、昨秋田邊參議が夫人の病氣看護のため歸國せられ歸任後御機嫌奉伺のため拜謁を賜つた際のことで陛下には極めて御懇切なる御言葉をもつて田邊夫人の病狀につき御下問あり、田邊參議は恐懼感激をもつて夫人が病院において手術をうけたる模樣を言上し、輸血により一命をとりとめ得た事情を委しく申上げ、近來日本には輸血應求會社と稱するものが出來、血液の型に應じ患者に適する輸血が極めて容易になつたため大手術をうける病人にとり眞に幸福なる旨を言上致しますや、輸血に關し極めて詳細なる御下問ありし後、陛下には非常に御感動の御樣子で近來日本における輸血の術がかくも進步してゐるといふことは人命救濟の上に非常な效果があるものと思はれるが滿洲國における輸血の術は如何なる程度にあるであらうかこの輸血の智識が一般に普及せられ血液を提供する者が增加したならば第一線において活動しつゝある日本皇軍および滿洲國軍の將兵の傷病者を治療する上に大いに效果があるであらう皇軍および國軍の

尊き將兵

の命を一人でも多く救ひ度いものであるとしば御感慨に耽られたのち田邊參議に對し、參議も今後はこの輸血思想の普及およびその設備が各地方に完備するやう提唱努力せられんことを希望するときわめて熱心かつ懇ろにお話しあつたのを拜しまして、陛下の日頃將兵を思はせられる大慈大悲の御心の厚きを拜し、御通譯の任に當つた私も深く感激いたしました次第であります

日滿軍將兵 最前線のお正月

雪の曠野を、密林を、來る日も來る日も、匪賊討伐で暮してゐる最前線の兵隊さん達にとつて「お正月」の聲は、優しい戀人にでもめぐり會ふような嬉しさだ

「もういくつ寢たらお正月だなあ」

「飲めるぞ」

とのびたひげをさすり乍ら勇士達は子供のようにその日を待ちわびるのである、その中に薪を集めに行つた元氣な兵隊さん達によつて大きな松の木が數本伐り倒されて運ばれて來る、これが營門の入口にたてられて手製のしめなはがはられる、眞白がはりに松の小枝等が使はれる、こんな素朴な飾りつけでもお正月の空氣は充分出る、暮には大掃除だ、班長さんの指揮のもとに箒をもつては出す者、雑巾がけをする者、一年中の塵埃をすつかり掃出して了ふ、水の不便なところなどは雪をバケツで運んで來て廊下にブチまけてゴシゴシ擦る、やがて班長殿の點檢が濟んで中隊長殿から

「概ね可なり」

のお言葉があつていよいよ正月となる

×××

午前六時起床、けふだけは起床ラッパが待遠しく皆大はしやぎではね起る

午前六時半雪をふんで營庭に集合、中隊毎に遙拜式がはじまる

脱帽!君ヶ代吹奏裡に最敬禮!はるかに東方皇居に向つて最敬禮を捧げる

ついで中隊長の新年訓話があり、遙拜式を終る、遙拜式を終つて隊に歸るともう嬉しい年賀狀が着いてゐる、郵便係から一々名前を呼ばれて渡される

「ヘイタイサンアケマシテオメデトウ　コトシモゴゲンキデオクニノタメニタタカツテクダサイ」

郷里の小學生からの年賀狀だ

「新玉の年のはじめの御慶び目出度く申納めまいらせ候」

水莖のあとも美しい女文字のもある、ドット飄歌があがる

さあこれから祝賀宴だ

邊陬の土地のことゝて何の御馳走もないがそれでも經理部からの精一杯の心づくしで

ごまめ、きんとん、こぶまき、かちぐり、するめ、くちとり

と罐詰ながら目出度いものがならべられて、お頭つきの小鯛まで添へられてゐる

お酒は勿論たつぷり故郷のお正月をしのぶお雜煮もある

大日本帝國萬歳!天皇、皇后兩陛下萬歳!乾盃があげられる

「どこまでつゞくぬかるみぞ」

やがて元氣のいゝ軍歌がはじまる、皆の顏がほんのり赤くなつたころには班長殿御自慢の鄙い郷里の小唄が出る

×××

かくて正月三日までは交代で自由に外出も出來、延刻も許されて午後八時の點呼までに歸ればよいわけでお晝ごろから仲のよい戰友達がそれぞれ雪の道を三々五々元氣よく出かけてゆく

×××

滿洲國軍第一線のお正月はやはり舊のお正月が主だからこれといふ催しもないが、元旦は滿洲國軍建軍の精神による遙拜式が嚴肅に行はれる、それから日系軍官との間に「お目出度う」が交されて仲よく日本酒が酌み交される、外蒙國境方面などは包の中で一諸に雜煮を祝ふ、滿洲國軍第一線のお正月はどこにもこゝにも日滿親善の空氣の滿ち溢れたお正月である

一意建國の聖業に精進

軍政部最高顧問 陸軍少將 佐々木到一

國家および民族の生命は悠久であるから單に建國五年の成果をもつて將來をはかることは早計であると考へます

×

しかしながら過去五年間を顧みて私の關係してゐるところの軍政部整備事業の成績についていふならば、たしかにそこに劃期的改善進步の跡を認むることが出來るのであります、大同二年に於て國軍はなほ未だ奉天、吉林、黑龍軍等と稱しその建軍には舊軍閥の阿流として親分乾兒的臭味を多量に存してゐたものが康德元年には軍管區制となつて新軍の態裁を整へ、人事經理が個人の情實主義より轉じて中央の統制に移り、私閥が打破されて部隊長の異動によつて軍心の動搖するが如きことなく積年情弊を醸すところの請負經理を豫算經理となして毫も支障なきに至つてをり、また指紋法を施行して士兵の俸給支給を確實にしたため從前の軍隊にみるが如きいはゆる缺餉なるものがその跡を絕つに至つてゐるのであります

×

かゝる整理は云ひ易くしかもその實現はもつとも困難とされてゐたところでありますとはいへ兵の素質が複雜多岐にわたるため一朝一夕に內容を肅淸することが不可能であつて、人民との接觸においてはなほしばしば非難の聲を耳にせねばならなかつたのは遺憾であります

しかるに康德三年東邊道の大討伐に際してはこの點においても大いに改善をみたる事實を發見します、すなはち十一月中旬東邊道を巡視しまわつた張榮久匪を捕へたとき、彼の供述のうちに「今次の討伐は從前と異り農民と軍隊とが協同して匪に當るため如何ともなす能はざるに至つた」といつてをります、滿軍が來れば戸を鎖して匿くれた過去に比較してこれは非常なる進步といはねばなりません、現にいまもなほ討伐を繼續してをりますが匪情は實によく擧がるそれは農民が進んで密告してくるに至つてゐるからであります

×

また臨江での一插話

臨江縣の一滿人警吏が街頭にてマッチ一箱を購ひ求めたところ銅錢を持たなかつた關係上後刻仕拂ふ旨を述べて立去らんとするをみとめた靖安軍の一上等兵がその不當を責め自ら一錢を支拂つて立ち去つた

みぎの警吏は理の當然に赤面をしたとたゞちに縣長、參事官等に報告した由でありますがしかもこの小なる事實が臨江縣城萬人の話柄となつてゐるほど驚異的事實とされてゐるのであります

×

肅淸改善の餘地は益々あるにしても五年の歳月が指導と訓練との宜しきを得れば必ずその效果をあげ得ることを如實に證明するものとすれば今後幾年かの後國軍は必ず治安警備上信頼すべきものとなるべく、治安の前途に關して憂ふるを要せざるものと考へるのであります

×

討伐の成績などについては事門にわたるをもつて詳細は省略いたしますが、滿軍の有する特性たる行動の輕快、地理、言語上の抗堪力の優秀、地理、言語人情に通ずる利益などはたしかに獨特の長所でありますから、その成績は極めて良好であります、康德元年以來年々千數百名の死傷者を出し、捕殺せる匪類、奪還せる人質等極めて多數に上り、部隊の果敢なる行動にして軍政部大臣の賞詞賞金に價したるものも尠からずあるのであります

×

今後なほ國軍意識を有せざる不良者を淘汰することによつて益々改善の實を擧げ得ることを確信するものでありますが、軍隊はもと國家國民の安寧を維持するために存在するものでありますから、國民は擧げてこれに關心を持たれ、國軍をして品位を保ち自ら非違を戒むるため自制自重せしむることに關しては國民の眼も亦大いにこれを助長するものであることを知つて頂きたい、善事惡事ともに埋沒せしめざることが建設時代の國軍にとりて最喫緊のことであり曲庇隱滅は時代に適せぬことを深く信ずるものであります

×

私は日滿兩機關に職を奉ずる者でありますから、兩國人の態度についても耳目に觸るゝところ比較的冷靜に批判する機會があると考へます、双方と多々あるもこゝにはこれを略し、本年の最大行事たる治外法權の撤廢後においては一層各人の自重自制を望まねばならぬものがあることを痛感する次第であります

×

年頭に空世辭は無用、本年も亦一意建國聖業に精進致したいと思ひますが、國民を擧つて協和精神の發揮、協和運動の綜合進展によつて治廢後の各民族間がますます融合協力せむことを特に禱る次第であります

迎年所懷

參議府議長 臧式毅

帝恭永貞、泰運宏開、康德四年の元旦を迎へるに當り、過去五ヶ年を顧みるに、百般の政事非常なる迅速さをもつて進展し、一切の制度典章も亦完備の域に達し、農作物は豐に稔り、萬民寧 して光明に輝いてゐる、先頃治外法權旣に一部撤廢を見、日滿提携はいよいよ密接を加へた、近年政府の豫決算は歳入遙に歳出を超して財政餘裕を示してゐる、過去は右の如くである以上將來も亦推して知るべしである、其原因を見るに何れも友邦の賢士大夫の熱烈なる匡助によるものであると同時に國利民福を目標とする輿論の指導と文化の發揚によつてはじめてかくの如き事半ばして功倍するの結果を得たのであつて、欣慶の至りに堪えない

余は參議府議長として一年有半菲才無爲を恥る次第であるこの萬象更新の年頭に當りますます日夜勉勵を期するとゝもに新年の萬福を祝したい

國務院

國務總理大臣 張景惠
民政部大臣 呂榮寰
外交部大臣 張燕卿
軍政部大臣 于芷山
財政部大臣 孫其昌
實業部大臣 丁鑑修
交通部大臣 李紹庚
司法部大臣 馮涵清
文教部大臣 阮振鐸
蒙政部大臣 齊默特色木丕勒
總務廳長 星野直樹

滿洲中央銀行

總裁 田中鐵三郎
副總裁 蔡運升
理事 大澤菊太郎
理事 西岡實太
理事 孫耀宗
理事 王富春
理事 海上浩
理事 高木銕二
監事 闞潮洗
監事 丁士源

滿洲帝國協和會

會長 張景惠
副會長 呂榮寰
中央本部長 井上忠也
總務部長 平島敏夫
指導部長 中野琥逸
企劃部長 半田敏治
監査部長 和田勁

謹賀庶政一新之春

皇紀二五九七年

記念公會堂
理事會

三井物産株式會社
新京出張所

東亞興業株式會社
新京出張所

新京洋服商組合

新京製氷所
住吉町九丁目四番地
電話（3）三八三五番

大丸樂器店
東二條通（滿鐵病院西南角）
電話（3）二一〇四番

社團法人
滿洲特産中央會
理事長 岸信介
滿洲新京

滿洲拓植株式會社
新京特別市大同大街康德會館
電話代表二一二六一一

龍印印刷インキ
印刷諸材料販賣
川村喜十郎商店
株式會社福盛號出張所
北大街二四
電話二一三三八六番

新京醫師會

新京賽馬倶樂部

滿洲計器股份有限公司
新京特別市豐樂路一〇五二號ビル

大德不動產股份有限公司
專務董事 鈴木英一
新京特別市北大街三六

滿洲火柴公賣承辦處
長春洋火工廠
寶山燐寸工場
日清燐寸株式會社
吉林燐寸株式會社支店

新京市場株式會社

滿洲炭礦株式會社

南滿洲瓦斯株式會社
新京支店

滿洲林業股份有限公司

新京寫眞協會

乾寫眞館	電話（3）三〇二五番
林田寫眞館	電話（3）二二一二番
岡哲生	電話（3）五三〇三番
吉岡寫眞館	電話（3）三六〇五番
永清寫眞館	電話（3）五九五二番
中川寫眞館	電話（3）三七六一番
臼井寫眞館	電話（3）三四五〇番
山本寫眞館	電話（3）二八五三番
藤坂寫眞館	電話（3）二二一三番
二葉寫眞館	電話（3）三九四二番
光園社寫眞館	電話（3）四八七七番
三揚社寫眞館	電話（3）六五七一番
森脇寫眞館	電話（3）一六九三番

公債株式現物問屋
は 畑園太商店
老松町十二番地
電話（3）長二三四九 六一六五番

新京藥業組合

社團法人
滿洲土木建築業協會
新京分會
新京八島通り三四番地

大興股份公司

大阪商船株式會社
新京事務所

日滿商事株式會社指定販賣店
新京石炭商組合

合資會社
清水組新京營業所

株式會社
戶田組新京出張所
戶田利兵衛
新京永樂町二ノ一四
電話長三一三七八七番 三一二六七〇番

衣服道具商
酒井商店
新京銀座通市場南角
電話（3）二四六四番

新京旅館組合

昭和十二年 今年貴方の運勢

「一年の計」は元旦に定めませう

三省學人

一白水星の人

石橋を叩いて渡るといふ諺があるが、今年の貴君は、この諺を座右銘の一つに加へる必要がある。あの人なら間違ひはない。大丈夫だと信じ切つた人にも、最後のどたん場で裏切られることもあり、この方法なら必ず成功すると思し込んでやつたことでも失敗することがある。特に今年は甘言色の誘惑の多い年であるから、慎重な上にも慎重な態度を執ることが必要である。――各月に就て見ると、一、二月は平凡、三、四、五月は盛運、六月は凶ですが、七八、九、十と引續き吉月がつゞきますが、十一、十二、と、終りに近付くに從つて、諸運のきらびがありますが、緊張をゆるめてはなりません。

二黑土星の人

物質的には幸運の年である。タイム、イズ、マネー時は金なりといふのは、儲けものをいましめた金言だが、貴方の今年はその格言の字義通り、時計の針が動くごとに金がはいるといふ状態であるから、面白くてたまらぬであらう。だが、一般に物質的に惠まれる時は、精神的に貧しい時であるから、金を儲けることに夢中になつて、感情を失ふといふやうな事のないやうに注意すべきである。各月について見ると、一月、まづ好調のスタートを切り、二、三、四、五と、盛運月がつゞく。六、七は變化月、八月は沈滞の月だが、九月に至つて再び開き、十、十一、十二と變化月が訪れる。

三碧木星の人

諸君は、兎と龜の寓話を思ひ出して下さい。兎と龜とは、向ふの小山の麓まで競爭したが、兎が龜をあなどつて晝寝をしてゐる間に龜は倦まず撓まず、一心不亂に驅けつゞけて、勝利の榮冠を贏ち得た。――貴方の今年は、一言でいへば、この龜の如き運勢である。運勢は少しも、發展せず、非常に歯がゆく思はれるが、たゆまず目的に向つて努力するならば、結果に於て、思ひも寄らぬ好運をつかみ得るのである。各月について見れば、一、二、三と沈運の月なれど、四、五、六と開く七、八、九、十は表面平靜の月ながら、十一月に入つて大いに躍き十二月には、或ひは、多年の宿望を遂げる喜びを見る事が出來るであらう。

四綠木星の人

負けるは勝つといふことはざがあるが、この諺は、正義に立脚して行動しさへすれば、たとへ腕力や權力や智力で敗れたにしても結果に於て、必ず彼が勝つのだから、常に正義に立つて行動せよといふことを訓へたものである。あなたの周圍には敵が少くないが、あなたが正義の行動をとりさへすれば必ずそれらの人々はあなたの許へ和を乞ひに來るであらう。だが反對に不正不義の行動をとるのは自らの墓穴を掘るのと同じである。各月についていへば、一、二は沈運の月三月に入つて開き、四五、六と變化月、七月は沈運の月乍ら、八、九とよく、十、十一、十二は平凡月である。

五黄土星の人

苦あれば樂あり、樂あれば苦あり。――貴方の今年は、樣々な苦勞があるが、それを切り拔ければまもなく安樂の床が貴方を待つてゐる。忍耐は成功の母といふことはざがあるが、明日に安樂を期待して、今日の苦難を耐へ忍んで行くならば、必ず、かゞやかしい幸運をつかむことが出來るのである。總ての苦難は運命の試錬であると考へて、所期の大目的に邁進せよ。各月についていへば、一、二、三四、五と沈運の月が續くが、六月に入り、五月雨空の霽れ上る喜びを見ることが出來よう。七、八、九と變化月。十、十一、十二月と、次第に開運好調の兆がある。

六白金星の人

去る者は追はず、來るものは拒まずといふ、諺があるが、この諺は今年の貴方には特に必要な金言である。自分を嫌つて去る者に何時までも戀々としてゐたのでは、終には失戀自殺などといふことをしなければならない。貴方は親しい人や所や仕事と別れなければならないかも知れぬが、思ひ切りよくあきらめるがよい。一方に失つて一方に得る事のある年である。訪れる幸運を逃さぬやうにするがよい。各月について見れば、一、二、三は飛躍月、四、五、六七は變化月、表面悲觀の月のやうに思はれるが、悲しみあれば喜びあり、やがて幸運の訪れる前兆であるから落膽せぬがよい。八、九十と次第によく十一、十二は幸運の高潮時である。

七赤金星の人

年が明けるとゝもに順風滿帆の經綸にのぼるといふのが、貴方の今年のかゞやかしい出發である。そのまゝ、目的の方向にかじを失はずに進めば、必ず、良結果を見る事が出來るのであるが、途中でふと、あすこへ寄つて行つて見ようとか、こつちへ行けばよい事がありはしないかといふやうな迷ひを起し、方向を轉じたりすると飛んでもない結果を見ることがある。邪念をはらひ、ひたすら所期の目的に邁進するがよい。各月についていへば、一、二、三と盛運の月、四月に高潮に達するが、五月より下り坂となり、六、七と沈運の月が續く。八月に至つてやゝ開き、九、十、十一は變化月、十二月にはいつて幸運の最高潮に上らん。

八白土星の人

求めよ、然らば與へられん。――といふ結構な年まはりである。今年の希望が實現せられる年である。物質が、愛情が、名譽が。――およそ、求めるもので與へられぬものはないと見えるが、慾張婆さんの教訓寓話にもあるやうに、求めるものは何でも與へられるからと、あれもこれもと慾張つては、一物も得ずに終る惧れがある。二兎を追ふものは一兎を得ず。――と知るべきである。各月についていへば、一、二と盛運の月にして三、四、五と變化月がつゞく。六七、八は沈運の月であるが、失望せず努力が肝要である。九、十、十一と幸運月乍ら、十二月は沈運の月であるから、戒心を要する。

九紫火星の人

連戰連勝向ふところ敵なく、且ふところ懼らざるなき盛運の年である。昨日の敵も、今日はわが味方として、家來として自分に仕へる。といふ幸運を見得る年である。が、勝つてかぶとの緒をしめよ、といふ諺がある。勝利に心驕つて、足踏み外すときは千仭の谷底へ落下する憂目を見ぬとも限らぬ。用心は節と心得て第二第三の飛躍を心がけるべきであらう。各月について見れば、一月は忍耐を要する月であるが、二、三、四と圖いられるであらう。五、六、七は變化月、八、九は飛躍。十月にはいつて多少の波瀾あらんも、十一、十二と幸運がつゞく月である。

新京居留民會 會長 田中善平

新京朝鮮人民會 會長 李鐘元

豐山洋行 前田伊織

新京自動車營業所主任 中尾義則

福井高梨組 福井猪和太 朝日通七七 電話長三―二六八二番

前判事 辯護士 引地寅治郎 新京朝日通五十九番地 電話(3)五九五〇番

新京木材工作公司 藤岡織太郎

藥草熱氣指壓石田療養所 石田茂一 新京千鳥町一丁目十一 電話三―二一八五番

新京警察署長 猪苗代直躬

新京商工會議所 會頭 石崎廣治郎 副會頭 四戸友太郎 同 寺内清次 理事 尾藤正義

南滿洲瓦斯株式會社 新京支店長 太田義一

地方委員 協和委員 荒木仲之 盛倉商店主 新京三笠町三丁目

辯護士 辨理士 小西曾一 新京朝日通八十三番地 電話三―三八八三番

佐野商會 佐野日出男 新京朝日通七五 電話(3)四三九三番 四三九四番

新京取引所信託株式會社 專務取締役 山下善代

泰東洋行新京出張所 田中知平 新京朝日通三九 電話長(3)五五二一番

新京中央郵便局長 木下初男

新京地方委員 議長 大原万千百

滿洲パルプ工業股份有限公司 常務取締役 木下莊

新京交通股份有限公司 專務取締役 橋口勇九郎

安田近之助 新京梅ヶ枝町三丁目二六 電話長(3)四九八五番

新京各學校長一同

滿洲電氣土木合資會社 新京支店 籠谷保 新京朝日通り二十七番地

岡組新京支店 新京朝日通り七十九番地 電話長三―二七八八番

新京自動車組合

あじあタクシー 朝日通領事館警察署前 電話(3)二五二五・二五二四番

印刷機械 附屬材料 牧瀬商店新京支店 新京羽衣町一ノ一七 電話三―六一二七番

特別市北安路六二二號地 萩原齒科醫院 萩原忠夫 電話(2)二一三七

大上洋行
日本橋茶房

新京競賣所
祝町三丁目一一　電話(3)三五九七番

仲屋玉突臺製作所
朝日通(朝日座隣)　電話(2)三三四四番

服の店 **十文字屋**
東二條通　電話(3)二七三〇番

有名化粧品 石鹸雜貨卸商 **太信號**
新京日本橋通り四五　電話(3)三五四五番

亞細亞會館
東二條通一一　電話(3)五七一五番

風月庵
永樂町二丁目　電話(3)三二七〇番

木村桐タンス店
祝町二丁目一四　電話(3)四三三四番

北澤製販所
曙町四丁目九　電話(3)四一二四番

新京綿糸布商組合

新京食料品商組合
和近洋行　富田屋　富士洋行　德本商店　調辨所　滿泰洋行　さかもと商店　二藤洋行　裕泰號　鳴門屋　ひさご屋　柳田商店　丸平洋行　丸德商店　藤村商店　森川商店　松茂洋行　日鮮精米所　淺野支店　丸三洋行　飯村商店　梶原洋行　福田支店　日華洋行　增田洋行　杉尾商店　なべた商店　沼津園　濱崎商店　松美屋　興榮號　福田商店　山本商店　炭安商店　榊原商店　今田商店　三心洋行　櫻屋商店　松永洋行　西村洋行　三浦洋行　紫田商會　塚本洋行　京榮洋行　丸昌洋行　ナダヤ洋行　三浦正商店　百丸洋行　大松號　森六商店　富貴洋行　新京飲料合資會社　滿洲商事株式會社　田村商店新京支店　滿洲醬油合資會社

大一カバン店
祝町二丁目四　電話(3)五〇九六番

さかもと商店
中央通一七　電話(3)二九四一番

建築材料 **天野商店**
老松町二ノ三　電話長三—六二二一番

榊谷組支店
新京中央通り四一　電話長三—三二〇七番

滿洲果樹組合 **新京支部**
新京永樂町一丁目

株式會社 **福田商店**
富士町四丁目

村岡呉服店
新京吉野町二丁目　電話三—二二二四番

高級履物 **深町履物店**
新京吉野町二丁目　電話三—二九八一番

額一號
中央通り　電話三—四五三九番

善生堂醫院
吉野町三丁目十二番地　電話三—三一七・三—六五三〇番

朝日百貨店 **栃尾幾太郎**
東二條通一二　電話(3)二三四二番

新京金融組合

蓄音器、レコード **日信洋行**
東一條通り　電話三—二一六三番

和洋雜貨 **廣春洋行**
新京吉野町二丁目　電話三—三〇五二番

雙發洋行印刷部
新京日本橋通七四　電話(3)二八三四・三八二三番

大新京料理店組合員

泰東	三—二四七四	富士町二
備前家	三—三八二八	富士町
蔘之家	三—二五〇七	富士町
一力	三—三三一九	日本橋通り
新三浦	三—三一九八	日本橋通
豐翠	三—三四一一	富士町二
すみれ	三—三七一〇	三笠町二
第二一力	三—三〇二八	三笠町
千鳥	三—二〇三八・二七八四	富士町二
玉家	三—六四八七	富士町
曙	三—二一五四・三一八四	三笠町二
一すじ	三—六四六五	三笠町
壽	三—三九九七	日本橋通り
青葉	三—二九四二	三笠町二
三浦屋	三—二七一三	三笠町
錦	三—二九一六	吉野町二
和歌の家	三—三〇九五	東一條通り
東明	三—二一三七	吉野町二
南海	三—二四七五	吉野町
八千代館	三—二〇四六・三—三九一一・三—七四二	吉野町
開花	三—二〇三・三—一三六	日本橋通
曾我廼家	三—二五八八	三笠町三
時雨	三—二一八〇	日本橋通
鯉川	三—三八五〇	日本橋通
千草	三—二六七七	日本橋通
新杵	三—三〇七一	吉野町三
永樂	三—五七三・二一七九	吉野町三
彌生	三—五五三八	吉野町三
大辰	三—二九八八	三笠町四
梅月	三—二七八四	三笠町三
ときわ	三—四九三四	富士町三
住吉	三—三一四一	富士町
勝樂	三—二九六三	三笠町三
大吉	三—三一五九	富士町三
水月	三—三〇八〇	三笠町三
靜香	三—六五九三	三笠町三
いく代	三—三七七二	日本橋通
金剛館		三笠町三
大和館	三—五四二一	日本橋通
松月樓	三—三三二一	三笠町三
上海館	三—二六五五	三笠町
思君館	三—二四二三	三笠町
日之出	三—二〇六五	三笠町
曉星館		三笠町
銀水	三—五二二四	三笠町
新京館	三—三八四八	三笠町
朝日館	三—二三〇四	三笠町
東海樓		三笠町
東洋館		富士町三丁目
萬仙閣		三笠町
初音館		三笠町
樂園		三笠町
有明	三—二四四九	三笠町三
春の家	三—三二五九	富士町三
朝鮮館		富士町
明月	三—四八四三	三笠町三

梅屋旅館
新京驛前　電話(3)二一一九・三〇四八番

中央ホテル
松原マル　新京中央通　電話長三—四二一一・三—六三四〇

カフェー **プランタン**
グイヤ街　電話(3)四三二八番

カフェー **オリムピック**
朝日通(朝日座隣)　電話(2)三三四四番

喫茶 **ドリアン**
東一條通九　電話(3)六九三八番

新京城內 **料理店組合**

新京三業組合
新京檢番
扇芳亭　一つ家　三樂園　すみれ　桃園　桐壺　天昇　竹の家

謹賀新年

恒例の正月のお寫眞は
今年も亦是非弊店で

林田寫眞館

中央通一七(警察署向)　電(3)話二二一二番

出寫の御用は
お電話次第
早速參上致します

新京日日新聞(其の一)

康德四年度の滿洲國展望
庶政積極化への華々しい首途
注目さる、建國第二次工作

王道滿洲國の建國はかつて東亞の火藥庫と唱へられた滿洲の地をもつて東洋平和永遠の礎石となし、封建的軍閥の苛斂誅求に虐げられてゐた三千萬民衆を樂土に蘇生せしめたのみならず、民族協和、機會均等、門戸開放の新政治形態によつて世界政治史に一新生面を拓いたのであつた

×

そして滿洲國建國後僅々五ヶ年にして驚異的躍進をとげたのであるが、しかし過去五ヶ年の經營はこれを一言にして盡せば、新國家建設の原始的目的ともいふべき國防治安の確立および近代國家的法制化等の第一次的工作遂行のための努力であつたとみられ、かつその目的はすでに一應達成せられ、これに伴つて滿洲國の對外信用も著しく增大したといひ得られる、從つてすでに前年來唱導せられてゐたところの經濟建設、民力涵養といふが如き厚生的目的の第二次的工作が巨大なる第二次產業五ヶ年計畫として建國第六年の滿洲國に出現したことはもつとも自然である

この意味において今年度の滿洲國の內政方面の中心問題はなんといつても今年を第一年次とする第二次產業五ヶ年計畫の上におかれるとみるべきであらう

×

しかして第二次產業五ヶ年計畫の大綱はすでに昨年末、示された如く、現下世界の緊迫せる政情に鑑みて國防產業に重點をおくものではあるが、その實施計畫は鑛工業、農畜產、交通の三大部門よりなり滿鐵、特殊會社、民間會社および滿洲國の全資本的機能を動員して總額十五億圓乃至廿億圓の資金を捻出し、これをもつて日鮮滿一如の見地より急速に滿洲國の產業を開發せんとするのであるから、これを滿洲國の財政よりみれば一般行政費は可及的に緊縮して生產的豫算に振向けられ、自然內政の重點はこの一大經濟建設の上におかれることゝなるであらう、そしてこれの實施は國防の充實とゝもに民力の涵養に資するところまた甚大なるべく、こゝにこの新たなる經濟建設プランは建國の第二次的工作として重大なる意義を附して迎へられてゐるのである

×

次に滿洲國獨立完成のための治外法權撤廢も日滿兩當局の努力によつて今年度はいはゆる漸進的撤廢の第二次段階に入り、いよいよ鐵道附屬地行政權の移讓ならびに警察司法々規適用を實施するに至るので、こゝに滿洲國は日本を除く東洋諸邦中第一に治外法權なる獨立國の重大なる瑕疵をほとんど取り去ることとなるであらう

×

對外關係においては日滿不可分の關係は益々强化への不斷の努力がはらはれ、諸外國の滿洲國承認への步度の加速をみるべく期待せられるのであるが、對ソ、對獨、對支關係にはいまだ一抹の暗雲を認めざるを得ない、しかし滿洲國としては既定の對外親交、世界平和への貢獻を目的とする平和政策をもつて進むべく、たゞこれに對しては國防の一層の充實が期待せられるのみである

×

これを要するに康德四年度の滿洲國內政上では經濟建設を主題とし對外的には世界諸邦との親善關係を增進すべく、建國の第二次的工作としての庶政充實積極化の華々しい躍進が期待せられるのである

滿洲國の經濟開發と金融業者の責務

滿洲中央銀行總裁　田中鐵三郎

康德四年の新春を迎ふるに際し、洋々たる滿洲國經濟の前途を展望すると共に、今後その發展計畫が進捗するに伴ひ各自の實務も一層重大となり、倍々緊張と努力とを要するものがあることを痛感する滿洲國の建設工作が僅か五ヶ年の間に、各方面とも實に驚くべき進步發達を遂げたことは、中外の齊しく驚嘆するところである

即ち治安の確立、施政の改善とゝもに財政の基礎はいよいよ鞏固になり、舊政權時代の紊亂せる通貨は整理統一せられ、新幣制の確立とゝもに金融界は安定し、交通機關は普及し、農業生產は增大し、商工業も亦日に殷賑を加へ、貿易は躍進を續くる等、滿洲における經濟の凡ての部門は全くその面目を一新するに至つた、かくて滿洲國が從來その力を傾注したところの治安の維持、基本行政の確立、經濟の基礎的工作等は既になつて、今後益々產業の開發、經濟の充實に向つて突進すべき時期に入りつゝあると思はれる、現在のところでは滿洲國は何といつても尙農業國であつて、生產の七割以上は農產物であるが、他にもまだ豐富なる各種の天然資源があり、低廉なる勞力もあるから、滿洲國としては一方においては國本培養の基礎たる農業に、更に多くの資本と

卓越せる技術等を注入してこれを合理化しもつて多角的農業組織に改善するとゝもに、他方においては漸次芽生へつゝある鑛工業をして益々興起發達せしめ、もつて今日の如き農業國より高度化せる近代的農工業國に躍進せしめ、國民大衆の經濟力を充實しその生活を安易ならしむると同時に、生產品の輸出を增進して、國際貸借の改善を圖ることが緊要である、すなはち滿洲國の基本的經濟施設はすでに達成されたのであるから、今後はこの基礎の上に更に高度化せる經濟建設に努力しなければならぬのである、これはその國民經濟を充實するために必要であることは勿論、日滿經濟ブロック强化の見地からするも、極めて重要なことであつて滿洲產業開發計畫、農業移民計畫、其の他各種の新計畫が相踵いで生れ出でんとしてゐるのはまことに喜ぶべきことである

惟ふに滿洲における產業資源を日滿兩國の完全なる理解と協力によつて開發することは兩國民の福祉を增進する所以であるが、この開發の事業を遂行するには相當の資金を調達せねばならぬ、この點においても今後益々日滿兩國官民の協力を必要とするものがある、政府當局は常に這般の事情に付いて深甚なる考慮を拂はれてゐることとであるが、一般財界もまた國家の施策に順應して、凡有る努力を致し產業の開發に協力すべき用意と準備とを忘れてはならぬのである、たゞ滿洲國は建國日尙淺く資本の蓄積が未だ少ないため、今後產業開發新計畫の實行に要する資金も、友邦日本の融資に俟つべきものが多いのである、日本の朝野においても滿洲國の包藏する豐富なる資源とその企業價値とを十分に認識して資金的援助を與へられるものと確信するが、滿洲の方からも亦その金融經濟事情を出來る丈け日本の朝野に紹介して、その理解を深め企業家も金融業者も氣易く對滿投資を行ひ得るやうにしたいのである

滿洲の金融業者が開發事業の實行について最も要する資金の供給について最善の努力を致さなければならぬことは勿論であるが、これが爲めには前途に尙幾多の考慮すべき事柄がある樣に思はれる、例へば資金調達の有力なる手段であるところの公債及び株式の消化力が增大され且これらの有價證券を擔保とする金融が圓滑に發達することが望ましいことであり、また產業開發を促進するためには、豐富なる天然資源と低廉なる勞力との外、低利なる資金の圓滑なる供給が伴はなければならぬ、尤も資金の供給に當つては通貨の過度なる膨脹はその信用を破壞し、却つて財界に惡影響を及ぼすことになるから、國民の經濟活動に必要なる資金の實需と通貨の供給量とを調節按排して通貨の健全性を確保し、金融界に急激なる

變化を來さざるやう妥當なる金利の低下とその普遍化とが愼重に考慮さるべきであらう、なほ一國の資金が休眠することなく生產のために運轉活用せらるゝことは經濟發展の要義である、ことに滿洲においては國民の貯蓄心を振作し、可及的多額の民間遊資を吸收してこれを產業開發の資金として活用さるべきである、しかして一面においては金融機關が更に一層整備擴充されねばなるまい、要するに今後一層金融機關の整備充實と金融方法の改善とを期するとゝもに、各當業者相協力して鋭意滿洲國財界の伸展に力め、國力の充實に寄與しなければならぬと信ずるのである

◇張國務總理の書初め

年頭の辭

滿鐵總裁　松岡洋右

昭和十二年の輝しき旭光を仰ぎつゝ聊か所感を述べて年頭の辭としたい

一九三五―六年は所謂非常時として我國民上下の痛心警戒する所であつたが、幸ひ擧國一致の努力により幾多の艱難を排して益々國運の隆盛を致したことは慶賀に堪へざる所である、我が滿洲についてこれを見れば昭和十一年は寧ろ極めて祝福された年であつたと言ひ得ると共に余一個の主觀においても亦寔に意義深き一年であつた、若冠にして緣由をもち爾來滿洲に深き因緣を結ぶの端を爲さしめた關東洲廳の施政三十周年を期せずして現地に迎へ得たること先づ其の一、ゼネバに重責を負ふて建國の公正を辯じた滿洲國が、事變五周年にして庶政全く整ひ治績大いに擧り、我が帝國との間に治外法權一部撤廢に關する劃時代的條約を締結するに至れること其の二更に我が滿鐵會社についてこれを見るに延長九千粁に亘る鐵道の經營をはじめとして社業は日に月に顯著なる躍進を示し內外の信用は益々重きを加へた、特に十月を期して劃期的の職制改正を斷行し一は以て社內外情勢の變革に備へ一は以て第二次の創造に處すべき新體形を整へ得たるは余の竊かに欣快とするところである

然れども一度思を將來に走らする時前途なほ幾多の難局が豫想せらるゝものであつて一九三五―六年の非常時は決して其の頂點を意味せず寧ろ其の序幕なりとせし余の豫見は不幸にして謬らなかつた

近く極東の情勢を見るに隣邦中華民國の國情は混沌として其の前途容易に豫斷し難く、蘇聯邦の動向大いに警戒を要するものがあり、歐米諸國の極東に對する關心もまた漸く高められつゝある、遠く歐洲の國際政局を見るも物心兩面の鬪爭は益々深刻を加へて風雲急なるものあり、國際聯盟は愈々その無力を暴露し危局は到底從來の政治機構を以てしては收拾し難く看取せらるゝのである

此の間に處して畏くも明治大帝以降不動の皇謨に基き我が大陸經營の基礎を固め東洋永遠の平和を確立し以て世界の平和に寄與せんとする我大和民族の宿命的聖業は、その前途なほ遼遠にしてこれが遂行に當り愈々多難なるべきことが豫想せらるゝのである、今や我等は斷じて困難の輕からんことを希ひ犠牲の少なからんことのみを望むべき秋ではない、如何なる難局をも打破し敢然として勇往邁進すべきであつてこれが爲には常に最惡の場合に處して動ぜざるの用意を必要とする

此の意味において滿洲國經濟開發の如きも建國以來五箇年の成果を基礎とし玆に一大躍進を期せねばならないが、これがためには先づ基礎的計畫を確立する必要があり同時に單に滿洲國自體の計畫に止まらず、我が帝國全般に亘り一大綜合計畫を樹立し擧國一致これが實施に當らねばならない、而もこれは一日も苟且逡巡を許さゞる喫緊事である、日滿支關係の現狀も甚だ遺憾の點が多く殊に中國人士が我が帝國の理想に透徹せる理解を缺き、東洋の平和を確保せんとする努力に充分なる協力を得られないことは誠に遺憾の極みであるが我等は決して目前の事象に拘泥して大局を謬つてはならぬ、只確乎不動の所信に向つて邁進するより外ないのである、曾て滿洲事變と滿洲帝國創建とを見るや世界列强は敢て國際的審判官の立場において日本を誣ふるに平和の攪亂者を以てしたが然るに建國以來我帝國の吝みなく拂つた犠牲と努力は既に着々としてその成果を收め過去三十年に亘る帝國の經綸を具現し事實を以て列强の迷盲を啓きつゝある、滿洲國三千萬民衆の幸福また昔日の比ではない、我等は中國人士も此の事實に活眼を開き我帝國の眞意を正解する日の速かならんことを衷心希望すると同時にまた必ず然かあるべきことを信じて疑はぬ

我が滿鐵も今年四月を以て創立三十周年を迎へるのであるが、現下の狀勢に鑑み其の使命は益々重且大なるを覺ゆる滿洲國產業開發の進展に則應して運輸事業の擴充を期すべきは素より、日滿兩國々策についても、箇々の產業經營に順應し全力を傾注してなほ足らざるを虞るゝ次第であつて一身奉公の誠を致さんことは啻に余一個の念願のみに非ずしてまた實に十二萬社員の等しく熱望するところである

迎年所懷

軍政部大臣陸軍上將　于芷山

張家二代の秕政民政を極度に疲弊せしめ百業凋落して萬民其の歸趨に迷はんとするの秋圖らざりき天意に依り大同元年三月一日王道政治の實踐民族協和を建國精神とするわが滿洲國の誕生を見んとは爾來僅に五年今や庶政伸張飛躍して其の面目を刷新し五族安居樂業の基礎漸く鞏し、翻つて通觀するに隣邦支那の絶えざる擾亂、ソ聯の內政不安、歐洲國際間の暗鬪日に激化を加ふるに當りわが滿洲國は獨りこれ等に超然として五族打つて一丸となり國家の隆盛に營々邁進しつゝあるは寔に慶賀に堪へざる次第なり、之偏に皇帝陛下御聖德の然らしむる處なりと雖も又友邦日本帝國の上下擧つての熱烈なる援助の賜ものに外ならず、世界の暗澹たる情勢は難て驅てわが國を其の渦中に投入せずと誰が豫斷し得んや、職を軍に奉じ屍を馬革に裹むを使命とする吾人は過去四年間の順調なる進展に慣れず友邦皇軍との提携を一層緊密にし東亞永遠の平和確保、東亞民族の康寧保持に邁進せざるべからず余は國軍の訓練整備、國防の强化と皇猷恢弘の一途に向つて日夜死力を傾注しつゝあるが、建國第五周年を迎ふるに當りさらに新たなる意氣と熱をもつてこの重大使命の達成に精進せんことを期す、聊か所懷を述べて迎春の詞となす

滿鐵副總裁鐵道總局長　大村卓一

「田家雪」と謂ふ本年の勅題によつて聯想されることは、平和な農村が豐年の歡びを滿喫して、民草齊しく鼓腹擊壤の愉悅に溢れて居るの狀であると、由來雪は豐年の瑞祥であるとゝもに、雪ぐと訓してその形狀の如く淸淨潔白を意味するのである

新春昭和十二年、康德四年は日滿軍警諸氏の獻身的努力により匪禍も目立つて減滅さるゝであらうし、在來の滿人農民は勿論北鮮、東邊道一帶の鮮農に加へて內地からの農業移民は愈々發展充實し、神代ながらの瑞穗國は、正しく大陸に延長示現され、この地に五族擧つて王道を讃へ樂土を壽ぐであらうことが、明示されてゐるやうに思はれるのである

然し王道の光既にあまねしとは謂へ、今や極東の政情は複雜微妙を極めつゝあり、從つていさゝかの安易弛緩の許されぬ點も思はねばならぬ、しかも國防に、經濟に、その基幹をなす鐵道の任務は頗る大である、不肖敢て老骨を顧みず、職をこれが運營の重責に享け、十數萬從業員と共々に奉公の至誠を致さんとするものにとつては、感懷一入切なるを禁じ得ぬ、冀くは全滿同胞の支援鞭撻の下に、相共に協力戮力、光輝ある新興國の國運の彌々榮えんことを祈念するものであり、勅題「田家雪」の藹々和平なる狀の悠久ならんことを只管希願するのである

關東州廳長官　御影池辰雄

關東州の行政については近く滿鐵附屬地行政權の移讓調整せらるゝと共に關東州の使命責務もいよいよ重加せらるゝにいたるものと考へます、關東州は帝國の對滿發展根據地として產業、經濟、文化等各般の施設が行はれ貿易の發展工業の勃興、教育の普及、公共施設の完備等によつて州內人口の激增を招來しつゝありますが、今後にありてはその眼界、視野を擴大し國策に順應する適切の施設經營が行はれるものと信じます

內外時局重大の際滿洲大陸の前線において帝國發展の姿を目前に凝視しその惠澤に浴しつゝ職務に當り得る者は大なる幸福であつて官民一致協力邦家の爲め一層の奮勵努力を要するものと考へます

年頭に當り內外の形勢を察し各自の任務をかへりみ渾身の勇氣を鼓舞して國家の隆運に貢獻致しますことは吾人の最も至幸とするところであります

謹賀庶政一新之春

皇紀二五九七年

滿洲國民政部
大臣　呂榮寰

蒙政部大臣
齊默特色木丕勒

警察總監　金榮桂
警察副總監　連修

國務院國都建設局
局長　鄭禹
技術處長兼總務處長　近藤安吉
水道科長　重住文男

滿洲國外交部

株式會社　滿洲弘報協會

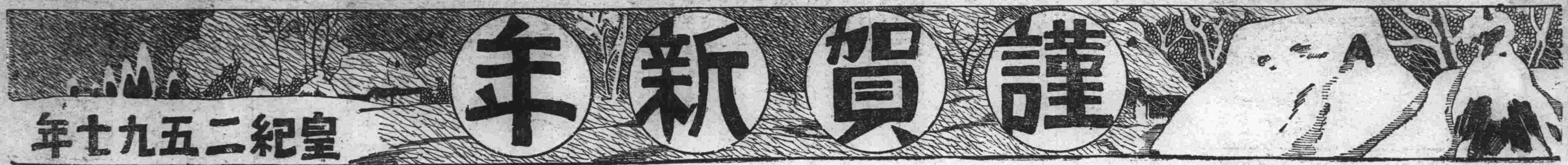
滿洲電業株式會社
新京支店

滿洲鑛業開發株式會社
新京特別市大同大街二〇七號

滿鮮拓植股份有限公司

古河電氣工業株式會社
新京出張所

富士電機製造株式會社
新京出張所



祝倶樂部 祝町二丁目九

和洋家具製作 飯富洋行 祝町二丁目十五 電話(3)六六三七番

筑紫お惣菜部 店主 御野惣兵衛 大經路（草津温泉前） 電話(2)一二六二番

割烹 天平支店 永樂町二丁目

康徳天平支店 大同大街康徳會館内

興安病院 吉田秀雄

井本運送店 永樂町三ノ三一 電話(3)三八四三番

商用圖案專門 鳳三堂 室町二丁目二五 電話(3)四三二三・六八〇七番

新京建材社 新京東二條通三八 電話長三一二八八九番 三一三五八二番

新京洗染業組合

鑛山測量、鑛山調査、鑛石分析 鑛石鑑定、一般測量及製圖 滿洲鑛業社 新京八島通四四 電話三一六四四七番

新京市新發路十一號 菅沼タイプライター 滿洲直賣所 電話長(2)四四五二番

滿鐵新京醫院

寶石、貴金屬、時計 岩間商會寶石部 新京中央通り 電話(3)三〇四七番

新京車馬組合

電柱看板燈一手取扱 脇坂源太郎 新京曙町四丁目一番地 電話三一六八六一番

帳簿並に印刷 三省堂製本所 新京三笠町三丁目九番地 電話(三)三三三四番

日東製粉股份有限公司 新京住吉町三丁目二番地 電話三一二六一番 三一五三〇番 三一六七五五番

肥後醫院 内科小兒科 産婦人科外科 院長 醫學士 肥後弘子 松井艶子 新京老松町十六番地 電話三一五七〇九番 三一二三二九番

株式會社 大信洋行新京支店

新京朝日通り八一ノ二 株式會社 滿洲飛島組 電話(3)四七五四番 (3)二一一八番

北原紙店

新京菓子商親和會 江戸屋 日新堂 岡女庵 吉野屋 朝日堂 峰長春堂

旭ホテル 旭食堂 新京驛前 電話長三一二七四六番 三一二七七八番

新京齒科醫師會

合資會社 阿川組 日本橋通り一六 電話長三一二〇三六番 三一三三〇五番

首都乘用馬車人力車營業組合 新京特別市大經路大通り一七 電話二一一九三九番

東亞煙草株式會社 新京出張所

公債株式 現物本位 大一證券 興安大路四一四 電話(2)三一六五番

新京日滿理髪業組合

暖房、衛生、水道、設計施行 今井商會新京支店 久保田基 新京豐樂路七〇五號 電話(二)三四四二番

新京カフエー組合

（順序不同）

滿洲	三・四八八二
初音	三・五六一三
キング	三・四〇八九
プランタン	三・四三二八
アリス	三・二四九三
松竹	三・五七三五
ポプラ	三・二九七二
赤玉	三・四八五〇
美人座	三・二二九三
亞細亞會館	三・五七一五
マスコット	三・二八六九
箱根	三・三二二二
銀座	三・六一〇六
カルメン	三・四六〇五
トリオ	三・五二三一
モダン銀座	三・五七三三
バーダイヤ	三・六一四八
シルバー	三・五八二六
富士	三・三四五六
サクラ	三・五五四八
凱旋	三・三八九四
ミフキ	三・二〇〇一
パラダイス	三・五六一五
ミス新京	三・三七三三
238	三・五一五一
ノラ	三・六七七三
カジ・ノ・ド巴里	三・六一五六
バッカス	三・三五八四
白馬	三・五四二六
寶塚	三・六二二九
モナミ	三・二九三〇 三・三九三一
ハト	三・三八四六
ドン	三・三二一二
銀麗	三・五三九〇
ミス東洋	三・五八二〇
精養軒	三・二三〇五 三・六八四六
ロートル	三・二〇七二
春	三・二六九四
マルセーユ	三・五九二九
ゴンドラ	三・三四七四
紅	三・二五五四
コンパル	三・六三三二
モカ	三・五八三五
世界	三・六九三六
銀パレス	三・三五六〇 三・六九三〇 三・六九二〇
銀座の港	三・四〇四三
處女林	三・五五七二
ライオン	三・二三七九

株式會社 大林組新京出張所

新京屠宰股份有限公司

滿洲國官吏消費組合

新京通關運輸業組合 新京日之出町二丁目四番地 代表 電話三一五四三五番 保税構内電話三一五四四五番

煉瓦製造販賣 安東窯業株式會社 新京事務所 新京富士町二丁目八番地 電話 事務所三一四七二九 工場三一五五九七 自動車部三一六三三二

川井電氣株式會社 新京出張所 主任 杉田久吉

平嶺齒科醫院 中央通（新京神社前） 電話(3)三三四二番

明治生命新京事務所 永吉淳 中央通二六番地 電話(3)二六五二番

大信組 赤羽町一ノ二 祝町三ノ九 電話三一二三三四番

鵜殿兄弟商會 店主 鵜殿長壽惠 新京室町二丁目 電話三一二四八二番

滿洲特産輸出商 寺中商店 新京富士町四ノ二六 電話長三一三〇七九番

大島洋行 新京中央通二七 電話長三一三二一〇番 三一六三四一番

木製家具裝飾金庫鋼製家具機械工具金物商 生田孝一商店 新京朝日通り八十三番地 電話(3)四二三一番

滿泰洋行

泰信無盡株式會社 專務取締役 辻馨

新京犬猫病院 新京東三條通四四 電話(3)五四一二番 獸醫 田島義次

米穀貿易 雜穀精米 合資會社 唯一公司

大阪屋號書店 新京中央通 電話(3)二三二一番

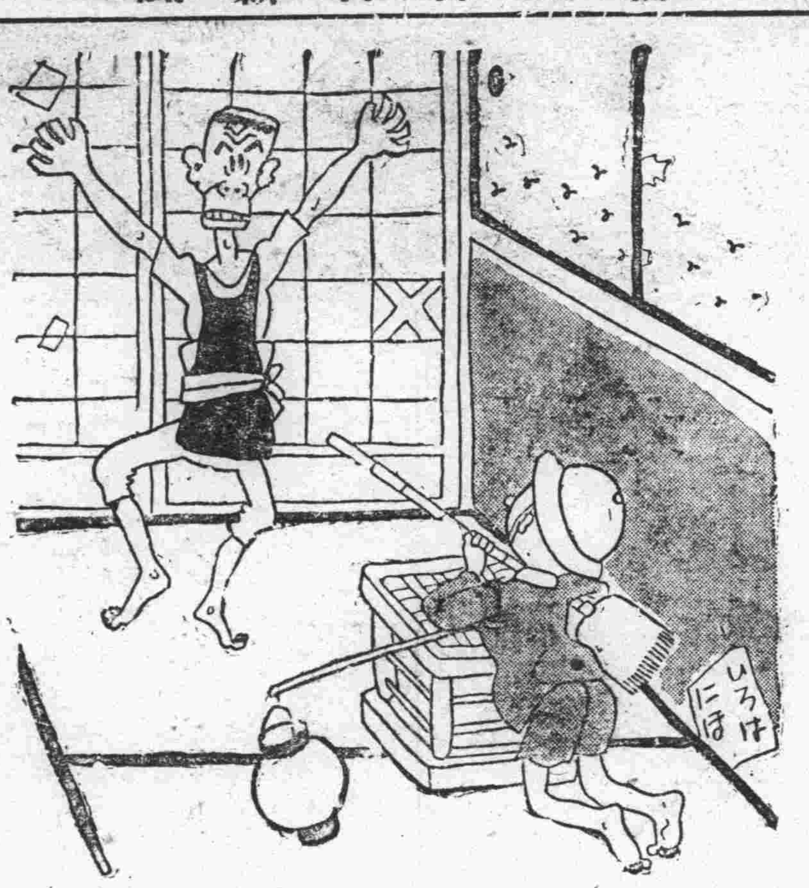
洋品雜貨卸 岡田洋行 營業所 新京東二條通四一 電話長三一五五八五番 振替 新京七一五番 輸出部 大阪北區天神橋 電話 堀川一三三五番

新京 頭道溝商務會

株式會社 アサヒ商會新京支店 新京朝日通六十五番地 電話(3)三三六九番 振替 新京一九〇番

新作落語 非常時問答

春風亭のんき
山吹一夫畫



ヘイ、明けましてお芽出度うございます。何かお耳新しいお笑ひをとのお求めなので、なけなしの脳味噌を搾つて一席喋らせて頂きます。例に依つて落語の主人公は八さんと熊さんに相場が決つて居ります。清正だの又右衛門だの服装なんぞでは、どうも話が硬くなつて一向ユーモアの味が出せませんな。

「やあ、これは清正か、久し振りだな、どうだ一杯つきあはねえか」

「ブツー　身共を捉へて呼び棄てとは無禮千萬、そ、そこ動くな、これなる朝鮮虎狩りの片鎌の槍にて一突きにしてくれん、イザイザ覺悟しろー」

と來ては打ちこはしです。そこでやはり吾々とお馴染みの熊さんに出てもらふことといたしやせう。熊さんよ。悪く思ふな、今に我々同業者で「熊公神社」を建ててやるから。ナニ、そんな金があつたら生きてる中に一杯吞ませろーつて。いや、參つた〳〵。それだから熊さんは話せるツて言ふんだ。

ぢやあ、いよ〳〵熊さんの登場ー（チャチャチャシカチャンチャンチャン……）

「ヤイ、松坊、正月早々何を騒いでやがるんだ、そんな閑があつたら表でもウロ付き廻つて暮口でも拾つて來い！」

「父ッ、今年は非常時なんだよ、だから俺ア兵隊ゴッコしんだよ」

「何、大掃除だつてー　正月早々大掃除なんかやる奴があるもんか、篩なんか擔いで止せ止せ」

「チャン、これや篩ぢやないよ、鐵條網鋏だよ」

「氣イ青かん坊だつてー　自分で氣イ青かん坊なんて、此奴親を舐めてやがる」

「氣イ青かん坊ぢやない、鐵條網鋏だよ、パチ〳〵とやつて敵の鐵條網を鋏ぎ離してしまふのだよ」

「フン、分つた、だから大掃除に使ふのだな、オイ〳〵、炸彈なんか引張り廻しちや危ないぢやねえか」

「チャン、こりやあタンクだよ」

「變な事を言ふ奴だな、中に這入つてゐるのはタドンだよ」

「チャンはタンクを知らねえのかなア、戰車といふ新兵器なんだぜ」

「戰車位知つてらあな、戰爭に出ても悠々として平氣で歩くからだらう」

「いやだなア、チャンのはみんなこぢつけばかりなんだもん。ぢやチャン、こんなんだか知つてるかい」

「オイ〳〵、こら〳〵、そんな提灯なんか持出す奴があるか、それをこはしちまつちやア今度提灯行列のあるときに出られねえぢやないか」

「チャン、之も新兵器なんだぜ。サーチライトつてんだ」

「當然さ、それ位知つてらあ、さつちらつと照らすからだらう、松坊、これでもチャンは英語位知つてるんだから馬鹿にしちやアいけねえよ」

「さうかい、チャンはほんとうに英語を知つてるかい、ぢや聞くがチャン、ダイナマイトつて何だか知つてるかい？」

「知つてるとも、ダイナマイトと言ふのはな、ダイとダイと……」

「そうら、分らないくせにー」

「バカ、分らなくつてどうする、ダイナマイトは、ダイだから大きなものだな、そしてナマイ、テマイ、ウン、鉛で出來てゐて、マイトだから、そこら中へ撒いておくもんだらう、どうだ偉いもんだらう」

「違ふよ、チャン、ダイナマイトは火藥だよ」

「だからさ、鉛の筒の中に火藥がつめてあつて、そこら中に撒いておくとドカンと破裂するんぢやないか」

「チェツ、チャンはインチキだな、ぢや今度は……ソヴエート聯邦つて何だか知つてるかい？」

「何だつて？　滑べると蓮根だつて？」

「滑べると蓮根だつてー　可笑しいな、ソヴエート聯邦、即ちソ聯と言ふんだよ」

「のれんだの蓮根だのと煩さい奴だなア、後でゆつくり考へといてやるから、彼方へ行つてろ」

「チャン、分らないんだね、ぢや教へてやらうか」

「教へてやらうとは親に向つて生意氣なことを吐しやあがる」

熊さんは遂々眞赤になつて怒り出しました。

「チャン、赤い熊だよ、〳〵」

「何、俺のことを赤い熊だと吐しやがつたな、此奴めー」

「チャンのこつちやないよ、赤い熊つてロシヤのことだよ」

「ハハア、違えねえ、赤い熊の毛皮ならモシャ〳〵してるらア」

非常時寛爾の初春に際しまして軍事智識の普及に因んだお笑ひの一席でございます。どうも御退屈さま。

落語コント 四ツ脚料理

西洋かぶれの男がゐました、明けても暮れても洋食々々で細君を困らせることおびただしい。

細君「あなたのやうに洋食ばつかり召しあがつてゐますと、いまに牛や豚のやうに四ツ脚で歩くやうになりますわよ、日本は今非常時よ、たまには菜食をなさい！」

夫「ナアニ、四ツ脚結構、僕は四ツ脚なら何でも食べて見せるよ」

細君「さう、ちやこれを食べて」

と細君が炬燵の櫓を差出すと、

夫「いやあたるものは食べられない」（へい、ど退屈さま。）

◇廢物利用

A孃「このお屠蘇のウツワずい分インチキね。三三九度のカワラケのお土瓶に高島田の髪飾りぢやない……」

B孃「まあおどろいた、お屠蘇かと思つたら番茶の出しがらよ」

新婦「床の間の元旦試筆を見てからものを言つて頂戴」

元旦試筆に曰く「新婚早々調度不足につき廢物利用」

◇手まはしがいゝ

粗忽者が年始に行き、年始と云ふのをつい取りちがへて「歳暮の御祝儀を申し上げます」

亭主「いやこれは〳〵どうも余りはやばやと……」

◇節約

父「新年早々近所に火事があつたから、年賀状と近火見舞の禮状と二枚づつ出さねばなるまいな」

子「近火新年と書いて出せば一枚ですむよ」

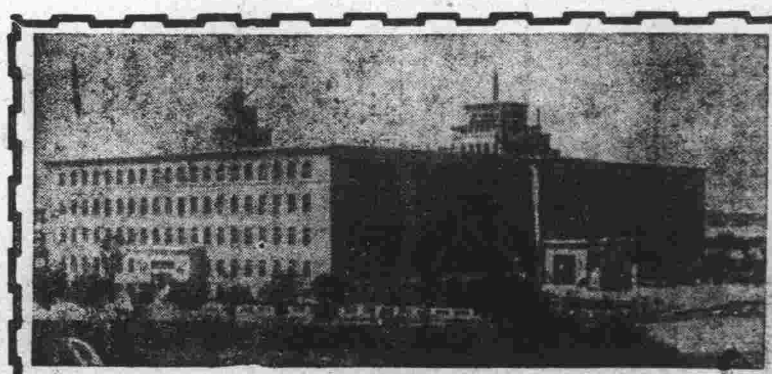
三中井
大同大街

國際運輸株式會社新京支店
支店長　宮原芳茂
支店長代理　吉村格也
支店長代理　長澤龜代治

錦ビル
經營主　山口正太
五味川豐太郎
尊田孝次
大原止

大同報社
主幹　大石智郎
編輯局長　湯畑正一
營業局長　虫明猛
盛京時報新京支社長　湯畑正一

新京吉野町三丁目六（弓岡ビル三階十四號）
山田禮水



滿洲電信電話株式會社
新京大同大街六〇一號地

事業內容
有線電信、電話
無線電信、電話
放送
ラヂオ受信機の販賣

大連管理局、奉天管理局
新京管理局、哈爾濱管理局
齊々哈爾管理局、承德地方局
東京出張所

滿洲電業株式會社
社長　吉田豐彦
副社長　入江正太郎
同　孫澂

營業科目
一、電燈電力の供給竝之に附帶する業務の經營
二、當會社と同種事業に對する投資

需要狀況
供給電燈數　一、八六五、〇〇〇燈
供給電力契約容量　一八五、〇〇〇KW
資本金　金九千萬圓（全額拂込濟）

本店　新京大同大街三〇一
支店　大連支店、奉天支店、新京支店、哈爾濱支店、安東支店、營口支店、錦縣支店、鞍山支店、吉林支店、齊々哈爾支店
關係會社　新義州電氣株式會社、遼陽電燈公司、開原電氣株式會社、外二〇社

滿洲採金株式會社

新京圖書館

新京朝日通總領事館前
滿洲特許法律事務所
電長(3)五〇四八番
所主 辯護士 辨理士 有川藤吉
辯護士 辨理士 法學士 桑野四郎
辨理士 コンサルチング エンジニア 高梨福雄

新京中央通
輸入百貨店
輸入グリル
蓬萊ホテル
電話代表(3)四一一六番

經營所
大興ビル食堂
滿洲國財政部食堂
新京記念公會堂食堂
落合幸之助

大辰
三笠町四丁目十四番地
電話三一二九八八番

豐樂劇場
長春座
帝都キネマ
朝日座
銀座キネマ
新京キネマ

社團法人 **新京材木商組合員**
高砂製材所　合資會社高橋材木店　岳間商會　沼田商會　德喜林業公司　秋田商會木材株式會社　新京支店　藤井材木店　重國材木店　合資會社新京製材所　國際運輸株式會社　新京支店　株式會社大二商會　新京支店　佐藤木廠　共信公司　面高製材所
大山木廠　株式會社吉川商會　新京支居　西田材木店　岡本材木店　華村木廠　大嶋洋行　旭木材株式會社　新京出張所　中宮商店　無限製材株式會社　新京出張所　元盛號　住吉製材所　原田材木店　小松製材所　小西組木材部

滿洲國法令輯覽並ニ出版
各部法令法規圖書
新京興安大路一一一六號
股份有限公司
滿洲行政學會
董事長 **大谷仁兵衛**

豆タク
國產タクシー
新京特別市永春路一區三經九〇號
電(2)二六〇二番

日滿商事株式會社
新京大同街二〇二號

大興股份有限公司
總公司 新京特別市大同大街二〇二號
分公司 奉天、新京、吉林、哈爾濱
營業店 國內重要地點一百八十八箇處

新京市立醫院
新京特別市自强街

大連製氷株式會社
新京出張所
新京吉野町六丁目三番地
電話長(3)二七八六番

滿洲醬油合資**會社**

仁和洋行
三笠町三丁目十七
電話(3)二〇四九番 二五八二番

白十字喫茶店
新京祝町三ノ二
電話(3)六二三八番

沖津醫院
院長 沖津亘
室町二丁目
電話(3)五六八九番

新京附屬地
質屋營業組合

新京舞踏場組合
キャピタル
新京會館
モンテカルロ
扇芳會館

金龍洋行
ダイヤ街梅ヶ枝町一丁目
電話(3)四八三五番

永島疊店
三笠町四丁目五
電話(3)三四六一番

株式會社 **吉川商會**
中央通り西公園前
電話(3)五六九五番

鹿鳴春和記
商埠大馬路

中原洋行
新京日本橋通七四
電話長(3)五四四一番

合名會社 **森洋行**
新京中央通

合資會社 **廣本洋行**
日本橋通七五
電話(3)二〇四三番

丸福果實店
吉野町二丁目十四
電話(3)六三二六番

タケヤ靴店
三笠町二丁目十一
電話(3)五二三六番

割烹
活洲
祝町二丁目(太子堂横)
電話(3)三一五六番

松茂洋行
東二條通三
電話(3)二〇四三番

營業課目
事務用文房具、度量衡製圖、測量器
手帳、洋帳簿製造高級
美術印刷一式、書
籍、煙草、印紙
株式會社 **文祥堂新京支店**
新京大同大街康德會館
電話二一六五番 三四九五番
本店 東京銀座三丁目

滿洲曹達株式會社
新京大同大街康德會館

新京日本總領事館前
都ホテル
電(3)長四八三七 六一六一

金泰洋行

新京日本橋通り
中谷時計店
電話(3)三八五四番 六七五九番

新都料理店組合

明けまして御目出度う

友子
富子　敏子　澄子　町子　ひさみ　信子　滿里子　るり子　小夜子　絹子　麗子　まき子　京子　美智子　綾子
外從業員一同

サロン ロートル
吉野町二丁目五　電話(3)二〇七二番

新年の御宴會は
是非どうぞ

新京日日新聞

大衆小說

壯士行

田中貢太郎

旗家千賀夫・畫

（其の三）

（一）

「御免よ！　今晩は！　今晩は！」

「………、」

「寢宿てるのかい？爺さん！婆さん！」

月が張りついたやうに表戸へ映つて、木曾の秋風が、カラカラと木の葉を脚元へ吹き寄せるばかりだ。

「え？怪しい者ぢやねえんだぜ上州生れ、魯智深の雄平つて眞ッ當な遊俠さ、この山ン中で日が暮れちまつてよ、一夜の宿をお願げえしてえんだえ？どうだい？泊めて呉れないかい？」

「………、」

「どうして返辭をしないんだい？爺さん！婆さん！それとも、もう寢てゐるのかい？寢るのはまだ早いぜ、年寄りのくせに今頃から寢たら夜中に眼が冴えて始末に困るぜ、え？爺さん！婆さん！」

「ちよッ！騒々しいね！お前さん！」

投げつけるやうな聲がしてギイッと半蔀があがつた、白い女の顏がのぞいた。

「え？人の寢入端をドンドンやるのも程があるぢやないか！それもさ、爺さん婆さんなんて人聞きの悪いことお言ひでないよ、憚り乍らね、この家はあたしひとりの女住居なんだからね、」

「さうか！　こいつは大失策だ、」

雄平は頭をかいた。

「なによ、この通り菊なんか造つてあるし、造りが小綺麗だしするからよ、てつきりこりやこの邊の物持百姓の隱居所だらう、それだつたら、それ幸ひとカチカチ山のお斷でも聞かして貰はうと思つたのさ、姐さんひとりの住居ぢや仕様がねえ、どこかほかの爺さん婆さんを當つて見らあ、――起して氣の毒だつたなアバヨ！」

スタスタと歩き出した。

「ちよツ、ちよつとお待ちよお前さん！」

「なんだよ？」

振り返つた雄平の顏を、ヂロヂロ見守つてゐたが、變な女だつた、急に、にこッと媚びるやうな笑ひを見せた。

「面白い人だね、どうだえ、いつそこゝへ泊つて行かないかえ？」

「こゝへ？」

「さうさ、あたしももうお婆さんといはれていゝ年だ、お好みなら、カチカチ山でも、桃太郎でも聞かしてあげるよ[illegible]聞いて行かないか？」

[illegible]

と、意外だつた。

燃えるやうな友禪の夜具模樣、枕屏風の繪もなまめかしく、女がこれまたこの山中では滅多にお目にかゝれない凝つた長襦袢姿で朱羅宇をひねつてゐたのである。

呆れて雄平は、女の顏を見直した。

「姐さん！一體お前は！」

「何者だ？　と仰有るんだらう」

先くゞりして、女はにッと笑つた。

「隱したつて仕様がないからね、ズバリと申し上げるよ、あたしはおメカさんさ」

「おメカさん？」

「名主どんのお妾さんさ、もう七年ばかりもこの山ン中で島流しみたいな目にあつてゐる可愛さうな女さ、氣がくさくさして仕様がないからね、

今夜は夜明しでお前さんと呑みッくらするよ、婆さん相手でお氣の毒だけれどよろしくたのむよ、哥兄さん」

まどはすやうな目で、ぢつと雄平を見た、雄平は氣が重くなつた。

「そいつはいけねえや！」

「どうしてさ」

「どうしてつてお前……、お前さんがそんなお仁なら、おいらみてえな者が夜よなか上り込んで、差しで酒盛りなんぞやつたら、世間に悪からうぢやないか、こいつは矢ッ張りよその爺さん婆さんを探した方がよさそうだ折角ながら御無禮するぜ、姐さん！」

ひよつこりと出て行かうとした雄平の首へ朱羅宇を捨てた女の手がねつとり卷きついた。

「ま！逃げるのかい！いゝえ逃がさないよ！逃がさないよ逃げられてたまるものか！逃げてごらんよ！」

「ね！誰もお前さんを口説かうとはいつてやしないよ、一杯呑んで呉れさへすりやいゝんだ、そんな野暮なこと言はないで呑んでお行きよ、ね！ね！いゝだらう、ね！哥兄さん」

（二）

まさか腕づくで飛出すわけにも行かない、雄平は仕方なく御輿を据えた、勝ち誇つたやうに、女の目が輝いた、

「うれしいね、一緒に呑んで呉れるんだね！それそれ！男はさう來なくつちやうそさ、さ地酒だよ、お口には合はないだらうが、我慢してお呉れよ、」

これも修業か、――雄平はむッつりと盃を重ねた。

女の目が醉ひでよどんで、淫らな光が湧いた。

「うれしいね！若い男と呑むのはたまらない氣持だよ、さもう一杯、ぐつとあけて、あたしにおくれよ、」

「…………」

「いやにむッつりしてるんだね、いくらお婆さん相手だつて、さう機嫌悪くばかりしてないで、惚氣の一つも聞かしたらどうだい？」

「聞かしたつて仕様がねえじやねえか、」

「おやおや、また肱鐵砲だね！これだからお婆さんにはなりたくないものさ、無理もないわね、お前のその男ぶりだ宿場宿場の若い女の子に騒がれ通しでおゐでだらうからね、こんなお婆さんは、鼻もひつかけて貰へないのが當り前かも知れないよ、」

「なにをつまらねえ、」

負けまい、負けまいと思ひながら、いつか雄平の氣も浮いてゐた。

「お婆さん、お婆さんて、そんな綺麗なお婆さんは天國にだつてありやしねえじやねえか」

「ヘン！お世辭はおいとくれ！腹ン中じや人を馬鹿にしてゐるくせにさ！それくらゐならなぜもつとやさしくしてくれないんだい、」

「やさしくしたつて、高根の花じやねえか」

「おや！うれしいことを仰有つたよ、この人は」

燃えるやうに目を輝かすと女は紅いものをチラチラさせながら、雄平の方へもたれかゝつた。

「いゝのかい！お前さん！そんなことを言つてさ！」

「…………、」

「あたしやね、身の內かぞくぞくして來たよ、うれしいよ！お前、そんなこと言つて、あたしをどうして呉れるつもりだい？」

ねつとりとした手が、首へからみついた。

「ね！どうして呉れるのさ！罪つくりだよ、ほんとにお前は！どうして呉れるんだよ！哥兄さん！」

むせるやうな女の匂ひだ、雄平は、霞の中へ包まれたやうな氣持になつた。

どのくらゐ經つたか――不意に表の戸がドンドン鳴つた。

（四）

「お豐！お豐！わしぞい！わしぞい！」

女は、むくりと上半身を起した。

雄平の目へ、ニヤッと笑つた。

「名主どんだよ、へんな時に迷ひ出たね、」

「…………！」

「仕様がない！ちよつと間窮窟させなきやならないよ、我慢して貰ふよ、」

不敵に靜まり返つた目で、部屋の中を見廻してゐたが、すうツと立つて行つたかと思ふと衣桁を、床の間の中ほどまでじらした。

身の廻りのものをかき集めて、雄平はその蔭へ飛び込んだ。

「お豐！わしぞい！わしぞい！早う開けぬか」

「はいはい、今頃どうしたんですのさ、旦那」

にッと雄平の方へ笑つておいて、女は作り聲をしながら出て行つた。

さるをあける音がした。

雄平は自慢の鐵火張り煙管を枕元へ忘れて來たのに氣がついた。

取りに行かうとしたが、

「醉ふた、醉ふた喰べ醉ふてさうらふぞ、北の方、」

老人の皺枯聲が、どたどたした足音と一緒に、もう次の間だつた。

雄平は衣桁の向ふへ呼吸をつめた。

「いやねえ！どこでそんなに醉ッ拂つたのさ―」

「どこもこゝもござらぬて！總名主の寄合ひで、やられたぞい、やられたぞい、わしが若い女子に可愛がられるのが怪しからんと申しての、わしのところへ盃の雨霰じや、うふゝゝ悪うない、悪うない、おぬしの顏を見れば、誰から燒かれても悪ろないわい、うふゝゝ」

「またそんなことを！じや一本だけつけて來ませうね、」

「要らんわい、この上この老人が喰べ醉ふて見い！極樂往生アッブアップじや、ねむいねむい、寢かして呉れるのが何より一番ぞい、」

「だつて、久しぶりなのにさ……」

「久しぶりでも枝ぶりでも、目ン目が仲ようなつてどうもならんわい、果報は寢て待て待女郎――」

「だめだめ！そんなところへ横になつちや」

「……………」

「ちよいと！旦那つたら旦那！風邪をひくのにさ！もう寢て了まつたの？旦那！」

雄平は、衣桁の間からそつと首を出した。半白の老人が海老のやうに横になつて、そのすぐ顏のところに、自分の煙管があつた、危い！

雄平はコッコッと床の間を叩いて女の注意を呼んだ。

目で、煙管を指した。

女の顏がひきしまつて、うん、と、うなづいた。

キッと、目を輝かして、あたりの容子をうかゞひでもするやうだつたが、そつと、手をのばすと、老人の脇差をつかんだ。

すうッと、雄平の前へ來た

「やつてくれるの？哥兄さん……………」

目が不氣味に、笑つてゐるのだ。

「うれしいよ哥兄さんなら、やつて呉れると思つてゐたよ！」

「……………！」

「やつておくれよ！」

「……………！」

「あたしは誰かゞやつて呉れるのを待つてゐたんだよ、路用も何もちやんとくすねてあるよ、おやりよ！おやりよ！後ぐされのないやうにやつて了つてお前さんと二人樂しく暮さうよ！さ、おやり！さ、おやり！ね！哥兄さん！」

憎悪が、雄平の身の內を走つた。

「見、見損ふねえッ、ちくしやう！」

脇差が、鞘走つた、キャッとのけぞつた女の首がバサッと飛んだ。

（五）

ガバと、老人が起上つた。

雄平の姿を見る、と顏をヒン歪めて何か叫ばうとしたのを

「さわぐこたアねえ靜かにしな、爺さん？」

放心からさめたやうに雄平が、手をあげた。

「お前をどうといふんぢやねえや、この女を斬つておいらの氣はもう濟んでらあ」

「…………？」

「お前は知るめえがこの女、金毛九尾の狐だぜ？」

「きんもうきうび！」

「さうとも！狐だとも！爺さん！おいら、見ず知らずの他人だが、お前が來るまでその狐にだまされてその薄團の中にねてゐたぜ？」

「えッ？」

「そのうちにお前が來る、おいらあこの衣桁の陰へかくれる、お前はねむる、さうしたらさうしたらこの狐め、おいらにお前を斬れつて言ふんだ！」

「わしを！わしをお豐が！」

「そのお豐が言つたんだ、御主とも夫とも仰ぐお前を斬れと言つたんだ、憎かつたぜ！憎かつたぜ！一緒に酒を飲んだのも、恨めしいくらゐ憎かつたぜ！だから、だからおいらその狐を退治したんだ、悪かつたね、爺さん」

驚愕に、口も利けない老人の顏だつた。

尻目に、雄平は、身仕度した。

「勘違ひしちや困るぜ、爺さん！」

「逃げも隱れもするんぢやねえ、おいら氣色が悪くてたまらねえからこゝを飛び出すんだ、追手を向けたきや、魯智深の雄平、この街道を西へ三里行つて待つてゝやらあ、狐の仇を討つ氣なら、いつでも來るがいゝぜ、――アバヨ」

チラと、女の死骸へ目をやつて、外へ飛び出した。

二丁ばかり行つて、空を仰いだ。

身も心も、洗はれるやうな月光だつた。

「お月さん、きれいだな、馬鹿な眞似して、汚れて來た野郎だが、今夜一晩、一緒にぶらつかしておくんなせえよ」

木曾谷に長い影を曳きながら、飄々と歩み去つた（完）

極樂天國

◇負けをしみ

一杯機嫌で年始の廻禮に出て行く亭主を、『あゝ、一寸袴の腰板が前になつてゐますよ』ととめると、『何をぬかす、これから後へ廻すんだい。』

◇それどころが

子供が凧をあげようとするがなかなかあがらない。おやぢが出て來て「おれが上げてやらう」

と一かけ走るとよく上つた面白がつて引いたり、しやくつたり、うなりを鳴らしてゐる横から子供「ちやん、おれにもたしておくれよ」と云ふと、

「えゝ、うるさいお前は家へ歸つちまいな」

◇逆又眞なり

老人A「やあ、これはおめでたう。とはいふものゝお正月が來ると又一年がふえますな」

老人B「こんなお目出たい正月なんて來ない方がいいですね」

◇さつしがいゝ

甲「初日出を拜むために、富士山へ登つた人があるさうだが、あんな高い所でなくてもよささうだが……」

乙「よつぽど背の低い人なんだらう」

◇こゝな横着者奴が！

「板の間の光るは下女のかゞみなり」と云ふ狂句を常に聞かされてゐた女中が、元日の朝、一家中が今や屠蘇をくまんとしてゐる所へ、帶片手に入つて來た。

主人『これ、竹や、昔から元旦には掃除をせぬものぢや お前も此處へ來て屠蘇を祝ひなさい』

女中「あら、まあ、お正月は何につけてもよろしいものでございますね」

謹賀新年

皇紀二五九七年

大日本帝國
大使館職員一同

新京特別市長
韓雲階

總務處長
植田貢太郎

關東局職員一同

在新京
日本帝國總領事館

南滿洲鐵道株式會社
新京事務局長
山口十助

株式會社
福昌公司新京支店
新京八島通四十二番地
電話 自三―五六七四番
至三―五六七九番

新京組合銀行團
横濱正金銀行新京支店
滿洲中央銀行南廣場支行
滿洲興業銀行新京南廣場支店
滿洲興業銀行新京日本橋通支店
東洋拓殖株式會社新京支店
株式會社新京銀行

高岡組新京出張所
新京朝日通五十七
電話(3)三四八五番

南滿洲鐵道株式會社

副總裁 大村卓一
理事 郡山智
理事 佐々木謙一郎
理事 宇佐美寛爾
理事 佐藤應次郎
理事 阪谷希一
理事 中西敏憲
理事 武部治右衛門
總裁室 課長一同
産業部 部課長一同
經理部 部課長一同
地方部 部課長一同
用度部 部課長一同

大連民政署長 米内山震作
大連市助役 眞鍋良助
大連市收入役 大岩峰吉
大連市役所 課長一同
福本順三郎
佐藤恕一
酒井清兵衛
澁谷創榮
田村詢一
井上輝夫

白濱多次郎
志村德造
齋藤勘七
池田榮彦
古泉光男
吉村英吉
渡部重吉
山中繁雄
木村正道
高橋富十郎
下津春五郎
霍田忠雄
瓜谷長造
西田英雄
淺原慶一
藏居滿
遠藤盛彌

國際運輸株式會社

南滿洲瓦斯株式會社

大連都市交通株式會社

滿洲電業株式會社大連支店

大連火災海上保險株式會社

滿洲化學工業株式會社

株式會社福昌公司

滿洲石油株式會社

福昌華工株式會社

三井物産株式會社大連支店

大連汽船株式會社

滿洲電信電話株式會社 大連管理局

森永製品滿洲販賣株式會社

滿洲土木建築業協會

榊谷組 組主 榊谷仙次郎

株式會社東裕公司 社長 首藤定

大連市山縣通 東來洋行 電話（2）二八一八番

株式會社進和商會

大連市寶町 日清製油株式會社

大連市山縣通二〇〇 阿波國共同汽船株式會社 大連支店

大連市山縣通二一二番地 第一工業株式會社出張所 電話（2）三八六四番

大連市山縣通五一 合資會社大同組

大連市山縣通五三 大阪商運株式會社出張所 電話（2）七六九一番

九州行近道 近海郵船
千歳丸 十日 二十日 三十日
淡路丸 五日 十五日 二十五日

大連磐城町岩代町角 一般印刷 武田博文堂印刷所 電話（2）六六一八番

大連市山縣通 大倉土木株式會社出張所

大連市佐渡町一 鹿島組大連營業所

株式會社大連連鎖街

大連市信濃町 山葉洋行 電話（2）四一四八番

大連市監部通 株式會社大信洋行 電話（2）一一〇一番

大連市山縣通 萬古本舖 江藤株式會社 大連出張所

株式會社遼東ホテル

大連市秋月町一 協盛膠皮工廠

大連市秋月町二 長坂鐵工所 長坂一正

大連市山縣通一八 恒裕洋行 常深隆二

大連市信濃町 堀内敬壽郎商店 電話（長）二・四五五六番

大連市二葉町二〇 岩合寫眞製版所

大連材木商組合

大連市浪速町三丁目 船塚洋行

大連市山縣通二 泰東洋行

大連市連鎖街 デルコ

大連市山縣通六七 乾卯商店支店

大連市榮町二 大東號 藤岡平四郎 電話三・二〇四一番

ソダル、マーク、カップ專門の店 金華號本店 大連市山縣通七七 電話・二七九四六番

大連市惠比須町一二七 原寫眞製版所

大連市監部通一九 花田印刷所

大連市連鎖街 マツヤ洋服店

大連市紀伊町二二 辰馬商店

大連市西通九〇 藤川商店

大連市山縣通五四 北榮商會 平野惇 電話二・[illegible]二八〇番

大連市信濃町七〇 森井商店 電話二・四二四三番

大連市加賀町 松浦汽船株式會社

大連市榮町二 日本電氣工業合資會社 電話三・二四一七番

大連市連鎖街 大連洋行本店

滿洲旅館協會

大連市榮町二 浪越洋行 電話三・一〇九五番

大連市三河町二 鹿兒島鍼灸院

大連市常盤橋 右文閣 電話三・三三一五番

大連市若狹町三三 小林又七支店印刷部 電話二・六一六一番

大連市信濃町一〇七 河又商店

大連市霞町三七 河又支店

大連三業組合

逢阪町遊廓取締事務所

大連市外老虎灘 一方亭 電話二・七八七八 七五五二番

大連市連鎖街 カフエーワカナ 電話三・三五四三番

大連市平和街 小崗子料理店組合

大連市逢阪町一五〇 哥仙 電話二・一五五一番

大連市吉野町八七 鳴戸 電話二・一二二〇番

大連市磐城町 浪花鮓 電話二・四七七二番

新年文藝入選發表

長詩 加藤郁哉選

一等（賞金拾圓）

牛

新京興安胡同、藤下アパート七號 棚木臥龍

明るい春日の下で
青草の褥に牛はどつかと座り
悠久な天地をたのしみながら
反芻してゐる
怠惰なものうい春よ
立上る私も書物を反芻しやう

大連常盤橋

都塵にまみれてはゐるが私は
鶴
蒼天にあこがれ
翼をあげて 飛翔んとする
橋のたもとの私は鶴
ふともみる清純な鶴の心と疲
れた都人

白樺

私は雪道に迷ひこむ。
私は雪道に埋れてしまふ。
下萠えの丘
青空にくつきりと白樺
指ふるれば手につきさうな白
い色。

大同廣場

ぐるりとまはつたこの廣場
私は遠心力の魔術にかかる
危ふく錯覺する方位をつかん
で歩み出す。

雁

雁が渡る、あの呼び交すこゑ
なつかしい鳥語、鍵になり竿
になり
大空高く山を、國境の山をこ
えてゆく
多だ、多だ、さきがけて日本
に渡る雁
そのなつかしい姿を消えるま
で仰ぐ人。

津輕林檎

紅い頬、艶やかな色よ
歯をあてれば
さくさくと、しみわたる甘味

二等（賞金五圓）

岬

京城府平洞町二八（本名平坂勝） 檜山勝

おかみるの綠が錆色に褪せて
來ると
海鳴りがつのり、雲は石板色
の憂愁となつて
岬をかぶせ、めぐつては飛ん
だ
鴫は夜を晝を、さびしい群に
崩れて山の方へ散り
冷めたい時雨は日に度を重ね
て
葉のしがれた落葉樹の林をぬ
けて海につゝ走つた
多ざれの軒々は刀色の浪に圍
繞されて
ともしいランプの光に夜毎乾
魚をいびつて
こともなげに かなしいたつ
きを物語つた
岬はとうくと浪をくゞつて
おかみるの綠の甦るのが待た
れた

三等（賞金三圓）

故郷詩譜

新京義和胡同代用官舍五二深川平治方 福田輝一郎

水車 うす暗い小屋のなか
ぎーいごつとん、昔がゐる
うすのなかに遠いむかしが
ゐる

柿 うす紫のけつ秋のゆふぐ
れよ ひが 暮れると田舍
の屋根 やねは[illegible]

鈴懸 ゆふがた 鎧戸の[illegible]
る窓の下に鈴懸を移植した

佳作

紫雲 重疊たる山 やま
山邊はしぐれてゐる あゝ
その堪えがたき詩の重量

鬼灯 あゝ 秋のわかれぞ
の頰にふくめる酸漿のなら
す愁しきねよ

初春を迎ふる夜（本紙一ヶ月購讀券） 新京明倫街五〇二（本名椿幸夫） 丁字香高

窓 新京錦町三丁目五 竹迫一笠

南嶺にて 新京永樂町一ノ六 新京美粧倶樂部內 副島靜江

川柳 石原青龍刀選

天（賞金五圓）

屠蘇に酔ふ性質（タチ）を女に頼られる 京城府青葉町一ノ一一六大野方 水木眞澄

地（賞金各三圓）

白粉をおとせば強き女なり 新京安達街一〇二號林兼商店內 竹村綾子

歳の市買はせたいのが二重まる 住所不明（住所お知らせ乞ふ） 牧子

人（賞金各一圓）

狐だと云ふだけのものを襟に巻き 新京興亞街三二五（竹內虎夫） 竹內左門

はね太鼓となりの桝に惚れて立ち 新京富士町二ノ一四 大橋利子

ほろ酔ひの頃粥の出る支那料理 住所不明（住所お知らせ乞ふ） 照坊

佳作（本紙一ヶ月購讀券）

錢儲けの噺しに臘が低くなり 新京 鈴木泉月

遣り繰りの端で羽子板買つてやり 新京 吉原みどり

あの頃が思ひ出せない目をつむり 新京 美野路西猿子

クリスマス女給何の日か知りもせず 新京 喜貫坊

燒芋の湯氣にはつきり多が見え 新京 李東成

貯めて居る噂の主の小さい松 大連 廣瀬三碧

俳句 三木朱城選

一等（賞金五圓）

南嶺の闇ほころびし初日かな 新京義和路義和寮 太田まさし

二等（賞金各三圓）

初日待つ天下第一關の上に 新京金輝路第二代用官舍五二號 野瀬卜花

司令部の大注連飾くゞりけり 新京永樂町二丁目二 津崎みほ

三等（賞金各一圓）

書初や入選の句を筆太に 吉林敷島街一二 福島村路

雪晴の門に立てたる國旗かな 新京白菊町五丁目三ノ四一 野田陽一

左義長の跡そのまゝにありにけり 新京中央通り國都ホテル 佐藤東風

佳作（本紙一ヶ月購讀券）

松過ぎやかたまり歩く娘どち 新京 田中カスミ

若水や誰か來てゐる嶺の上 山城鎭 深牧山城子

社宅街まはりて暮れし年賀かな 新京 野津靜龍

拍手に鳩舞ひ立てり初詣 奉天 太田望洋

買初や店のドアーの凍て重く 吉林 福島北子

切荷橇つらなり行くや移民村 吉林 小川柳風

白い顏はつきり見たりとんどの火 新京 武井ひろみ

初詣きざはし輕るくのぼるなる 新京 淺枝英兒

滿洲に馴れて事なし冬籠 公主嶺 中野貞子

羽子持つて遠くより笑みよりにけり 新京 佐藤奎水

短歌 甲斐水棹選

一等（賞金五圓）

朝早み乳搾る手もと白みゆき桶にたまりし溫もり親し 新京興安胡同藤下アパート 棚木青芳

二等（賞金各三圓）

病める子に希望もたさんと書初めの筆と紙とをすすめたりけり 新京老松町一六大谷洋行內 吉原みどり

日曜日を圖書館に行く

部屋中に机空しく並びをり朝陽うららかに窓にさしつつ 新京寶清胡同第二代用官舍百十三號 小島幸治

三等（賞金各一圓）

木によれば陽のぬくさしむ冬木立たづきつかれの命さみしき 新京興安大路五三一號興安莊內 玉川辰郎

しろがねの雪ふる畑はひろびろとうねり打ちつつ果もなきかな 新京崇智路聚合住宅六十三號 鈴木欣和

凍りたる畑に立ちてききとめし發動機船の音のはるけさ 朝鮮京城府道林町五〇 城市秀子

秀逸（本紙一ヶ月購讀券）

朝な夕な硝子の窓によこたはる西公園を見れどあかぬも 新京 天領吉三郎

母吾より背丈伸びつつ長男のこのごろとみに大人びにけり 同 石田幸

晩年の父の面輪は笑ふときどこかさびしきかげふかかりし 同 星野俊明

いささかの悔はあれども新玉の年を迎へて我が胸張るも 同 松谷屑次郎

結び紐いまはつげずに下駄はける吾子の歩みのたしかさを見つ 同 深川平治

家人ら年始にゆきてひそかなる晝の牛小屋に乳しぼりをり 哈爾濱 赤澤木俊

雪風を捲き起しつゝ自動車の去りにしあとを一人わが行く 同 鈴木道雄

選後感

初めて新京歌壇のお歌を拜見しまして、先づ多くの歌人達の眞摯の作歌態度に敬服致しました。少く共過半は短歌の本質に徹しようとする氣持が作品を透して見られまして實に愉快に思ひました。然し偶には作爲のあとの露はな所謂作らんが爲に作つた歌も交つてをりました。捨てられた歌と秀逸以上の歌と比較御研究になれば直ちに會得されることと思ひます。

一等の棚木青芳氏の歌、まづ一首に作者の實生活を詩化してゐるといふ强みがあり物の見方が輪廓的でなく緻密で深みがあります、表現も第三句に時間の經過をもたせ結句を感覺的の新鮮さで生かしてゐる點、他に秀れた歌として推すに足るのであります。慾をいへば朝早みはもつと佳くなる余地がありませう。

二等吉原みどりさんの歌、やゝ冴さない點はありますが病子に對する母性愛が遺憾なく露れてをります。そしてこの題材を主觀的に表現せず寫生的の形式をとつた點たしかに讀者をひきつける力をもつてをり、四五句の具象化が一首に印象的のよさを齎してゐます。

小島幸治氏の歌、日曜の朝圖書館に行つた。まだ人影一つない廣々たる閲覽室は机が空しく並んで、うららかな朝陽が窓にさしてゐる。よく自然と人生との交流の一端を把へてゐます、こういふ歌から立派な詩への緒は展けてゆくのであります、慾をいへば窓に射す陽光をもつと机の上邊りまで延長したかつたことです。

三等玉川辰郎氏、可なり巧ですが感傷的にすぎ自己に甘へた點が感じられます。鈴木欣和氏は寫生の眼が相當進んでゐます。自分の眼と自分の語句との一致を圖られたら益々進まれると思ひます。城市秀子氏相當歌に馴れてゐられる樣で表現もしつかりしてゐますが把握がやゝありふれてゐます。

秀逸の部で天領吉三郎氏、銳敏な感覺を生かしてゐますこんな處から上達されるでせう。石田幸氏、形は一通り出來てゐます、今少し內面的に對象を見つめる樣になられると立派なものになられると思ひます、星野俊明氏、父母に對する歌―深く感じてゐられるだけ人の胸をうつものがあります。松谷屑次郎氏、實感の强みがあり、表現も可なりできてゐます「我胸張るも」などの句から出發して成功されるでせう深川平治氏、表現中々手に入つてゐます、把握が新味をもちません、赤澤木俊氏、形式は相當出來てゐますが柵木青芳氏作と比較して環境の深淺といふ點を御研究下さい鈴木道雄氏短歌を透してやゝ作者の性格が感じられる御精進を祈上ます。（以上）

創作 編輯局選

一等（賞金二十圓）

パンダルの梨花

明倫街五〇二天理教滿洲同慶會 椿沙智

（略歴）

東京に生れる。家は天理教。明治大學法科卒業まで東京に生活す。其間旅を好み諸所に遊ぶ、北海道など重ねて行く文藝は本格に勉强したと言ふ程の事もなし〃風車〃外賣れない三號雜誌を友達と出した事など通常の習ひと變らず。卒業後家の業に入り、四國松山、奈良、朝鮮大邱等に修業にやらされる。本年九月その延長として新京に來る。余の影響を受けしものは芥川龍之介、支那や希臘等の古い物語を好む、歌は啄木、勇、白秋、萬葉集を本格に勉强したしと思ひ乍ら仲々はいれず。スポーツは在學中庭球部の末席を汚した事もある、野球は見るのもするのも大好き。創作は一抹のペーソスをひそめてそして明るい望みあるものを淡々とした筆致で書いてみたい。歌は新鮮である事を常に心がけてゐるがそのために不自然な形式や言葉を使ひたくない。

二等（賞金各十圓）

或るキャバレーの女

滿洲炭礦株式會社內 境野重明

（略歴）

仙台市に生る。昭和二年東京府立六中卒業、昭和八年慶應義塾大學獨乙文學科卒業
同年四月ハノビヤ商會入社、昭和十年四月滿洲炭礦株式會社入社

芝居正月

崇智路六〇四仲本方 松村冬木

（略歴）

宇和島に生れ、昭和六年拓殖大學卒業、同七年民政部總務司に招聘せらる、同八年三月吉林省東寧縣副參事官となる同十年七月濱江省に轉任と同時に休職を命ぜらる、人事行政の不滿に激し直ちに辭職し今日に至る。
少年より詩、俳句、小説其他悪筆を弄す。本名は村上團吉

佳作（本紙購讀券各三ケ月分）

ある桎梏 新京清明街二一四（村田方） 路田禮

ポプラの部屋 義和胡同代用官舍五二（本名福田忍） 福田輝一郎

或る青春の譜 白菊町五丁目四ノ四五（本名宮崎藕里子） 葉山京子

合資會社 五十嵐組支店 土木建築請負 暖房衞生工事請負 木材問屋 砂利砂問屋 石材販賣 家具建具製造販賣 滿洲總務所新京新發路二〇八番 電話 長二―四七五〇 二―四七五一 二―四七五二

五十嵐齒科醫院 一般齒科・レントゲン科 診療時間 自午前八時 至午後八時 新京新發路二〇八番 電話 二―四七五二

あけまして お目出度うございます
○なほ本年は一層皆樣の宴會所として御利用下さい
○皆樣の御家庭と思召して御家族をお連れ下さい
○家庭用仕出しは迅速に致します
御料理 すきや 新京日本橋通八一 電(3)五八八五

高級喫茶と食事 ミユージック 日本橋通り五五 電話三―二八八〇番

割烹 松翠 記念公會堂前 電話(3)三九四二

撫順公司新京支店 日本橋通五六 電話(3)二四四三番

株式會社 大信洋行新京支店 日本橋通八三 電話(3)二五三三番

日立製作所新京出張所 安部健

ブタマンジユウ・エビス 片山成紀 室町二丁目公學校前裏通 電話(3)四五二〇番

日乃出屋 新京吉野町一丁目 電話三―二七二一番

丸島善吉 日本橋通り五一二

食料雜貨 丸德商店 吉野町二ノ八 電話長三―二二三三番

東三條通り 賓宴樓 電話(三)二七八 三二二番

木炭・綿商 炭安商店 室町二丁目 電話(三)三〇〇五番

泰信無盡會社 辻馨

刀劍 軍需品 武道具 井上刀劍店 井上惣三郎 新京室町一丁目十七 電話(三)三〇二〇三番 振替新京六九番 振替奉天一七〇四〇番

大連之部

守中淸

三溝又三

杉山勳

大連市山縣通二 株式會社 興中公司 電代表二・三一〇一番

明治製菓株式會社 滿洲北支營業所々在地 大連支店 大連市彌生町八 奉天販賣所 奉天霞町三〇 新京販賣所 新京朝日通三五 哈爾濱販賣所 哈爾濱埠頭區外國一道街 天津販賣所 天津法租界一號路六〇

大連舞踏場組合

珍味中心北平料理 扶桑仙館 電三・二一一〇番

扶桑仙館直營 純獨逸式洋菓子と喫茶 ふさう 大連連鎖街驛前 電三・二一三六番

大連市銀座通 體育堂 電三・二一五七番

日本橋藥局 大連市信濃町、四四 電二・八三六二番

支局試驗室 百福號 大連市大廣場 電二・六〇七四番

賀正 大連連鎖街 森洋行 本店奉天・支店新京・哈爾濱

月星サイダー 月星シトロン 月星合資會社 大連市西通四四

謹賀康政一新之春

皇紀二五九七年

日本辯護士協會理事 日滿法曹會理事 辯護士 辨理士 勳四等 原惣兵衛 新京曙町三ノ二四 電話(3)四七四七番

滿洲國營繕需品局 笠原敏郎

共盛會會長 長谷川圓造

穴澤喜壯次 樺太商店

滿信金融株式會社 支配人 渡邊英次郎

金華寮 石井亥之吉 中央通一五 電話(3)四八二四番

田中卓二

合資會社新京ビル 代表社員 宮本平次郎

新京驛區長

康生醫院 新京三笠町三ノ二七

產婦人科 內科 花柳病科 中市醫院 滿鐵病院東門前 電話(3)三〇九二番

杏林堂醫院 吉野町一丁目 電話(3)二五二〇番

加藤牧場 八島通り 電話(3)三三〇二番

吉備洋行 谷一一 新京東二條通り五六 電話三一二八三番 三一四九六番

國際倶樂部 東安街一〇一號財政部裏 電話二一三八一番 二一六二一番

新滿社 荒川銜次郎 祝町二ノ一四 電話三一三三八七番

新京室町三丁目二番地 三田組新京出張所 電話長(3)二四六五番

日本赤十字社 滿洲委員本部 新京北安路五〇一

蓬萊町 堀山產婦人科醫院 電話(3)三一八〇番

森本組支店 新京錦町四丁目三番地 電話(3)三四一〇番 (2)二六三四番

日本橋通り 新京百貨店

祝町三ノ一七 泰正號 奥多正幸 電話(3)二六四四番

新京曙町三ノ二〇 合名會社 長谷川工務所 電話長(3)三〇二一番 (3)三七五八番

北海ホテル 北海グリル 新京日本橋通二四 電話長(3)二八四〇番 (3)六三七〇番

新京郵政管理局 頭道溝、新京、崇智路 大同廣場、二道溝、三道溝、義和胡同、東站 交通部內、康德會館內、國務院內、各郵局

東京インキ株式會社 滿洲駐在事務所 新京特別市豐樂路一二六 電話(2)二六六〇番

滿洲航空株式會社 新京管區

各國珍味食品 新京佃煮製造元 松清洋行 店主 松林清三郎 吉野町二丁目二〇番地 電話(3)六四三六番 (3)四八九一番

銘酒 日本晴 鶴鶴 釀造元 石川酒造本店 電話(3)四八七〇番 (3)三七五三番

甘栗太郎 新京吉野町二丁目 電話(3)二八八七番

上山醫院 醫學士 上山源六 新京朝日通二一 電話(3)五七九五番

早川齒科醫院 新京錦町二丁目七番地 電話(3)三二九六番

滿洲酒造合資會社 新京出張所 朝日通五五番地 電話長(3)二六二四番

松本醫院 日本橋通り八四 電話(3)三一四八番 (3)三七五六番

廣澤醫院 日本橋通り八〇番地 電話(3)五四三六番

瓦房店之部

瓦房店地方事務所長 中根信愛

瓦房店警察署長 隈部續

瓦房店醫院長 前田翠

瓦房店驛長 渡邊與作

瓦房店保線區長 三宅善平

瓦房店機關區長 清水繁次

瓦房店小學校長 雪本一智

瓦房店公學校長 伊藤德市

瓦房店郵便局長 宮島孝三

瓦房店電電局長 佐藤壽一郎

營口緝私局駐復公局 局長 福祿廸

滿洲中央銀行復縣支行 經理 劉國純

瓦房店地方委員 議長 白土彌次郎 大木龜市 横戸喜市 松尾新藏 王盛世

瓦房店東區長 深草榮藏

瓦房店西區長 早川勘太郎

瓦房店金融組合 組合長 森田彥三郎 理事 本山一登

復縣金融合作社 社長 劉榮國 理事 丹上義勝

復縣稅捐局 局長 郭敦厚 副局長 末永善三

復縣公署

復縣警務局 主席 神戶誠治

復縣瓦房店警察署 署長 村上幸助

瓦房店醫院從事員一同

瓦房店海關分關職員一同

瓦房店列車區員一同

瓦房店電燈株式會社

瓦房店炭礦

復州灣炭鑛

滿洲鑛業株式會社

滿洲製糸株式會社

滿洲果樹組合州外聯合會

指定旅館 みどり館 電話一二番

土木建築 指定請負 井上組 井上伊七郎

建築請負 近藤俊一

新京日日新聞社支局 運送業 松茂公司 松尾新藏

料理店 初音

名酒 名蘭

キンパイ 松鶴

原田商會 瓦房店工場

新京日日新聞（其の四）

丑年生れのスターは、正確に調査すると割合に尠ない、併し、こゝに紹介する連中は正眞正銘の「丑年」だから、毎年各映畫會社の宣傳部あたりで製造販賣するものと同一視されないやうに願つて置く

×　×

◇阪東妻三郎（明治三十四年生）これは何と云つても丑年映畫スターの大統領、腐つても鯛で、まだまだ相當の潜勢力は失はない、生れは花のお江戸で、しかし神田つ子のチヤキ／＼、故片岡仁左衛門の門に入つて大阪中座で初舞台を踏んだ歌舞伎出身、映畫界への轉身は大正十二年のマキノ入社が最初で、同十四年獨立して日本に於ける獨立プロの祖となり、今日までとにかく「阪妻プロ」で通してゐる事は、何と云つても偉とせずばなるまい、その外の事は云ふまでもあるまい。

◇小林十九二（明治三十四年生）大正十年に諸口十九の弟子となつて創業當時の松竹蒲田に入社したのだから、我國の映畫俳優中では最古參組の一人である。色敵役を得意として、松竹現代劇にはなくてならぬ役者である。「伊豆の踊子」「人生のお荷物」などで相不變枯れた藝を見せてゐる勿論松竹大船專屬。

◇飯田蝶子（明治三十四年生）松竹現代劇で既に十數年來の古顏、この頃ではいろんな役柄も出來てきたが、まだ美男美女一本槍の時代だつた幼稚な映畫界、でしかも女の身で三枚目の道を切り拓いた彼女の努力は充分に買はれなければなるまい。多年の勞酬ゐられて今では松竹大船の幹部であり、下手な主演女優以上の人氣もある。内職に待合を經營してゐる事も有名なもの。

◇市川春代（大正二年生）「ハル坊」こと市川春代も、もう二十四の女盛りかと思へば、皆さん、ヘンな氣がするではありませんか―併し、とにかくに二十五の丑年である事には間違はないのだから如何とも仕方がない。生れは信州の長野だが言葉にナマリはない大正十五年に日活に入る前には子守をしてゐたとか何とかいろんなゴシップもあるが、出世は實にトントン拍子だつた。少し鼻にかゝつた舌つ足らずの甘つたるい聲がトーキーになつてからは却つて彼女の魅力となつて一頃程ではなくとも、まだ／＼人氣がある現在は重宗務の東京發聲のピカースターである。

◇歌川絹枝（大正二年生）昭和五年松竹蒲田に「立花八千代」と云ふ名で初見參をしたが、その時はあまりパツとした事もなく東亞キネマに轉じここで一躍スターとして賣り出した。昭和七年菊太郎プロ、同年右太右衛門プロと轉々して、しかも轉社するだけより賣り出して行つたのだから偉い、昨年第一映畫に入つてからは押しも押されもせぬ大スターだつたが、第一映畫の解散と共に、新興の時代劇に移り今日に至つてゐる所謂「うれひの利く」と出ふ顏で萬人向きな點が彼女の强味であらう、昨年の作品では「お六節」「京洛淺春譜」などが主なものである。

◇鈴村京子（大正二年生）一代の麗人九條武子夫人が死んだ時、東亞キネマがその一代記を映畫化した事があつた、その時、夫人の少女時代と成年時代と二人のモデルを募集し、少女時代の九條武子夫人に扮する女優として採用されたのがわが鈴村京子である。最初は一本契約だつたが、九條武子傳「無憂華」の撮影が終つて後、そのまゝ女優となり、東亞の解散と共に「正映マキノ」を經て日活に入社したもの、「紅緒の傳八笠」に初演以來、次第に重く用ひられ近來は主としてヴアムプ役として活躍してゐる、今では日活時代劇を背負ふ女優（大阪產）

◇五十鈴桂子（大正二年生）東亞キネマ出身の相當古い女優で、小川國松と浮名を流したりしたが、その後暫く映畫界を遠のき、昨年大都へ入社して復活、間もなくマキノへ現はれて今日に至つてゐる。

（寫眞、右上より阪東妻三郎、市川春代、小林十九二左上より歌川絹枝、五十鈴桂子、鈴村京子、飯田蝶子）

お正月第一周番組

◇長春座＝田中絹代、川崎弘子の「新道朱實の卷」右太衛門の「千兩長脇差」RKO「カルネラ對ベア」

◇新京キネマ、豐樂劇場＝大河内傳次郎、黑川彌太郎、入江たか子の「栗山大膳」小林重四郎、花柳小菊の「隣の奧さん」ウイリー・フイリッチ、ケーテ・フオンナギーの「桃源鄕」

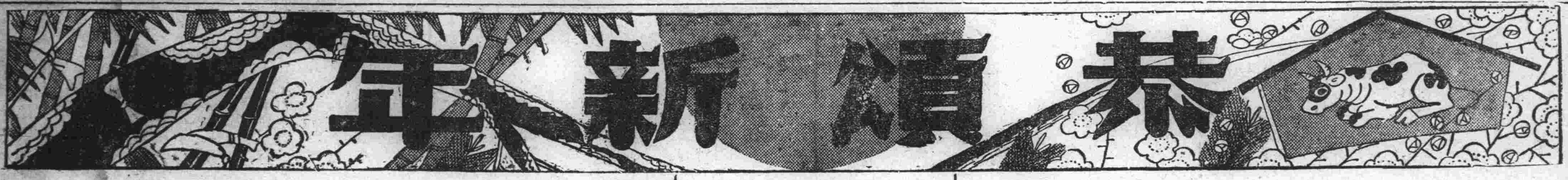
◇帝都キネマ＝阪妻の「綺羅の源内」明清江、高津慶子の「母の花園」スターン・ローレル、オリヴアー・ハーデイの「極樂浪人天國」「コンゴー」

◇朝日座＝小杉勇、山本禮三郎の「人生劇場」大河内傳次郎の「怪盜白頭巾前篇」ヘレン・ガヘーガンの「洞窟の女王」

◇銀座キネマ＝ヴイクター・マクラグレン、クローデツト・コルベールの「二國旗の下に」大内弘の「血煙荒神山」大倉千代子「舞扇」

新春映畫

右上より下へ＝メトロ「巨星ジグフリード」の主演者マーナ・ロイ、ウイリアム・ボウエル、ルイズ・レイナー三人、ロバート・Z・レオナードの作品（帝都キネマ封切）▲次がPCL「武士道朗らかなりし頃」における柳屋金語樓の主演ぶり（豐劇、新キネ封切）▲その下が同じくメトロの大作「嵐の三國旗」チャールス・ディッケンスの原作小說の映畫化、ジヤツク・コンウエイの監督でロナルド・コールマンとエリザベス・ヤランが主演（帝都キネマ封切）▲一番下がフオツクス「二國旗の下に」におけるクローデット・コルベールとヴイクター・マクラグレン（銀座キネマ封切）▲左上から下へ＝パラマウント「將軍曉に死す」のゲーリー・クーパーとアデリン・キヤロル（豐劇、新キネ封切）▲次が松竹大船「愛の一ツ家」における三宅邦子、武田春郎、突貫小僧（長春座封切）▲次が日活極樂コムビの新作「極樂花嫁塾」における鳥羽、高瀨のコンビ高津愛子、（豐樂、新キネ封切）▲一番下が松竹京都「靜かな十六夜」における高田浩吉と北見禮子（長春座封切）



滿洲國新京大同大街
滿洲興業銀行
總裁　冨田勇太郎
副總裁　松原純一
理事　松田義雄
理事　一色信一
理事　高橋武夫
理事　魏宗蓮
理事　烏澤聲
監事　啓彬
監事　張本政

朝鮮總督府出張所長
在滿日本大使館朝鮮課長
關東軍司令部囑託
高橋敏

財政部
理財司長　田中恭
文書科長兼人事科長會計科長　田村敏雄
秘書科長　徐尙志
稅務司長　青木實
技正　西貞吉
國稅科長　毛里英莵
關稅科長　永井哲夫
鹽務科長　山梨武夫
經理科長　楊培
技正　佐野忠吉
調査科長　洪鑄
理財科長　横山龍一
國有財產科長　伊藤博
銀行科長兼駐日財務官　松崎健吉

專賣總署
署長　姜恩之
副署長　難波經一
事業第二科長　天野作藏
總務科長　古木隆藏
緝私科長　武渡善治
經理科長　傳王桐
技正　永松並二

光寫眞館　主 宮木嘉久二　新京吉野町一丁目　電話(三)三七二八番
森履物店　新京三笠町　電話(三)二二八九番
河久商店　新京三笠町
ミツワ屋書店　新京吉野町二ノ二二　電話(三)二三三一番
小林履物店　新京吉野町二丁目　電話(3)二三四四番
池田商店　新京吉野町二丁目　電話(3)三〇八八番
元祖 奴すし本店　元祖 奴すし支店　東一條通り　電話(3)二四三六番
和洋菓子商 峰長春堂　新京銀座(吉野町)二ノ二八
村岡吳服店　新京吉野町二丁目　電話(三)二一二四番

吉林支部

吉林省公署
省長　李銘書
總務廳長　三谷清
民政廳長　張書翰
警務廳長　伊藤容憲
教育廳長　馬冠標
實業廳長　羅振邦
外職員一同

吉林市公署
市長　徐家桓
總務科長　杉浦守次郎
（喪中ニ付欠禮仕候）
參與官　吉野不二雄

吉林鐵路局
局長　張恕
副局長　秋田豐作
總務處長　袁嵩瑞
副處長總務　池原義見
經理處長　山本勇治
運輸處長　田中末治
機務處長　中川正
産業處長　杉浦平八
副處長　孫孝思
副處長警務　清水助太郎
（喪中ニ付年始ノ御挨拶御遠慮申上候）
工務處長　中村信次郎

滿洲帝國協和會
首都本部
首都本部長 田邊治通
事務長兼總務科長 吉田健介
指導科長 永井定

哈爾濱裕慶德毛織工廠股份有限公司
新京出張所
主任 內田重雄
新京日本橋通九二 電話(3)三〇六九番

日本毛織株式會社
ニツケ、ギヤラリー
新京特別市大同大街二一三號
本社 神戸市兵庫西出町六九一

福海商事金融部
丸福商事營業部
丸山廣衛
新京・大和通 電話(3)六五五〇番

新京牛肉商組合

合資會社 **加藤洋行新京支店**
日本橋通二五 電話(3)三七三一番

峰長春堂
吉野町二丁目二八 電話(3)三一九一番

料理 **青葉**
三笠町二ノ六 電話(3)二九四二番

司法行政代書業 タイプライター印書
南洲堂代書館
主 新保喜一 郁子
本籍 鹿兒島市西別府町
事務所 新京朝日通五五領事館前(永樂町通) 電話3五一三六番

建築請負 **植竹組**
新京老松町十三番地 電話(3)四〇〇八番 二八九〇番

オフセット印刷 各種高級印刷
世界堂印刷工廠
村上慶助
新京中央通り四八 電話(3)二八四九番 五一五八番

品川洋行主 **高堂武則**

鹿谷綜合齒科
新京祝町青陽ビル二階 電話(3)四八七八番
京城齒科醫學士 鹿谷隆次
京城齒科醫學士 東海林忠治
京城齒科醫學士 高橋隆己

公主嶺之部

懷德縣公署
縣長 薛玉衡
參事官 石垣良隆

煉瓦製造
公主嶺 臥龍泉煉瓦工場事務所
大和町一丁目電話二九六番

滿洲ラヂオ普及株式會社代理店
公主嶺活販所
川原利喜
電話二二五番

石炭商組合
合利洋行 電話二五〇八九番
新華公司 電話一二六番
松昌公司 電話七七番

公主嶺地方委員
議長 山口靖太
副議長 突永一枝
小松光治
丹宗安一
岡野馨
高取惠市

大同電氣株式會社
公主嶺支店

公主嶺朝日町一ノ一七
公主嶺金融組合
電話二〇二番

公主嶺附屬地商務會
總理 荊瑞五
協理 杜榮齊

公主嶺河南商務會
會長 程志遠
副會長 李耀廷

國際運輸株式會社
公主嶺營業所
主任 山本正夫

公主嶺藥業者一同

公主嶺特產商組合

百貨店 **榮商店**
電一四七七三番

高等御料理 **やまと**
電話四二三二六番

高等御料理 **秀乃家**
辻田ツマ
電話一四四番

高等御料理 **新竹**
青木若太郎
電話六六番

公主嶺
飲食店組合員一同

カフエー **旭**
電話一五八番

食道樂 **三春亭**
電話九六番

食道樂 **いづき**
電話一七番

積盛釜藥店茶莊
經理 **程曼伯**
電話二二三番

油酒雜貨 **義和長**
電話三〇七番

呢絨綢緞店 **同泰號**
電話五五番

支那御料理 **興發園**
電話三四六番

淺井彌吉

于麒書

公主嶺泉町
和田牧場
和田松之助
電話二八六番

公主嶺朝日町一丁目
相原樂器店
電話一五五番

食料雜貨精肉 **鈴木商店**
電話八四番

正文堂印刷所
電話四三八番

武富洋服店
電話一七四番

門間洋服店
電話一七三番

陸軍滿鐵諸官廳御用達
菓子と甘栗 **一富士菓子店**
電話二七番

新京日日新聞社
公主嶺支局
電話七七番

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）一日（金曜日）

朝

七、〇一 四方拜 吹奏樂（東京） 陸軍戸山學校軍樂隊 指揮 樂長 岡田國一
初春の前奏と行進曲「日出づる國」 山田耕筰作曲
引續き 奉祝唱歌（東京） 女子放送合唱團
一、年始 二、君が代
引續き 年頭の辭（東京） 日本放送協會總裁 公爵 近衛文麿
七、三〇 聖訓講話（東京） 神勅（一） 法學博士 筧克彦
八、〇〇 一、日本國歌 新京室町小學校兒童 二、滿洲國歌 新京公學校兒童
引續き 年頭の辭 滿洲電信電話株式會社 總裁 山内靜夫
八、二〇 新年所感 關東軍參謀副長 陸軍少將 今村均
八、四〇 全國年賀リレー
一、（帶廣） 二、（旭川） 三、（札幌） 四、（函館） 五、（秋田） 六、（山形） 七、（仙臺） 八、（前橋） 九、（新潟） 十、（長野） 十一、（東京） 十二、（靜岡） 十三、（濱松） 十四、（富山） 十五、（金澤） 十六、（福井） 十七、（名古屋） 十八、（京都） 十九、（大阪） 二十、（鳥取） 二十一、（德島） 二十二、（高知） 二十三、（岡山） 二十四、（廣島） 二十五、（松江） 二十六、（小倉） 二十七、（釜山） 二十八、（京城） 二十九、（熊本） 三十、（長崎） 三十一、（福岡） 三十二、（鹿兒島） 三十三、（平壤） 三十四、（臺北） 三十五、（臺中） 三十六、（臺南） 三十七、（大連） 三十八、（奉天） 三十九、（新京） 四十、（ハルビン）
引續き 謠曲（東京）
一、動植「田家の雪」 野上豐一郎謠詞 觀世左近謠曲
二、葛城 觀世左近 外
一一、〇〇 尺八獨奏と合奏
一、獨奏 春の曉 森本壽堂
二、合奏 八千代 本手 西田方山 同 柴田拾山 同 吉川拾山 替手 西川峰山 同 井上杯山 同 川上杯山 同 桑原芳堂
三、合奏 海邊の夕映 一部 桑原芳堂 同 西川峰山 二部 井上杯山 同 川上杯山 三部 吉川拾山 同 柴田拾山 同 西田方山

晝

一一、五九 時報（東京）
〇、三〇 ニュース（東京、新京）
〇、五〇 箏曲（東京）
一、新玉の曲 市田瓢々歌作詞 菊塚檢校作曲 箏（段返し） 富崎春昇 箏（本手） 富崎美喜子 箏（本手） 富山清琴
二、萬歳 三絃（替手） 富崎春昇 同（本手） 富華澄子 箏 富保增子
一、二〇 混聲合唱（大阪） 大阪放送合唱團
一、明治天皇御製 松島謠曲 （イ）松上の霜 （ロ）水 （ハ）天 （ニ）曉 （ホ）峰
二、昭憲皇太后御歌 松島謠曲 （イ）節制 （ロ）をりにふれて （ハ）義 （ニ）鏡 （ホ）雲
一、四五 太神樂（東京） 壽祝獅子 附 惠比壽大黑 丸一鏡味小仙 丸一鏡味小松 丸一鏡味龜造 丸一鏡味仙壽郎 丸一鏡味愛之助 外 雛子連中
二、一五 萬歳（名古屋） 一、御殿萬歳 二、三曲萬歳 源平戰の内 倶利迦羅峠の戰 北川幸太郎 北川正夫 山川直三 山口春太郎 早川助太郎 平松庄次郎 淺井博次
二、四〇 長唄 梅の榮 唄 岡安喜代登幾 同 岡安喜代鶴 三味線 杵屋勢七郎 同 岡安喜代枝

夜

六、〇〇 子供の時間（東京） ラヂオのお年玉 新年童話リレー（一）
六、二五 講演（東京） 第一選手 岸邊福雄
七、〇〇 ニュース（東京） 初春を迎へて 拓務大臣 永田秀次郎
ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇 講談（東京） 河村瑞賢 大島伯鶴
八、一〇 管絃樂（東京） 日本放送交響樂團 指揮 坂西輝信
一、祭典序曲 池讓作曲
二、祭典前奏曲 須賀田義太郎作曲
三、祝典序曲 服部正作曲
八、四〇 舞臺劇（東京） 吉例壽曾我 一、鶴ヶ岡石段の場 二、大磯曲輪外の場
配役 近江小藤太 大谷友右衛門 八幡三郎 市川男女藏 曾我十郎祐成 澤村田之助 從者十内 坂東村右衛門 舞鶴屋若い者朝吉 大谷廣太郎 飛脚脚平 坂東羽太藏 同 早助 大谷力藏 虎御前 尾上菊次郎 化粧坂少將 中村福之丞 長唄囃子連中 柏伊三郎社中
九、三〇 時報（東京） 告知事項、氣象通報、番組豫告（新京）
一〇、〇〇 長唄（大連） 高砂 唄 東誠之助 同 東乃保留 同 東賢之助 三味線 東愛子 同 東壽乃 同 東良子
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）

二日のプロ

朝

七、三〇 聖訓講話（東京） 神勅（二） 法學博士 筧克彦
九、三〇 子供の時間（東京） 朝の子供の音樂會 一、ピアノ獨奏、奏鳴曲、ハイドン作曲 井上敏子 二、獨唱 雪だるま（外三曲） 飯田ふさを 三、ヴァイオリン獨奏（協奏曲イ短調、バーバルデ作曲） 豐茂子 四、コドモの管絃樂（日の丸の旗・外一曲） 川波兒童オーケストラ

晝

一一、五九 時報（東京）
〇、三〇 ニュース（東京、新京）
〇、五〇 ひきぞめ（東京） 長唄 富士の雪、杵屋勝佐・外、常磐津 松廼羽衣、常磐津松助・外、清元 北州千歳壽（北州） 清元延富喜榮・外
一、五〇 ピアノ獨奏（東京） 井口章子 一、六つの變奏曲 作品卅四、ベートーヴェン作曲 二、船歌嬰ヘ長調作品六〇 ショパン作曲
二、一五 ラヂオ風景（大阪） 初便り 秋田實・樋口壽田村武雄・久松新 合作
出演者（イロハ順） 市川櫻子 深見泰三 岩間葵子 令新子 花園歌女 東新 阪東政一 淺野進二郎 一條あや子 木下ゆづ子 堂場龍夫 三好榮子 神谷敏子 進藤英太郎 高橋宮二 望月太明藏
二、五五 常磐津 子寶三番叟 淨瑠璃 常磐津三春太夫、三味線 彌生笑香、上調子 〃秀香

夜

六、〇〇 子供の時間（東京） ラヂオのお年玉 新年童話リレー（二） 第二選手 久留島武彦
六、二五 新年の感想 國務院總務廳長 星野直樹
七、〇〇 ニュース（東京） ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇 東西笑ものゝ夕 （東京）寄席中繼―上野鈴本亭より― 一、落語 春の旅 柳家小さん 二、天災 蝶花樓馬樂 三、義太夫息子 柱文治 四、熊坂 三升家小勝 （京都）寄席演藝―富貴より中繼― 一、落語「圓タク」林芳男 二、漫才「食道樂」林田十郎、芦の家雁玉 三、落語「子澤山」桂春團治 四、時事小唄「めでたき風景」石田一松
九、三〇 時報（東京） 告知事項、氣象通報、番組豫告（新京）
一〇、〇〇 チエロ獨奏（奉天） シエルキン（ピアノ伴奏）オシルコフ 一、子守唄（ヤールフエルト曲） 二、アアモ（トーマス曲） 三、ソナタ（ゴルターマン曲） 四、オリエンタル（クイ曲）
一〇、三〇 北滿の時間（哈爾濱）

俳句佳作（二輯）

搖れやまぬ柄杓の並ぶ初詣 奉天 迷石
初搖の匂ひ流るゝ朝の膳 延吉 釣舟
福壽草王羲之の書を習ひけり 新京 卯四
初鷄や星瞬ける國境 同 丘秋子
屠蘇酌んで皆朗らかに笑ひけり 公主嶺 草人
年玉を持ちたるまゝの子の寢顔 新京 吉三郎
北風にゆら〱搖るゝ入營旗 同 喜久子
雪運ぶ車のきしり續きけり 同 興子造
元朝の旗揭げ美國領事館 京城 穀斗
浦波を蹴つて初漁の船かへる 新京 好見
御手洗にうすき氷や初詣 同 綠波
大觀の軸を飾りぬ今朝の春 劉房子 綠瞳
夕鵆に動かぬ煙や首都の多 新京 武
梅の香や障子明るき奧座敷 同 正六
初詣犬もつき來る雪の道 同 秋月
回禮に來りし人の耳飾 同 多二
除夜の雪掃く音四方に起りけり 同 李東成
餅花へ寐覺めよき子の瞳かな 延吉 章史
門松を雪搔きのけて立てにけり 新京 文月

○

可なり澤山の句を拜見しましたが折角巧に叙せられても既に先人によつて發表された樣な境地のものは遺憾ながら採擇を見合せました。又俳句の約束を無視した季題ないものも同樣採りませんでした。

選句しましたものの内捨てがたいものは原句の意味を壞さぬ程度に多少の筆を加へましたものも御座います、投句者各位の御諒承を願ひます。

舊十一月十九日 金曜 戊子 大安 建 鬼宿

●一白の人 新春最初の吉日にて目上の引立多く萬事吉 未と壬と癸が吉
●二黑の人 運氣旺盛の日なれど交際上に注意神詣り吉 乙と巳と辛が吉
●三碧の人 氣を引立て憂ひを拂ひ屠蘇に鬱氣を散らせ 庚と辛と壬が吉
●四綠の人 物事思ひ通りに運ばぬ日本分を守るが安全 辛と壬と丑が吉
●五黃の人 剛毅沈着に萬事を處すべし焦るは不利なり 巽と丙と戌が吉
●七赤の人 些細の疵より苦痛を增す日惠方詣りに吉し 甲と丙と戌が吉
●八白の人 新氣運に向ひて發展を遂げ得る日萬事進め 辰と丁と辛が吉
●九紫の人 家居して一家の慶福を祈れ外出は過ちあり 丁と庚と壬が吉

舊十一月廿日 土曜 己丑 赤口 除 柳宿

●一白の人 安泰を謀り樂しみに長ぜず身の保養が專一 丙と壬と癸が吉
●二黑の人 上手の手より水の漏るゝ事あり控へ目が吉 甲と己と戌が吉
●三碧の人 愼しみ深ければ求めずとも人望集まり來る 丙と辛と壬が吉
●四綠の人 內部を整へ靜かに一日を過ごせ惠方詣り吉 丁と庚と辛が吉
●五黃の人 險を犯さずとも回れば平坦の道もあるべし 乙と巽と乾が吉
●六白の人 待ちし甲斐の現はれて無上の吉日と成べし 甲と申と戌が吉
●七赤の人 希望に生き新しき勢力を增し來るべき吉日 乙と申と戌が吉
●八白の人 端正なれば襲ひ來る不安も自から去るべし 甲と巳と申が吉
●九紫の人 一家親睦して仕事始めすべし惠方詣りも吉 丙と戌と壬が吉

笞元行安 ダイヤ街老松町 電話（3）五六一六番

柴田特許會計事務所 新京祝町三ノ二青陽ビル内 電話長（3）六八四四番 振替 新京一二八番 奉天一六七二番
所主 辨理士 計理士 經濟學士 柴田時之助
辨理士 計理士 經濟學士 高木義三
支所 東京市京橋區八丁堀四ノ三岡谷ビル

辨理士 口羽良男 商標特許事務所 電（3）六一〇七番 祝町三青陽ビル

瀧竹三郎

三宅牧場 三宅濱治 鐵道西 電話（3）二〇八八 三三八七番

證券業・二幸 町田平次 新京日本橋通り 電話（三）四一六九番

新京日本橋通り三三 午本洋行 岡田榮一

司法書士 八卷清泰 新京朝日通領事館前 電話（三）六四六二番

大毎舍 田中勘助 中央通五〇 電話（3）二〇一七番

引伸寫眞無代進呈大サービス!! （元旦より一月末日迄）
お寫しの寫眞を四倍に引伸して無代進呈致します
お正月の晴姿は是非 新京一に廉く早く良い 新京寫眞館へ
新京百貨店二階 日本橋通り 電（3）四〇一六番

電業會社新京支店 電氣工業指定商會
植村電業社 中央通り 電（三）二四九七番
大阪電氣商會 永樂町一丁目九ノ二 電（三）四七五一番
共榮商會 中央通五〇 電（三）三九三三番
共和工業所 大經路八三 電（二）一二四四番
義昌無線電氣商會 興安大路二一〇 電（二）一五一五番
京津電氣公司 三笠町三丁目一 電（三）二一三三番
啓運工業株式會社 豐樂路一三九 電（二）三一三三番
弘電社
同和電氣商會 羽衣町二丁目二 電（三）六七七五番
中西電氣商會 新發街二二 電（二）三九九三番
丸十電氣商會 朝日通四四 電（三）四七五六番
滿洲クロードネオン電氣會社 祝町二丁目一八 電（三）五九二二番
滿洲電機商會 日本橋通四九ノ一 電（三）三七九六番
阪本電氣商會 吉野町一丁目 電（三）四七二八番
昭電舍 入船町四丁目二五 電（三）三七八〇番
新京電氣商會 入船町三丁目一 電（三）六三六〇番
大同電氣商會 八島通三六 電（三）五八四九番
大通電氣合資會社 大和通七七 電（三）四九五七番
大連電業公司 老松町老松ビル 電（三）四三五一番
高橋電氣商會 朝日通八一 電（三）三六六八番
中和電氣商會 吉野町二丁目 電（三）三三六一番
豐國電氣商會 興安大路三〇八 電（二）一九〇一番
滿洲電氣土木合商會社 朝日通二七 電（三）二七三一番
組合事務所 電（三）六三六一番

割烹 新京 東二條通新京ホテル隣 電話三・二六〇一番

米と酒 西村洋行 ダイヤ街 電話三・二一〇一番 三・五四五八番

新京ホテル 富士町二丁目角 代表電話三・六二一六番

喫茶と御食事 プリンス 長春座前 電話三―六六〇八番

新京特別市大同大街康德會館 滿洲生命保險株式會社 理事長 高橋康順 常務理事 大原萬壽雄

謹賀庶政一新之春

皇紀二五九七年

哈爾濱郵政管理局長
岐部與平

滿洲電業株式會社
哈爾濱支店

登喜和百貨店
哈爾濱地段街

國際運輸株式會社
哈爾濱支店

哈爾濱道裡地段街一〇六
近藤林業公司

日滿合辨
松黑運輸公司
哈爾濱道外北頭道街江岸碼頭

哈爾濱
飲食店カフエー組合

丸商百貨店
哈爾濱地段街キストワヤ街角

哈爾濱埠頭區買賣街一三九號
大滿洲忽布麥酒股份有限公司

サロン
サルバドル
哈爾濱地段街

哈爾濱埠頭區キストワヤ街
滿洲ホテル

哈爾濱キストワヤ街
貴金屬寶石類
井ノ子寶石店
電話四八七〇

哈爾濱道裡地段街五六號
千葉書店
電話三四九二番
支店 南崗奮州街一〇九號 電話六七三五番

四平街之部

四平街地方委員會
議長 添田澤三
副議長 伊藤新八
林寛一
竹村石次郎
張漢臣
津々見直人
年榮甫
中間定治
酒井嘉一
松田春夫
岸久藏
金亨龍

鹿島組四平街出張所
職員一同

佐藤木廠四平街支店
井上理吉

松昌公司
松井倉吉

滿鐵四平街建設事務所
所長 高山安吉
外職員一同

滿洲油化工業株式會社
職員一同

四平街
火曜會

近藤組四平街出張所
大熊忠治

土木建築請負
吉昌公司
馬殿卿

植半旅館
植木茂助

楠本工務所
楠本仙市

四平街警務段巡監
松橋元治

北滿證券
原田親一

四平街國際支店
三奈木重則

信和洋行

松昌公司

お正月の書初め懸賞お樂しみ

（ミノヤ みのや）
世帯道具の店
みのや
奉天春日町市場正門
電話(三)二〇三八番

（アマクリタラウ あまくりたらう）
甘栗と甘栗羊羹
甘栗太郎
奉天銀座春日町
電話代表(三)四四〇七番

（シチフクヤ しちふくや）
奉天のデパート
七福屋百貨店
奉天浪速通
代表電話(三)六八一一番

（ミワヤウカウ みわやうかう）
御家庭用散髪器具化粧品卸小賣
理容器具化粧品類
美和洋行
奉天平安通八
電話(三)六一七八番

（ハトヤパン）
パンと洋菓子喫茶の店
奉天 ハトヤパン
奉天浪速通(七福屋となり)
電話(三)三二五六(三)五九〇一番
(三)五九〇二(三)一〇三五番

（ダイヤモンドケイト）
ダイヤモンド毛糸
奉天 松纖洋行
電話(三)七四八五番

（サツポロビール）
日本一の
サツポロビール

（ケイトノコスガ）
毛糸の店
服地
コスガ
奉天千日通り
電話(三)五二六八番

（ワカヲセトモノ）
ワカヲセトモノ店
奉天春日町市場正門
電話(三)三一五八番

（ゼ・エン・メリヤス）
JN
ゼ・エン・メリヤス
奉天春日町商品館
電話(三)三九八五番

（ナリヒサゴ）
お菓子のデパート
成久號
奉天春日町一番地
電話(三)二六二〇番

（マンシウツケ まんしうつけ）
名物
滿洲漬
奉天 島喜謹製

（ナショナル）
ナショナル乾電池
松下乾電池株式會社

（シロニシ しろにし）
工具と捻の店
城西商店
奉天千代田通三十七番地
電話(三)四六六二(三)六五三六

（ヤマソウ やまそう）
果物の山惣
奉天銀座春日町
電話(三)二四〇八(三)六四九七

募集規定
一、應募資格　在滿日小學校生徒に限る
一、用紙用筆用墨　日本半紙、毛筆、墨を用ゆること
一、字數枚數　一枚に四店分以内一人五枚以下
一、用字　〇〇のついて居る字だけ漢字でも片假名でも平假名でもよろしい
一、揮毫日　成るべく一月二日の書き初め日
一、〆切發表　昭和十二年一月十日奉天七福屋にて展覽（一月中旬）
一、賞品發送附　一月中に郵送（當選者には直にハガキにて通知す）

注意　清書には一枚毎に筆者の姓名學校名學級をハツキリと書き開封郵便（二錢切手を貼り大同社宛に投函されたし清書は返しません一二年生は（　）内の字だけ書いて下さい

賞品
一等　置時計　一名
二等　萬年筆　二名
三等　文鎭　十名
等外でもよく出來たのは展覽會に出します

全滿新聞雜誌廣告代理
奉天千代田通二十四番地
大同社
電話長(三)三三六六番

（イセヤノフトン いせやのふとん）
伊勢屋寢具店
奉天銀座春日町
電話(三)三八五六(三)六四七〇

（コバヤシハモノ こばやしはもの）
奉天唯一の刄物專門店
小林刄物店
奉天松島町三番地
電話(三)六六九三番

（ミヤゲノステラ）
舶來土産物
ステラ商會
奉天驛前
電話(三)三七四四番

（サンクワウ さんくわう）
電氣の店
三光電化洋行
奉天平安通四
電話(三)四[illegible](三)二七二九

（ラクテン らくてん）
清酒
樂天
奉天 滿洲特産工業株式會社

（ダイドウ だいどう）
大同工業の青寫眞
燒付と感光紙
奉天 大同工業寫眞株式會社
電話(三)三九三九番

（トキワ ときわがう）
ガク橡の店
常盤號
奉天平安通九番地
電話(三)七九七二番

（タスリハナス）
よくきくくすり
那須藥局
奉天春日町
電話(三)三一五五番

（コドモノキリンヤ）
小供服と小供雜貨
キリンヤ
奉天千日通
電話(三)五六四二番

（ナカヤマ なかやま）
婦人洋裝の店
中山婦人服店
奉天千日通
大連連鎖街
新京吉野町

（イワマ いわま）
寶石と裝身具
岩間商會
奉天・哈爾濱
新京・吉林

（さかいやのキモノ）
既製洋服と仕立上り和服
すぐに間に合ふ店
さかい屋
奉天銀座
電話(三)四一七一番

（サンセウアメ さんせうあめ）
飴類菓子の店
三松商店
奉天加茂町一五
電話(二)二一九五番

（アサヒデンチ あさひでんち）
朝日乾電池
奉天稻葉町五番地
電話(三)四六三〇番

（ミズタニテント みずたにてんと）
テントの水谷
奉天八幡町二 水谷洋行
電話(三)三九二一番